

## II 手帳所持者調査の結果

### 1 対象者の属性

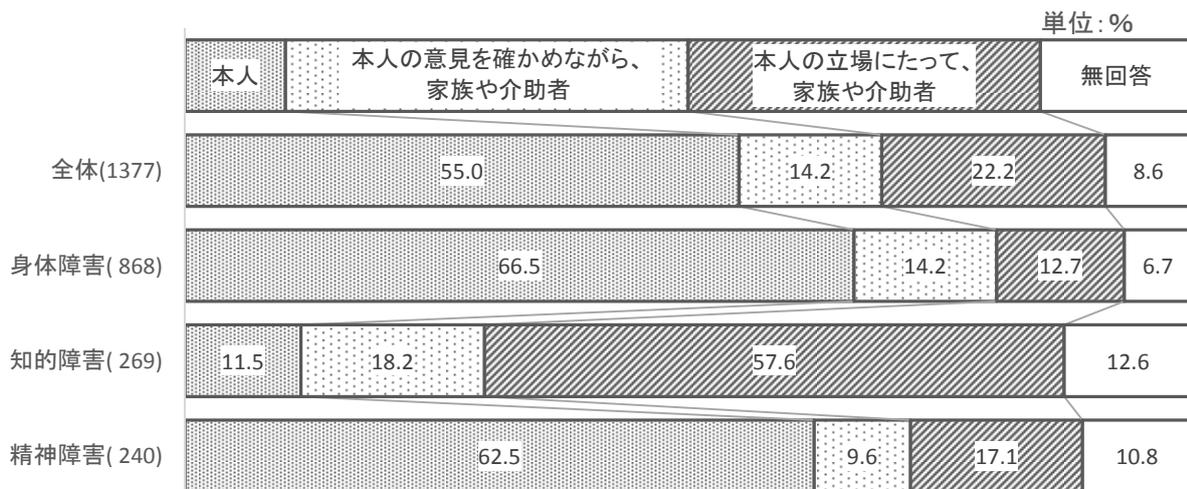
#### (1) 調査票の回答者（記入者）

○身体障害においては、約 67%が「本人」による記入である。

○知的障害においては、約 58%が「本人の立場にたって、家族や介助者が記入」しており、「本人」による記入は約 12%と少なくなっている。

○精神障害においては、約 63%が「本人」による記入である。

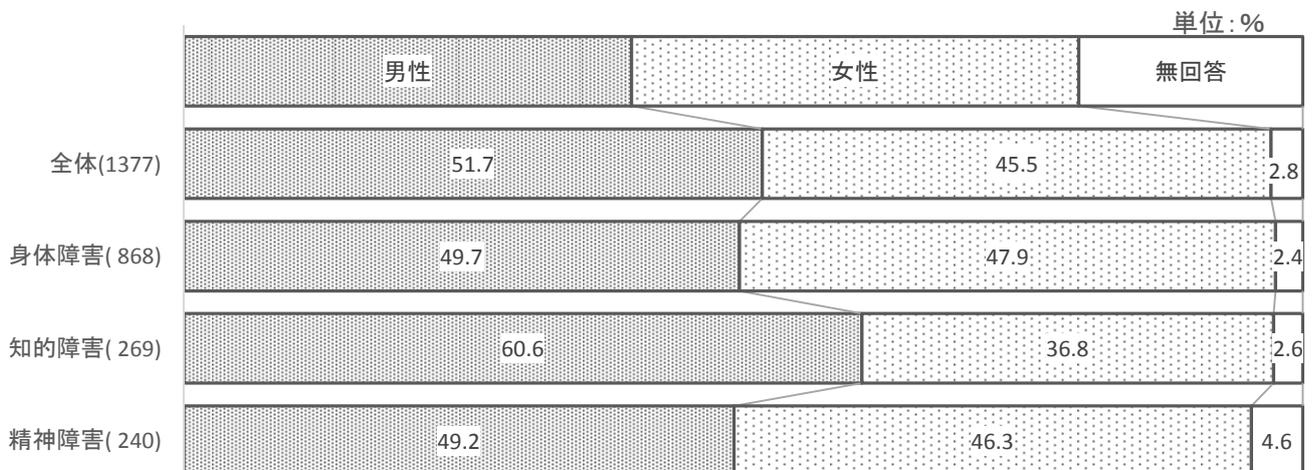
問 1. 調査票の回答者 ×障害種類別



#### (2) 性別

○対象者の性別は、身体障害・精神障害においては男性の方がやや多いが概ね男女とも同程度になっているが、知的障害においては、男性が 6 割と多くなっている。

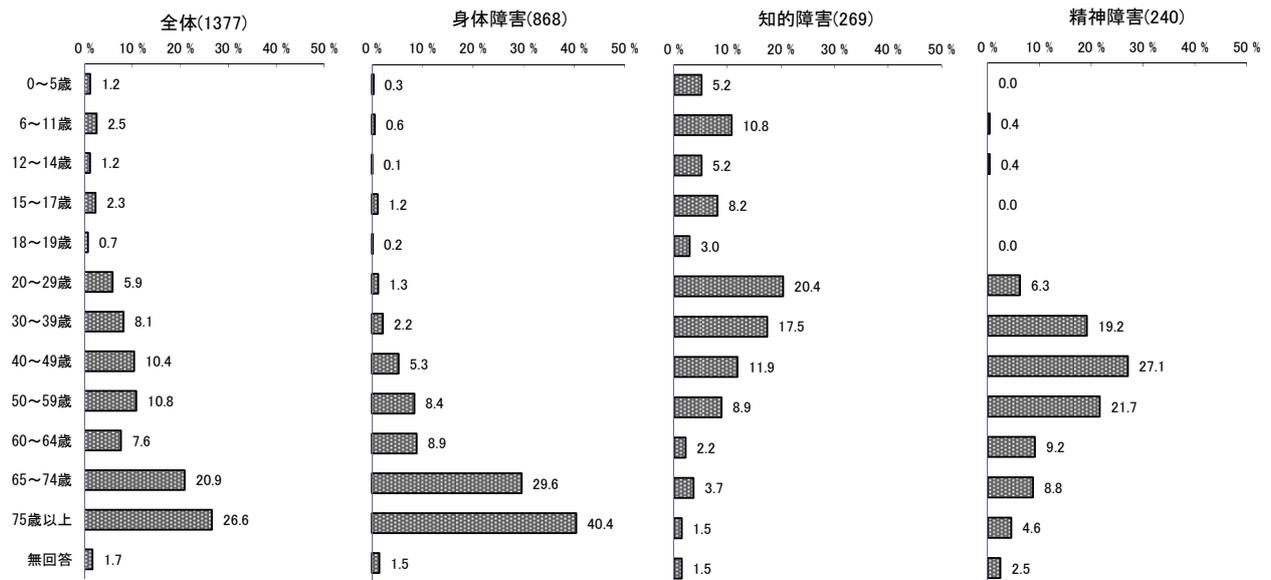
問 2. ①性別 ×障害種類別



### (3) 年齢

- 身体障害においては、65歳以上の高齢者の占める割合が70%を超えている。
- 知的障害においては、20歳代（約20%）、30歳代（約18%）と比較的若い年代層で多くなっている。
- 精神障害においては、未成年は1%未満と少ない。最も多いのは、40歳代で約27%、次いで50歳代が約22%、30歳代が約19%と青壮年層で多くなっている。

#### 問2. ②年齢 × 障害種類別

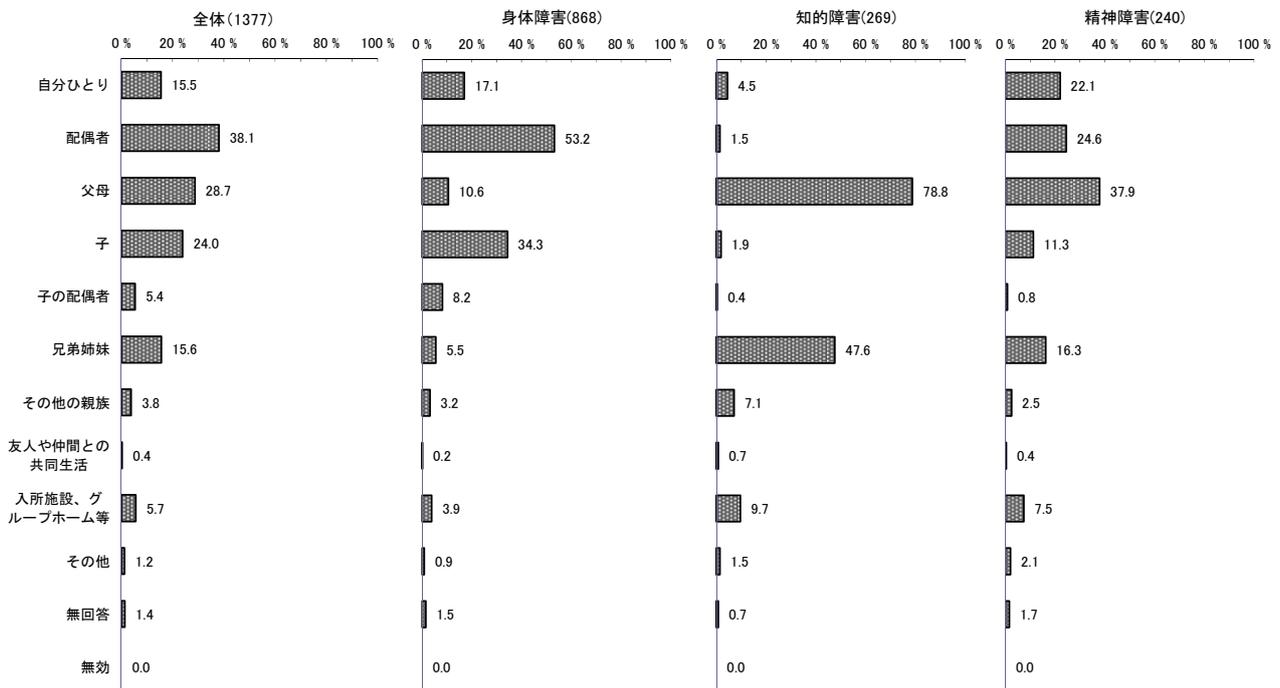




## (5) 同居している方

- 同居している方については、全体では「配偶者」、「父母」、「兄弟姉妹」、「子」が多く、核家族化していることがうかがえる。「自分ひとり」も約16%と比較的多くなっている。
- 身体障害については、「配偶者」「子」が多く、既婚者が多いことがうかがえる。
- 知的障害は、「父母」「兄弟姉妹」が多く、対象者が未成年の若い年代層が多いことから家族と同居していることがうかがえる。また、「入所施設、グループホーム等」が1割程度になっている。
- 精神障害については、他の障害に比べて「自分ひとり」の割合が20%を超えており、入院等で家族から離れて暮らしている人が多いことが推測される。

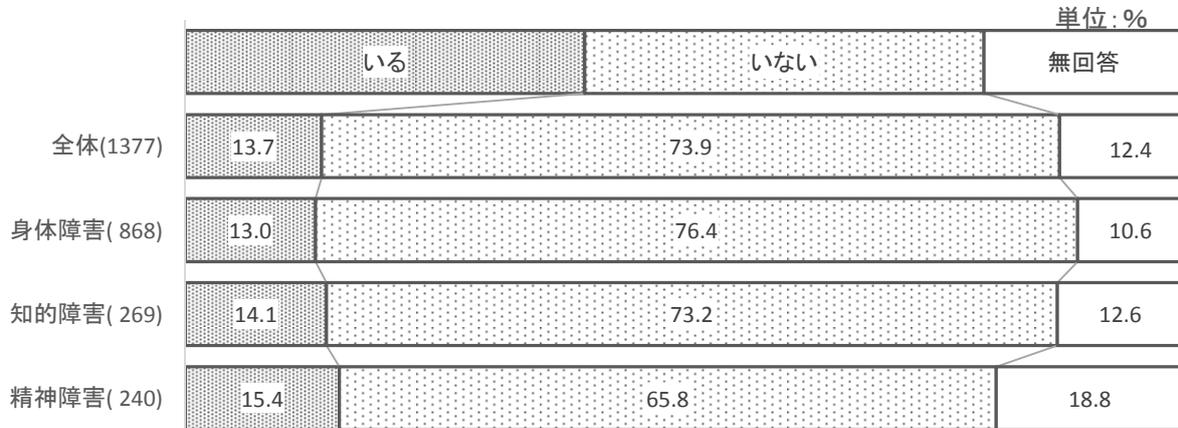
### 問4. 同居している方 × 障害種類別



(6) 本人以外の同居家族で介助が必要な高齢者・障害者・病人等

○本人以外に介助が必要な高齢者等がいるかどうかについては、全体で約 14%の世帯で要介助の人がいる状況である。障害別の大きな傾向の差は見られない。

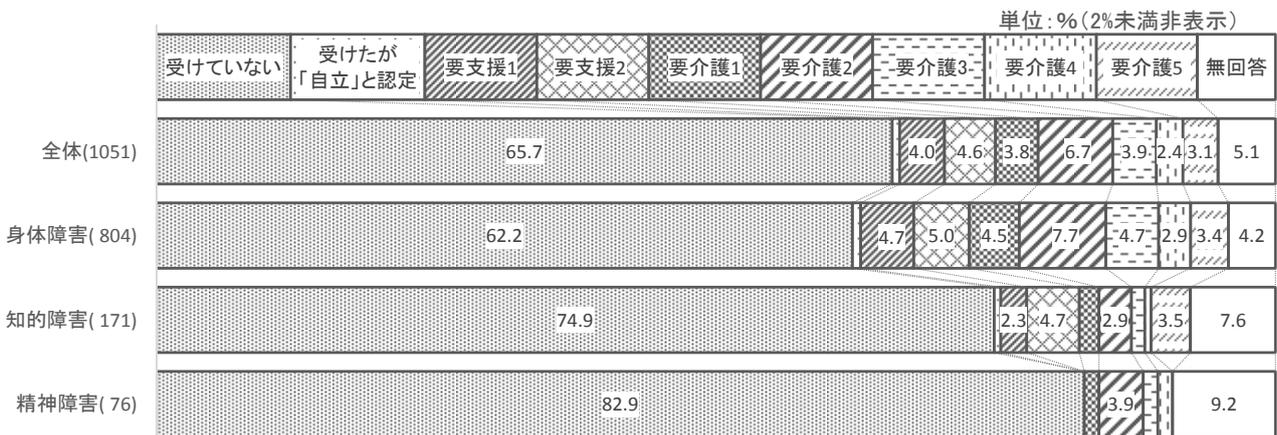
問 5. 本人以外の同居家族で介助が必要な高齢者・障害者・病人等 × 障害種類別



(7) 介護認定

○40 歳以上の人で介護保険制度による要介護認定を受けている人は、全体で 3 割弱となっている。  
○障害別では、高齢の人が多く身体障害で認定を受けている人が多く、要介護度が比較的大きい。精神障害は、受けていない割合が多く、身体と比較し 20 ポイントも高くなっている。

問 6. 要介護認定 × 障害種類別



※2%未満数値：全体 (0.7) 身体障害 (0.7) 知的障害 (0.6、1.8、1.2、0.6) 精神障害 (-、-、-、1.3、1.3、1.3、-)

(8) 持っている手帳

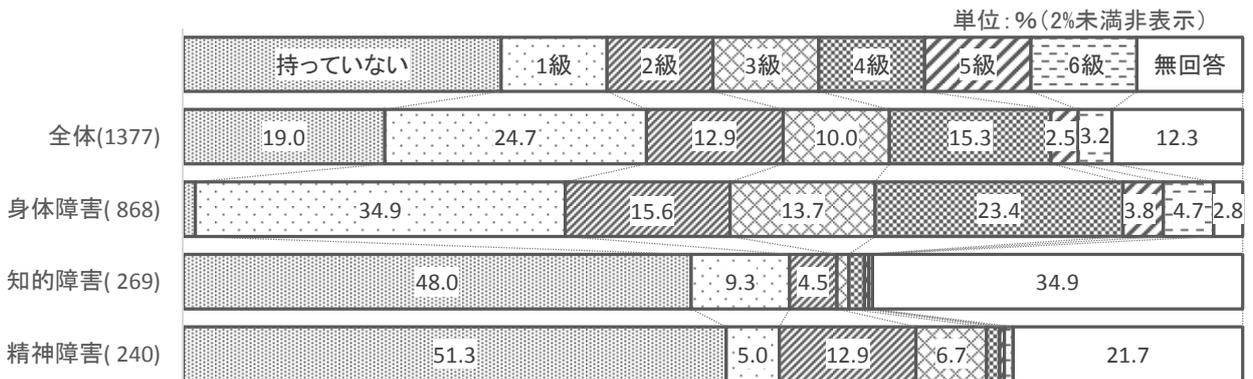
① 身体障害者手帳

○身体障害者手帳については、全体では7割弱の人が所持していると回答している。

○身体障害として調査させていただいた人の中では、「1級」が最も多く約35%、2級の方を合わせると約半数を占めている。

○年齢別では高齢者に手帳所持者が多く、さらに重度の人が多いことがわかる。

問7. 持っている手帳①身体障害者手帳 × 障害種類別



※2%未満数値：身体障害（1.2）知的障害（1.1、1.5、0.4、0.4）精神障害（1.3、0.4、0.8）

問7. 持っている手帳①身体障害者手帳 × 年齢別

	全体	持っていない	1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答	
全体	1377	262	340	178	138	210	35	44	170	
	100.0	19.0	24.7	12.9	10.0	15.3	2.5	3.2	12.3	
年齢	0~5歳	17	8	3	-	1	-	-	1	4
		100.0	47.1	17.6	-	5.9	-	-	5.9	23.5
	6~11歳	35	17	5	2	1	1	1	2	6
		100.0	48.6	14.3	5.7	2.9	2.9	2.9	5.7	17.1
	12~14歳	16	9	2	-	1	-	-	-	4
		100.0	56.3	12.5	-	6.3	-	-	-	25.0
	15~17歳	32	14	6	2	3	1	2	-	4
		100.0	43.8	18.8	6.3	9.4	3.1	6.3	-	12.5
	18~19歳	10	6	1	-	1	1	-	-	1
		100.0	60.0	10.0	-	10.0	10.0	-	-	10.0
	20~29歳	81	40	6	8	1	3	1	-	22
		100.0	49.4	7.4	9.9	1.2	3.7	1.2	-	27.2
	30~39歳	112	50	12	6	2	5	1	3	33
		100.0	44.6	10.7	5.4	1.8	4.5	0.9	2.7	29.5
40~49歳	143	48	19	25	6	6	3	6	30	
	100.0	33.6	13.3	17.5	4.2	4.2	2.1	4.2	21.0	
50~59歳	149	31	29	22	19	17	4	6	21	
	100.0	20.8	19.5	14.8	12.8	11.4	2.7	4.0	14.1	
60~64歳	105	14	29	19	11	20	4	1	7	
	100.0	13.3	27.6	18.1	10.5	19.0	3.8	1.0	6.7	
65~74歳	288	12	96	45	36	73	9	9	8	
	100.0	4.2	33.3	15.6	12.5	25.3	3.1	3.1	2.8	
75歳以上	366	13	130	49	55	82	10	15	12	
	100.0	3.6	35.5	13.4	15.0	22.4	2.7	4.1	3.3	
無回答	23	-	2	-	1	1	-	1	18	
	100.0	-	8.7	-	4.3	4.3	-	4.3	78.3	

※クロス項目において上位2位までの割合を網掛け。

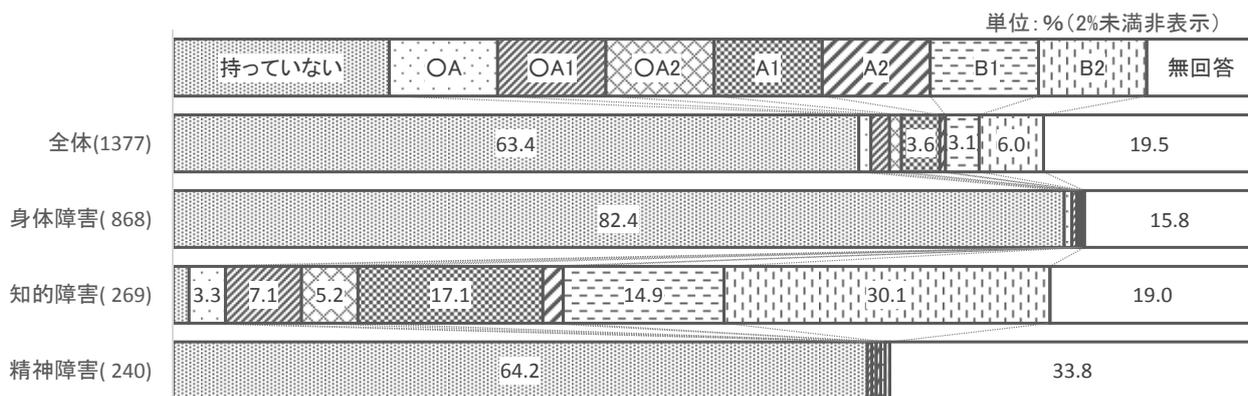
② 療育手帳

○療育手帳については、全体では2割弱の人が所持していると回答している。

○知的障害として調査させていただいた人の中では、「Bの2」が最も多く約30%、ついで「Aの1」が約17%と続いている。

○年齢別で見ると、29歳以下の層で療育手帳を所持している割合が高い。

問7. 持っている手帳②療育手帳 × 障害種類別



※2%未満数値: 全体 (1.1, 1.7, 1.1, 0.5) 身体障害 (0.7, 0.5, 0.1, 0.2, 0.1, 0.2, -) 知的障害 (1.5, 1.9) 精神障害 (-, 0.4, -, 0.4, 0.4, 0.4, 0.4)

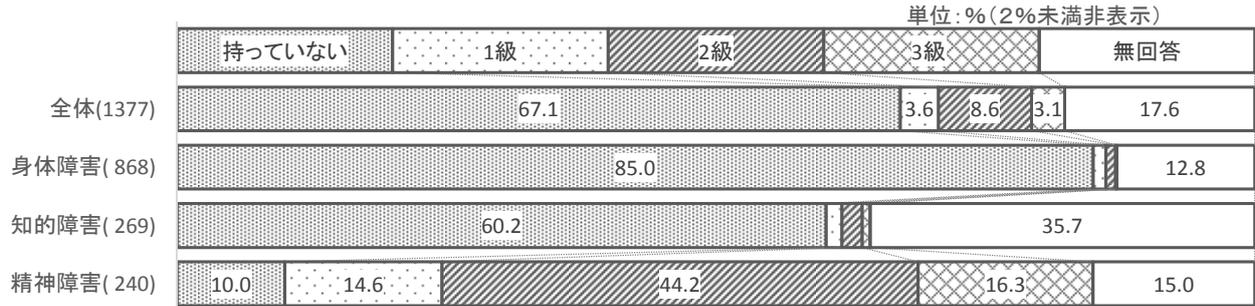
問7. 持っている手帳②療育手帳 × 年齢別

	全体	持 な っ て い る	○ A	○ A 1	○ A 2	A 1	A 2	B 1	B 2	無 回 答	
全体	1377	873	15	24	15	49	7	43	82	269	
	100.0	63.4	1.1	1.7	1.1	3.6	0.5	3.1	6.0	19.5	
年齢	0~5歳	17	2	-	-	-	1	1	3	7	3
		100.0	11.8	-	-	-	5.9	5.9	17.6	41.2	17.6
	6~11歳	35	3	3	-	-	6	2	7	11	3
		100.0	8.6	8.6	-	-	17.1	5.7	20.0	31.4	8.6
	12~14歳	16	-	2	-	-	2	1	2	6	3
		100.0	-	12.5	-	-	12.5	6.3	12.5	37.5	18.8
	15~17歳	32	5	5	1	-	6	-	1	10	4
		100.0	15.6	15.6	3.1	-	18.8	-	3.1	31.3	12.5
	18~19歳	10	1	2	1	1	-	-	1	3	1
		100.0	10.0	20.0	10.0	10.0	-	-	10.0	30.0	10.0
	20~29歳	81	21	2	7	6	13	-	8	11	13
		100.0	25.9	2.5	8.6	7.4	16.0	-	9.9	13.6	16.0
	30~39歳	112	44	-	5	5	9	-	7	13	29
		100.0	39.3	-	4.5	4.5	8.0	-	6.3	11.6	25.9
40~49歳	143	84	-	4	1	4	2	8	11	29	
	100.0	58.7	-	2.8	0.7	2.8	1.4	5.6	7.7	20.3	
50~59歳	149	98	1	3	1	5	-	2	8	31	
	100.0	65.8	0.7	2.0	0.7	3.4	-	1.3	5.4	20.8	
60~64歳	105	80	-	2	-	-	-	1	1	21	
	100.0	76.2	-	1.9	-	-	-	1.0	1.0	20.0	
65~74歳	288	235	-	1	1	1	1	3	1	45	
	100.0	81.6	-	0.3	0.3	0.3	0.3	1.0	0.3	15.6	
75歳以上	366	298	-	-	-	2	-	-	-	66	
	100.0	81.4	-	-	-	0.5	-	-	-	18.0	
無回答	23	2	-	-	-	-	-	-	-	21	
	100.0	8.7	-	-	-	-	-	-	-	91.3	

③ 精神障害者保健福祉手帳

- 精神障害者保健福祉手帳については、全体では約 15%の人が所持していると回答している。
- 精神障害として調査させていただいた人の中では、「2 級」が約 44%と最も多い。
- 身体障害、知的障害として調査させていただいた人の中で、精神障害者保健福祉手帳を所持している人はわずかである。
- 年齢別では、30～50 歳代が比較的多い。

問 7. 持っている手帳③精神障害者保健福祉手帳 × 障害種類別



※2%未満数値：身体障害（1.2、0.9、0.1）知的障害（1.5、1.9、0.7）

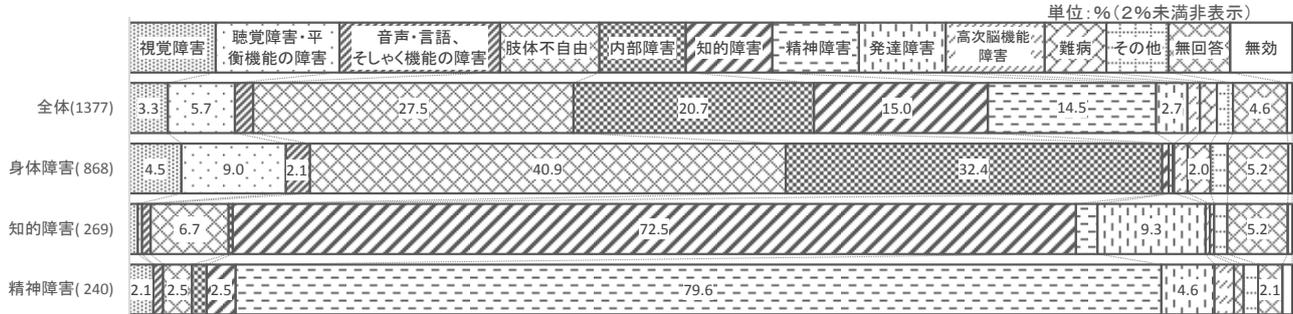
問 7. 持っている手帳③精神障害者保健福祉手帳 × 年齢別

	全体	持っていない	1級	2級	3級	無回答	
全体	1377	924	49	119	42	243	
	100.0	67.1	3.6	8.6	3.1	17.6	
年齢	0～5歳	17	13	-	-	-	4
		100.0	76.5	-	-	-	23.5
	6～11歳	35	26	-	1	-	8
		100.0	74.3	-	2.9	-	22.9
	12～14歳	16	12	-	-	-	4
		100.0	75.0	-	-	-	25.0
	15～17歳	32	22	-	-	-	10
		100.0	68.8	-	-	-	31.3
	18～19歳	10	9	-	1	-	-
		100.0	90.0	-	10.0	-	-
	20～29歳	81	42	1	8	4	26
		100.0	51.9	1.2	9.9	4.9	32.1
	30～39歳	112	47	6	26	11	22
		100.0	42.0	5.4	23.2	9.8	19.6
40～49歳	143	64	7	30	11	31	
	100.0	44.8	4.9	21.0	7.7	21.7	
50～59歳	149	85	6	25	8	25	
	100.0	57.0	4.0	16.8	5.4	16.8	
60～64歳	105	72	7	10	3	13	
	100.0	68.6	6.7	9.5	2.9	12.4	
65～74歳	288	229	9	12	1	37	
	100.0	79.5	3.1	4.2	0.3	12.8	
75歳以上	366	298	9	4	2	53	
	100.0	81.4	2.5	1.1	0.5	14.5	
無回答	23	5	4	2	2	10	
	100.0	21.7	17.4	8.7	8.7	43.5	

(9) 主たる障害

○生活に最も影響のある障害の種類（主たる障害）については、「肢体不自由」が約28%を占め、「内部障害」（約21%）、「知的障害」（約15%）と続いている。

問8. ①生活にもっとも影響のある障害（主たる障害） × 障害種類別



※2%未満数値：全体（1.6、1.1、1.5、1.4、0.4）身体障害（0.6、0.3、0.1、1.2、1.5、0.3）知的障害（0.7、0.4、0.7、0.4、1.9、0.4、0.4、1.1、0.4）精神障害（-、0.8、1.3、1.7、0.8、1.3、0.8）

○年齢別にみると、主たる障害として「知的障害」を挙げる割合は子どもや若年層に多く、「肢体不自由」「内部障害」は高齢層に多いことがわかる。

問8. ①生活にもっとも影響のある障害（主たる障害） × 年齢別

	全体	視覚障害	聴覚障害・平衡機能の障害	音声・言語、そしゃく機能の障害	肢体不自由	内部障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	難病	その他	無回答	無効
全体	1377	46	79	22	379	285	206	199	37	15	20	19	64	6
	100.0	3.3	5.7	1.6	27.5	20.7	15.0	14.5	2.7	1.1	1.5	1.4	4.6	0.4
年齢	0～5歳	17	-	-	1	3	1	7	-	4	-	1	-	-
		100.0	-	-	5.9	17.6	5.9	41.2	-	23.5	-	5.9	-	-
	6～11歳	35	-	1	1	8	-	15	-	9	-	-	-	1
		100.0	-	2.9	2.9	22.9	-	42.9	-	25.7	-	-	-	2.9
	12～14歳	16	-	-	-	-	-	11	-	3	-	-	-	2
		100.0	-	-	-	-	-	68.8	-	18.8	-	-	-	12.5
	15～17歳	32	-	4	-	4	-	18	-	2	1	1	-	1
		100.0	-	12.5	-	12.5	-	56.3	-	6.3	3.1	3.1	-	3.1
	18～19歳	10	-	-	-	-	1	7	1	-	-	-	-	-
		100.0	-	-	-	-	10.0	70.0	10.0	-	-	-	-	-
	20～29歳	81	-	3	-	10	1	48	10	7	-	-	-	2
		100.0	-	3.7	-	12.3	1.2	59.3	12.3	8.6	-	-	-	2.5
	30～39歳	112	2	4	-	10	5	35	40	8	1	-	-	7
	100.0	1.8	3.6	-	8.9	4.5	31.3	35.7	7.1	0.9	-	-	6.3	
40～49歳	143	3	10	2	17	15	30	54	3	-	3	2	3	
	100.0	2.1	7.0	1.4	11.9	10.5	21.0	37.8	2.1	-	2.1	1.4	2.1	
50～59歳	149	5	10	4	35	20	17	45	-	4	1	2	6	
	100.0	3.4	6.7	2.7	23.5	13.4	11.4	30.2	-	2.7	0.7	1.3	4.0	
60～64歳	105	3	3	2	42	20	5	17	1	-	3	1	7	
	100.0	2.9	2.9	1.9	40.0	19.0	4.8	16.2	1.0	-	2.9	1.0	6.7	
65～74歳	288	13	15	5	108	89	6	20	-	7	4	8	11	
	100.0	4.5	5.2	1.7	37.5	30.9	2.1	6.9	-	2.4	1.4	2.8	3.8	
75歳以上	366	19	29	6	136	128	3	8	-	1	7	6	23	
	100.0	5.2	7.9	1.6	37.2	35.0	0.8	2.2	-	0.3	1.9	1.6	6.3	
無回答	23	1	-	1	6	5	4	4	-	1	-	-	1	
	100.0	4.3	-	4.3	26.1	21.7	17.4	17.4	-	4.3	-	-	4.3	

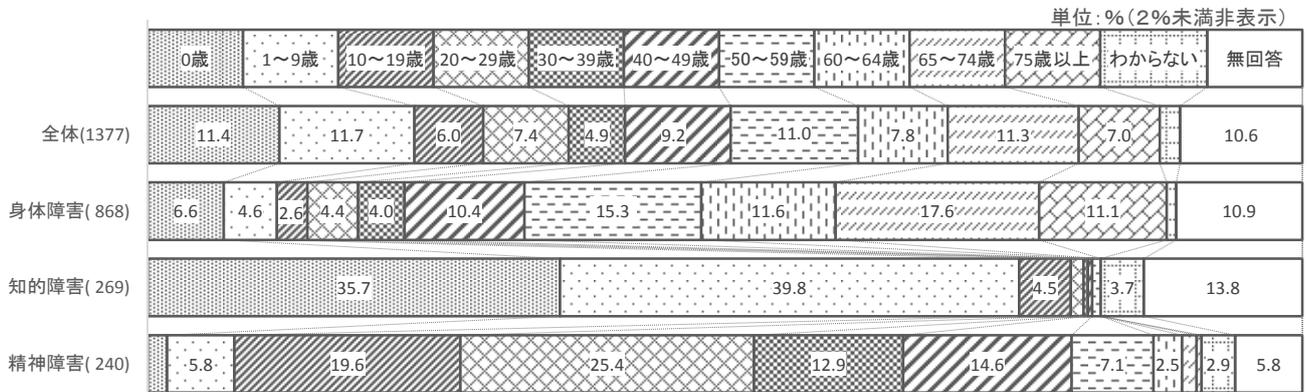
(10) 障害が生じた年齢

○障害の生じた年齢については、身体障害では概ね50歳以上で多くなっている。

○知的障害では、10歳未満が75%程度と誕生当初からの障害発生がほとんどを占める。

○精神障害では、20歳代が約25%と最も多くなっているが、10～40歳代の若青年層で生じている。

問 8. ②障害が生じた年齢 × 障害種類別



※2%未満数値: 全体 (1.7) 身体障害 (0.8) 知的障害 (1.1、0.4、0.4、0.7、-、-) 精神障害 (1.7、1.3、0.4)

○主たる障害者が生じた年齢については、10歳未満で「知的障害」「聴覚障害・平衡機能の障害」「発達障害」が多く、10～20歳代で「精神障害」、50歳以上で「音声・言語、そしゃく機能の障害」「肢体不自由」「内部障害」「高次脳機能障害」が多くなっている。

問 8. ②障害が生じた年齢 × 主たる障害別

	全体	(出生前0歳を含む)	10歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上	わからない	無回答	
全体	1377	157	161	82	102	67	126	152	107	156	97	24	146	
	100.0	11.4	11.7	6.0	7.4	4.9	9.2	11.0	7.8	11.3	7.0	1.7	10.6	
主たる障害	視覚障害	46	5	2	3	4	1	8	7	4	3	6	2	1
		100.0	10.9	4.3	6.5	8.7	2.2	17.4	15.2	8.7	6.5	13.0	4.3	2.2
	聴覚障害・平衡機能の障害	79	14	16	4	3	4	13	6	6	5	1	2	5
		100.0	17.7	20.3	5.1	3.8	5.1	16.5	7.6	7.6	6.3	1.3	2.5	6.3
	音声・言語、そしゃく機能の障害	22	3	1	1	-	-	2	5	4	6	-	-	-
		100.0	13.6	4.5	4.5	-	-	9.1	22.7	18.2	27.3	-	-	-
	肢体不自由	379	34	28	11	18	18	40	55	41	62	36	1	35
		100.0	9.0	7.4	2.9	4.7	4.7	10.6	14.5	10.8	16.4	9.5	0.3	9.2
	内部障害	285	7	-	2	12	9	27	49	38	66	47	1	27
		100.0	2.5	-	0.7	4.2	3.2	9.5	17.2	13.3	23.2	16.5	0.4	9.5
	知的障害	206	75	85	12	3	1	1	1	-	-	-	7	21
		100.0	36.4	41.3	5.8	1.5	0.5	0.5	0.5	-	-	-	3.4	10.2
	精神障害	199	-	7	44	53	29	27	13	6	2	-	5	13
	100.0	-	3.5	22.1	26.6	14.6	13.6	6.5	3.0	1.0	-	2.5	6.5	
発達障害	37	11	15	2	1	1	1	-	-	-	-	3	3	
	100.0	29.7	40.5	5.4	2.7	2.7	2.7	-	-	-	-	8.1	8.1	
高次脳機能障害	15	-	-	3	-	2	1	3	3	3	-	-	-	
	100.0	-	-	20.0	-	13.3	6.7	20.0	20.0	20.0	-	-	-	
難病	20	2	-	-	2	1	1	8	-	3	2	-	1	
	100.0	10.0	-	-	10.0	5.0	5.0	40.0	-	15.0	10.0	-	5.0	
その他	19	-	1	-	2	-	2	2	2	4	2	1	3	
	100.0	-	5.3	-	10.5	-	10.5	10.5	10.5	21.1	10.5	5.3	15.8	
無回答	64	4	5	-	3	1	3	3	2	2	3	2	36	
	100.0	6.3	7.8	-	4.7	1.6	4.7	4.7	3.1	3.1	4.7	3.1	56.3	
無効	6	2	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	
	100.0	33.3	16.7	-	16.7	-	-	-	16.7	-	-	-	16.7	

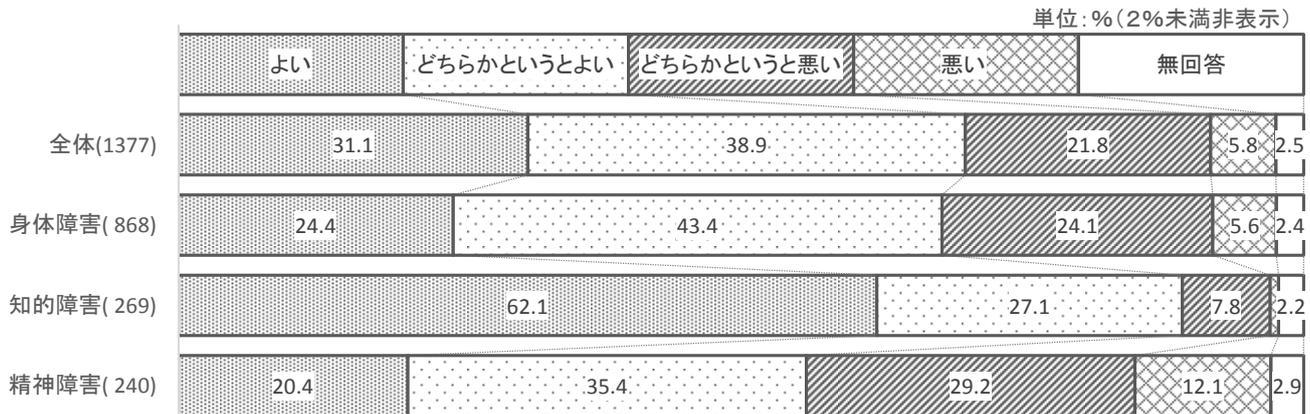
## 2 健康について

### (1) 健康状態

○この1か月程度の健康状態については、全体では「よい」「どちらかというといよい」とする人は約70%で大半を占める。

○健康状態がよい人は知的障害で多く、思わしくない人は、精神障害で比較的多い。

#### 問 9. 健康状態 × 障害種類別



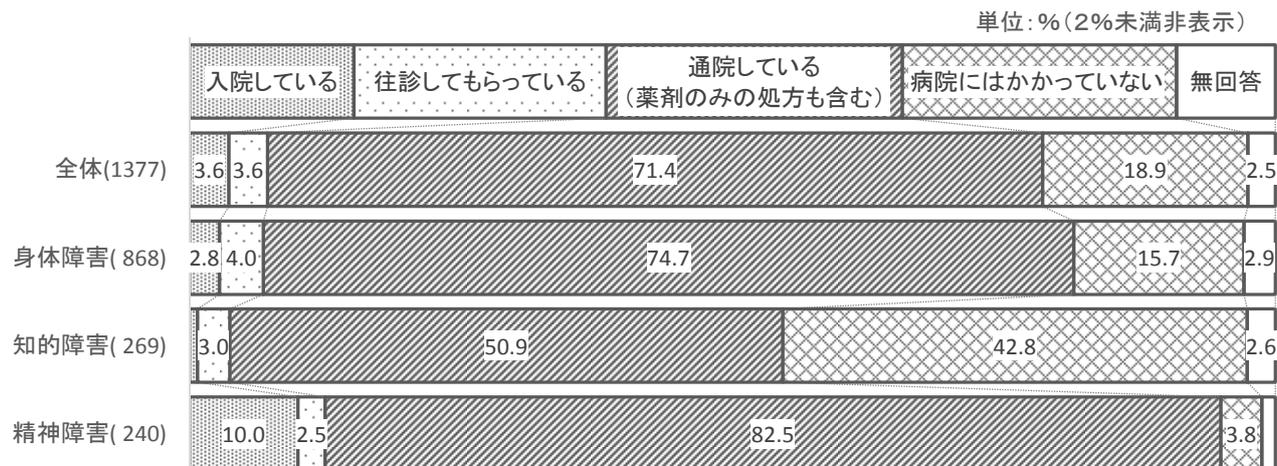
※2%未満数値：知的障害 (0.7)

### (2) 治療中か否かの状況

○健診・検診以外に、治療のために医療機関に通院・入院しているか否かについては、「通院している」人が7割以上を占め、「病院にかかっていない」人は、2割弱にとどまる。

○身体障害、精神障害では、「通院している」割合が知的障害よりも高い。特に、精神障害は「通院している」が8割以上と3障害の中で最も高く、また、「入院している」についても全体より高く1割を占めている。

#### 問 10. 治療中か否かの状況 × 障害種類別

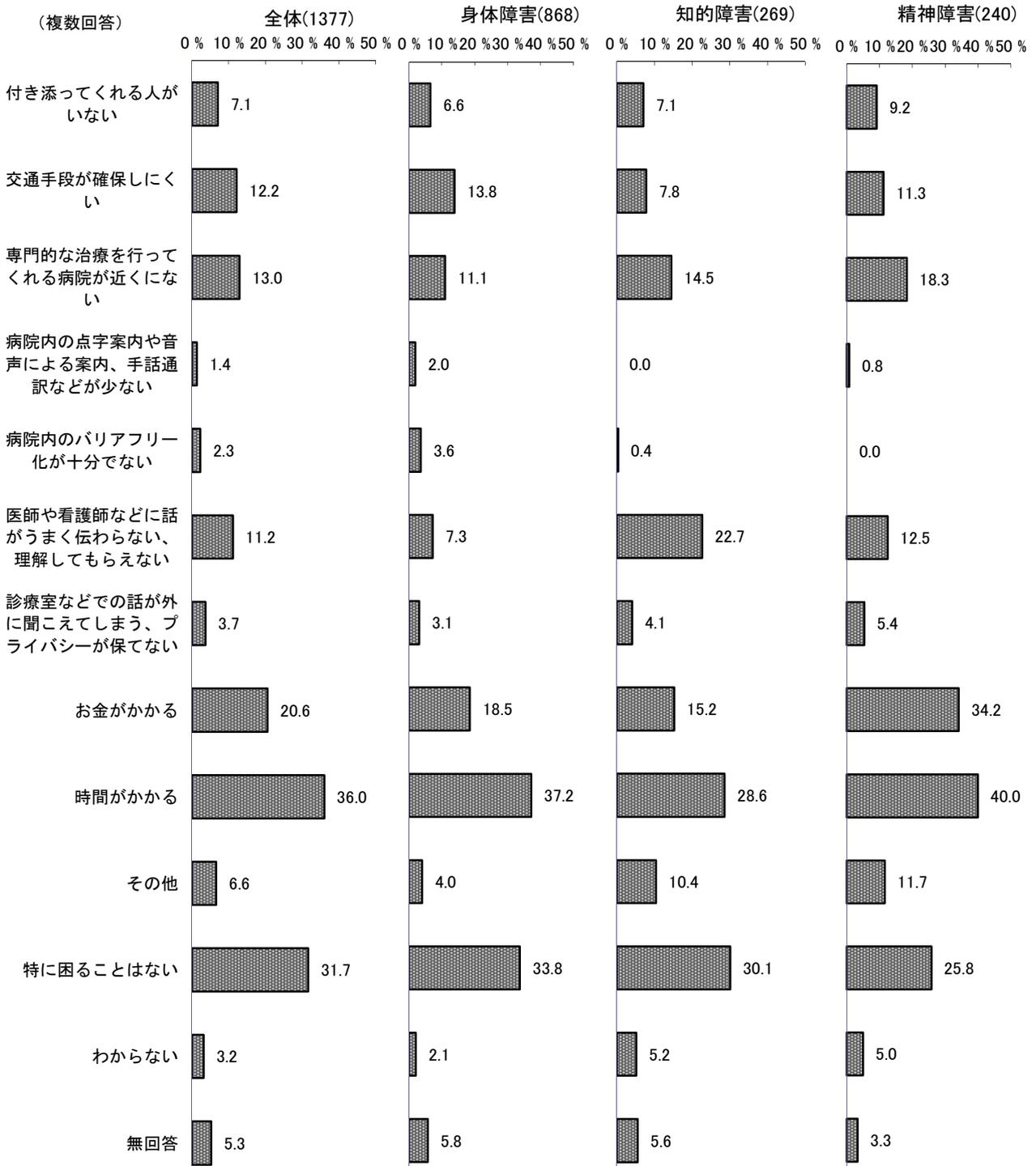


※2%未満数値：知的障害 (0.7) 精神障害 (1.3)

### (3) 病院等を利用するときに不便を感じること

- 全体では、「時間がかかる」という意見が約 36%と最も多く、次いで「お金がかかる」、「専門的な治療を行ってくれる病院が近くにない」、「交通手段が確保しにくい」が多い。一方で、「特に困ることはない」という人も約 32%と比較的多い。
- 障害別では、知的障害で「医師や看護師に話が伝わらない、理解してもらえない」が約 23%、精神障害で「お金がかかる」が約 34%と他障害と比較すると 10 ポイント程度高くなっている。

問 11. 病院等を利用するときに不便を感じること × 障害種類別



- 主たる障害別にみると、「医師や看護師に話が伝わらない、理解してもらえない」というコミュニケーションの難しさを挙げる人は、難病・高次脳機能障害・発達障害で20～30%と高く、また聴覚障害・平衡機能の障害や音声・言語、そしゃく機能の障害でも10～20%と高くなっている。
- 「交通手段が確保しにくい」については、音声・言語、そしゃく機能の障害が約23%と最も高く、ついで難病（20%）、肢体不自由（約17%）と続いている。
- 「専門的な治療を行ってくれる病院が近くにない」については、難病で35%と最も高く、ついで発達障害（約19%）、視覚障害（約17%）と続いている。

問 11. 病院等を利用するとき不便を感じる事 ×主たる障害別

	全体	付き添って くれる人が ない	交通手段が 確保しにく い	専門的な治 療を行って くれる病 院が近く にない	病院内の 点字案内 や音声 などが少 ない	病院内の バリアフ リー化 が十分で ない	うまくだ く伝わら ない、理 解が	医師や 看護師 などに 話が 伝わり ませぬ	診察室 などで の話が 外に 聞こえ てしま う、ブ ライ バシー が保て ない	お金の かかる	時間か かる	その他	特に困 ること はない	わか らな い	無回 答
全体	1377 100.0	98 7.1	168 12.2	179 13.0	19 1.4	32 2.3	154 11.2	51 3.7	284 20.6	496 36.0	91 6.6	436 31.7	44 3.2	73 5.3	
主たる 障害	視覚障害	46 100.0	3 6.5	6 13.0	8 17.4	3 6.5	3 6.5	5 10.9	5 10.9	7 15.2	20 43.5	-	14 30.4	1 2.2	1 2.2
	聴覚障害・平衡 機能の障害	79 100.0	6 7.6	4 5.1	6 7.6	14 17.7	3 3.8	15 19.0	1 1.3	9 11.4	18 22.8	7 8.9	27 34.2	6 7.6	3 3.8
	音声・言語、そ しゃく機能の障害	22 100.0	1 4.5	5 22.7	3 13.6	-	1 4.5	3 13.6	1 4.5	6 27.3	9 40.9	-	9 40.9	1 4.5	2 9.1
	肢体不自由	379 100.0	32 8.4	63 16.6	45 11.9	-	17 4.5	23 6.1	11 2.9	78 20.6	147 38.8	20 5.3	125 33.0	4 1.1	14 3.7
	内部障害	285 100.0	9 3.2	37 13.0	31 10.9	1 0.4	4 1.4	11 3.9	9 3.2	50 17.5	116 40.7	7 2.5	108 37.9	2 0.7	12 4.2
	知的障害	206 100.0	14 6.8	14 6.8	29 14.1	-	1 0.5	49 23.8	8 3.9	31 15.0	59 28.6	19 9.2	62 30.1	11 5.3	9 4.4
	精神障害	199 100.0	18 9.0	23 11.6	33 16.6	1 0.5	1 0.5	24 12.1	10 5.0	72 36.2	76 38.2	19 9.5	53 26.6	11 5.5	8 4.0
	発達障害	37 100.0	3 8.1	1 2.7	7 18.9	-	-	8 21.6	3 8.1	8 21.6	12 32.4	10 27.0	6 16.2	2 5.4	1 2.7
	高次脳機能障害	15 100.0	1 6.7	2 13.3	1 6.7	-	1 6.7	5 33.3	-	1 6.7	6 40.0	3 20.0	2 13.3	-	-
	難病	20 100.0	1 5.0	4 20.0	7 35.0	-	-	7 35.0	2 10.0	8 40.0	13 65.0	1 5.0	2 10.0	2 10.0	-
	その他	19 100.0	2 10.5	1 5.3	2 10.5	-	-	1 5.3	-	2 10.5	7 36.8	3 15.8	5 26.3	2 10.5	3 15.8
	無回答	64 100.0	7 10.9	7 10.9	6 9.4	-	-	2 3.1	1 1.6	9 14.1	11 17.2	1 1.6	21 32.8	2 3.1	19 29.7
	無効	6 100.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7	-	1 16.7	1 16.7	-	3 50.0	2 33.3	1 16.7	2 33.3	-	1 16.7

### 3 暮らしを取り巻く環境について

#### (1) 生活環境等の重要度・満足度

##### ① 重要度

- 暮らしを取り巻く環境について、20項目にわたり、その重要性を5段階で評価いただいたところ、全体では、「(10) 安心して暮らし続けられる住まいがある」「(17) 費用の心配をせずに必要な医療を受けられる」「(9) 暮らしに困らないだけの収入がある」の3項目を重視する意識が強い。
- 地域別では、「(2) 困ったとき周囲の人が手助けしてくれる」「(3) 相談できるところが身近にある」等全体的に南部が重視する傾向が強く、西部が弱くなっている。
- 年齢別では、子どもから若年層にかけて、全体的に重要度が高く、様々な生活環境に適応できるきめ細かな生活環境整備が必要とされている。

##### ② 満足度

- 同様の項目について実際の満足度を評価いただいたところ、「(10) 安心して暮らし続けられる住まいがある」「(17) 費用の心配をせずに必要な医療を受けられる」において、2割以上が満足と感じ、一方、「(9) 暮らしに困らないだけの収入がある」「(6) 外に出かけても事故やけがの心配がない」「(7) 災害の情報収集や災害発生時に安全に避難できる」においては、2割以上が不満を感じている。
- 年齢別では、18歳未満の子どもについて、外出時や災害時での安全性、職場の選択、リハビリテーションの機会などについて、厳しい評価となっている。

##### ③ 重要度と満足度の差

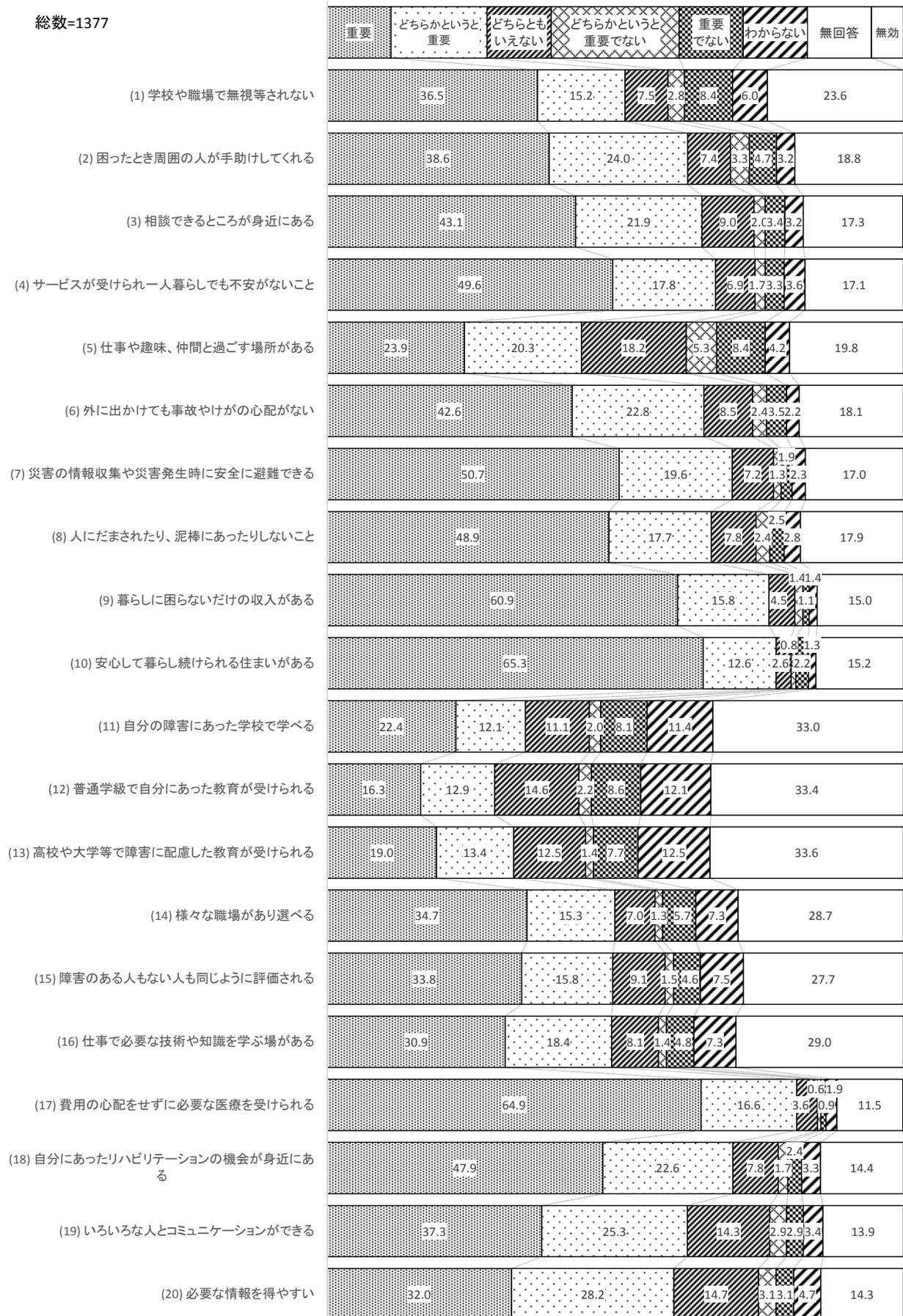
- 重要度に対して満足度が低いものほど、対応策のニーズが高いと考えられることから、両者の平均点の差を見てみると、「(9) 暮らしに困らないだけの収入がある」「(7) 災害の情報収集や災害発生時に安全に避難できる」などで特に差が大きくなっている。一方、「(11) 自分の障害にあった学校で学べる」「(12) 普通学級で自分にあった教育が受けられる」など教育面に関しては、差は小さくなった。
- 主な障害の種類別では、発達障害や精神障害、高次脳機能障害において、他の障害と比較すると、特に外出時や災害時の安全性、職場の選択、仕事に必要な技術や知識を学ぶ機会などの項目で重要度と満足度の差が大きくなっている。
- 地域別では、東部において外出時や災害時の安全性、リハビリテーションの機会において、重要度と満足度の差が大きくなっている。
- 年齢別では、全体的に30歳未満の年齢層で重要度と満足度の差が大きい傾向が見られる。

※平均点とは、重要（満足）を2点、どちらかという重要（満足）を1点、どちらかともいえないを0点、どちらかという重要ではない（不満）を-1点、重要でない（不満）を-2点として各選択肢の回答者数を乗じて求めた得点の合計を回答者数合計数で割って算出した値である。

問 12. 生活環境等の重要度 × 全体

単位：%

総数=1377



問 12. 生活環境等の重要度 × 障害種類別

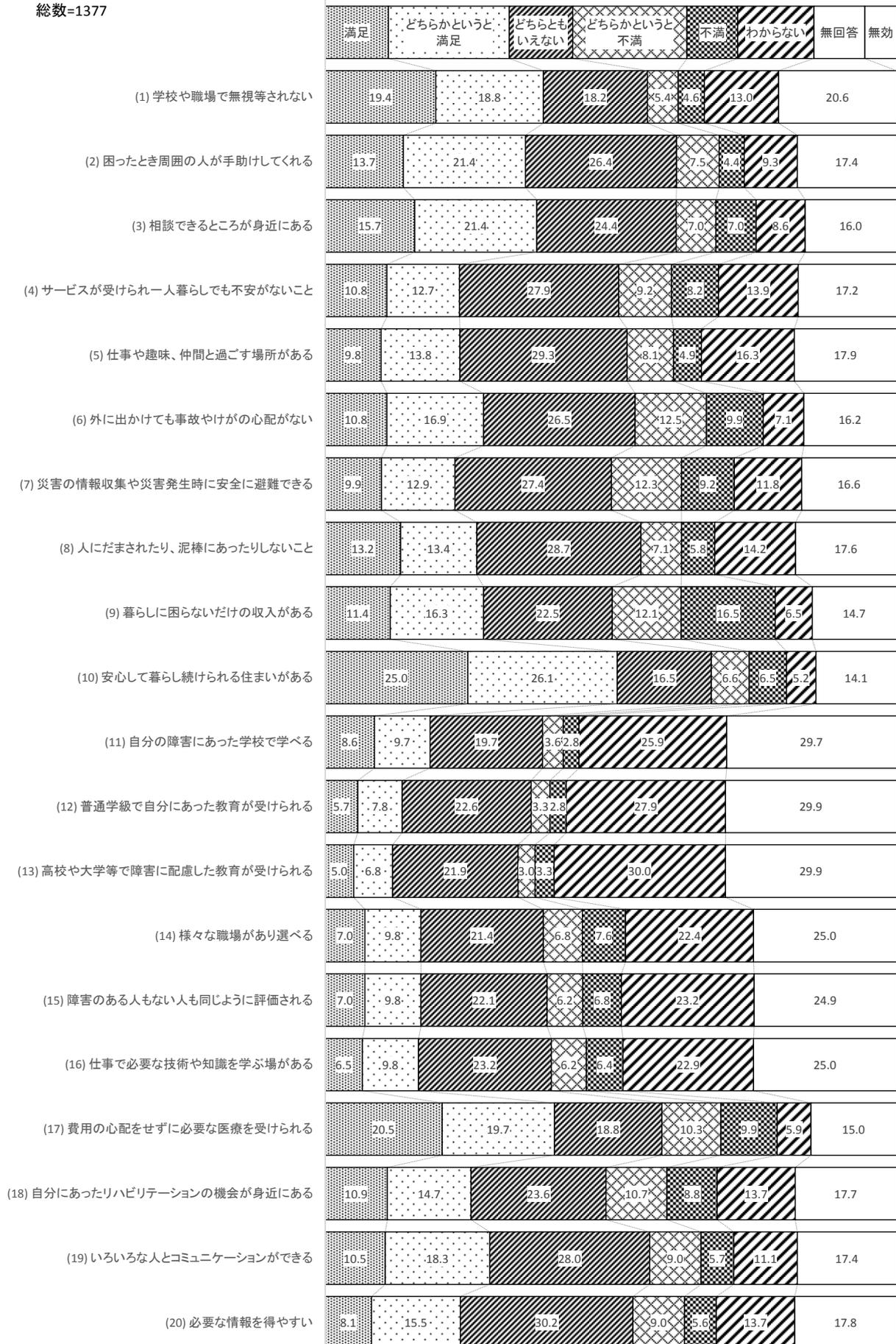
	障害種類	重要	どちらかとい うと重要	どちらともい えない	どちらかとい うと重要でない	重要でない	わからない	無回答	「重要」と「どち らか」というと重 要」の計	「重要でない」 と「どちらかとい うと重要でない」の計
(1) 学校や職場で無視させられない	全体	36.5	15.2	7.5	2.8	8.4	6.0	23.6	51.7	11.2
	身体障害	33.2	15.3	7.8	3.6	12.1	7.1	20.9	48.5	15.7
	知的障害	43.5	17.1	6.3	1.1	1.1	4.1	26.8	60.6	2.2
	精神障害	40.8	12.5	7.5	2.1	2.9	4.2	30.0	53.3	5.0
(2) 困ったとき周囲の人が手助けしてくれる	全体	38.6	24.0	7.4	3.3	4.7	3.2	18.8	62.6	8.0
	身体障害	37.2	25.8	7.7	3.2	5.5	3.8	16.7	63.0	8.8
	知的障害	45.4	20.8	6.3	1.9	1.5	1.5	22.7	66.2	3.3
	精神障害	35.8	21.3	7.5	5.0	5.4	2.9	22.1	57.1	10.4
(3) 相談できるところが身近にある	全体	43.1	21.9	9.0	2.0	3.4	3.2	17.3	65.1	5.4
	身体障害	38.2	23.2	12.1	2.4	4.6	4.0	15.4	61.4	7.0
	知的障害	50.6	22.3	3.3	0.7	0.7	1.5	20.8	72.9	1.5
	精神障害	52.5	17.1	4.2	1.7	2.1	2.1	20.0	69.6	3.8
(4) サービスが受けられ一人暮らしでも不安がない	全体	49.6	17.8	6.9	1.7	3.3	3.6	17.1	67.4	5.0
	身体障害	49.2	18.8	6.9	1.7	3.7	4.5	15.2	68.0	5.4
	知的障害	53.9	16.4	6.3	0.7	0.7	2.2	19.7	70.3	1.5
	精神障害	46.3	15.8	7.5	2.9	4.6	2.1	20.8	62.1	7.5
(5) 仕事や趣味、仲間と過ごす場所がある	全体	23.9	20.3	18.2	5.3	8.4	4.2	19.8	44.2	13.7
	身体障害	19.1	19.8	20.9	6.5	10.6	5.5	17.6	38.9	17.1
	知的障害	40.1	22.3	9.7	2.6	1.1	0.4	23.8	62.5	3.7
	精神障害	22.9	19.6	17.9	4.2	8.8	3.8	22.9	42.5	12.9
(6) 外に出かけても事故やけがの心配がない	全体	42.6	22.8	8.5	2.4	3.5	2.2	18.1	65.4	5.9
	身体障害	45.3	23.4	6.9	2.1	4.1	2.3	15.9	68.7	6.2
	知的障害	42.8	21.9	10.0	1.5	1.1	0.7	21.9	64.7	2.6
	精神障害	32.5	21.7	12.5	4.6	3.8	3.3	21.7	54.2	8.3
(7) 災害の情報収集や災害発生時に安全に避難できる	全体	50.7	19.6	7.2	1.3	1.9	2.3	17.0	70.3	3.2
	身体障害	52.2	19.2	6.8	1.5	2.1	2.5	15.7	71.4	3.6
	知的障害	51.7	21.9	5.9	0.7	0.7	0.7	18.2	73.6	1.5
	精神障害	44.2	18.3	10.0	1.3	2.5	3.3	20.4	62.5	3.8
(8) 人にだまされたり、泥棒にあたりしない	全体	48.9	17.7	7.8	2.4	2.5	2.8	17.9	66.7	4.9
	身体障害	46.8	18.2	9.0	2.9	3.3	3.6	16.2	65.0	6.2
	知的障害	55.0	17.5	5.2	0.7	0.4	1.1	20.1	72.5	1.1
	精神障害	50.0	16.3	6.3	2.5	1.7	2.1	21.3	66.3	4.2
(9) 暮らしに困らないだけの収入がある	全体	60.9	15.8	4.5	1.4	1.1	1.4	15.0	76.7	2.5
	身体障害	59.2	17.6	5.1	1.8	1.3	1.6	13.4	76.8	3.1
	知的障害	59.9	15.6	4.1	0.4	1.5	0.7	17.8	75.5	1.9
	精神障害	67.9	9.6	2.9	0.8	0.0	1.3	17.5	77.5	0.8
(10) 安心して暮らし続けられる住まいがある	全体	65.3	12.6	2.6	0.8	2.2	1.3	15.2	77.9	3.0
	身体障害	63.5	14.9	2.9	0.9	3.0	1.2	13.7	78.3	3.9
	知的障害	70.3	6.7	2.2	0.4	1.1	1.5	17.8	77.0	1.5
	精神障害	66.3	11.3	2.1	0.8	0.4	1.7	17.5	77.5	1.3
(11) 自分の障害にあった学校で学べる	全体	22.4	12.1	11.1	2.0	8.1	11.4	33.0	34.4	10.0
	身体障害	19.8	11.9	12.9	2.1	9.3	14.5	29.5	31.7	11.4
	知的障害	36.1	12.6	7.1	0.4	3.7	3.3	36.8	48.7	4.1
	精神障害	16.3	12.1	9.2	3.3	8.3	9.2	41.7	28.3	11.7
(12) 普通学級で自分にあった教育が受けられる	全体	16.3	12.9	14.6	2.2	8.6	12.1	33.4	29.1	10.7
	身体障害	16.5	12.6	14.6	2.1	9.8	14.5	30.0	29.0	11.9
	知的障害	20.1	13.8	16.7	2.6	5.2	4.1	37.5	33.8	7.8
	精神障害	11.3	12.9	12.1	2.1	7.9	12.5	41.3	24.2	10.0
(13) 高校や大学等で障害に配慮した教育が受けられる	全体	19.0	13.4	12.5	1.4	7.7	12.5	33.6	32.4	9.1
	身体障害	18.4	13.5	13.1	1.4	8.9	14.6	30.1	31.9	10.3
	知的障害	23.0	13.4	13.0	0.7	5.2	6.7	37.9	36.4	5.9
	精神障害	16.7	12.9	9.6	2.1	6.3	11.3	41.3	29.6	8.3
(14) 様々な職場があり選べる	全体	34.7	15.3	7.0	1.3	5.7	7.3	28.7	50.0	7.0
	身体障害	31.3	16.5	7.5	1.5	7.6	9.0	26.6	47.8	9.1
	知的障害	43.5	14.1	5.9	1.5	1.1	2.6	31.2	57.6	2.6
	精神障害	37.1	12.1	6.3	0.4	4.2	6.7	33.3	49.2	4.6
(15) 障害のある人もない人も同じように評価される	全体	33.8	15.8	9.1	1.5	4.6	7.5	27.7	49.6	6.1
	身体障害	33.4	16.0	9.1	1.4	6.0	8.4	25.7	49.4	7.4
	知的障害	32.7	16.7	11.5	2.2	1.9	4.8	30.1	49.4	4.1
	精神障害	36.3	14.2	6.3	0.8	2.9	7.1	32.5	50.4	3.8
(16) 仕事に必要な技術や知識を学ぶ場がある	全体	30.9	18.4	8.1	1.4	4.8	7.3	29.0	49.4	6.2
	身体障害	30.6	18.4	8.5	1.4	6.2	8.1	26.7	49.1	7.6
	知的障害	30.1	19.7	10.0	1.9	1.1	5.6	31.6	49.8	3.0
	精神障害	32.9	17.1	4.6	0.8	3.8	6.3	34.6	50.0	4.6
(17) 費用の心配をせずに、必要な医療を受けられる	全体	64.9	16.6	3.6	0.6	0.9	1.9	11.5	81.5	1.5
	身体障害	61.1	16.2	3.8	0.8	1.3	1.6	15.1	77.3	2.1
	知的障害	68.0	18.6	4.8	0.0	0.4	2.2	5.9	86.6	0.4
	精神障害	75.4	15.4	1.7	0.4	0.0	2.5	4.6	90.8	0.4
(18) 自分にあったリハビリテーションの機会が身近にある	全体	47.9	22.6	7.8	1.7	2.4	3.3	14.4	70.4	4.1
	身体障害	47.1	21.3	6.7	1.3	3.0	3.0	17.6	68.4	4.3
	知的障害	49.4	23.8	10.4	2.6	0.7	3.0	10.0	73.2	3.3
	精神障害	48.8	25.8	9.2	2.1	2.1	4.6	7.5	74.6	4.2
(19) いろいろな人とコミュニケーションができる	全体	37.3	25.3	14.3	2.9	2.9	3.4	13.9	62.5	5.8
	身体障害	35.1	23.3	14.6	2.5	3.7	3.3	17.4	58.4	6.2
	知的障害	41.3	31.2	13.8	1.9	0.7	3.0	8.2	72.5	2.6
	精神障害	40.4	25.8	13.8	5.4	2.5	4.2	7.9	66.3	7.9
(20) 必要な情報を得やすい	全体	32.0	28.2	14.7	3.1	3.1	4.7	14.3	60.2	6.1
	身体障害	31.2	26.5	13.5	2.9	3.8	4.1	18.0	57.7	6.7
	知的障害	29.0	32.3	19.0	3.7	1.5	5.2	9.3	61.3	5.2
	精神障害	38.3	29.6	14.2	2.9	2.1	6.3	6.7	67.9	5.0

※無効：「(3)相談できるところが身近にある」(全体 0.1,精神障害 0.4)、「(17)費用を心配せずに、必要な医療を受けられる」(全体 0.1, 身体障害 0.1)

問 13. 生活環境等の満足度 × 全体

単位：%

総数=1377



問 13. 生活環境等の満足度 × 障害種類別

	障害種類	満足	どちらかという満足	どちらともいえない	どちらかという不満	不満	わからない	無回答	「満足」と「どちらかという満足」の計	「不満」と「どちらかという不満」の計
(1) 障害があるからといって、学校や職場で仲間はずれにされたり、無視されたりしないこと	全体	19.4	18.8	18.2	5.4	4.6	13.0	20.6	38.2	9.9
	身体障害	20.0	15.9	17.7	3.2	2.0	14.6	26.5	35.9	5.2
	知的障害	20.4	32.0	18.2	7.8	5.2	6.7	9.7	52.4	13.0
	精神障害	15.8	14.6	20.0	10.4	13.3	14.2	11.7	30.4	23.8
(2) 外で困ったとき、周囲の人が手助けしてくれること	全体	13.7	21.4	26.4	7.5	4.4	9.3	17.4	35.1	11.8
	身体障害	15.9	22.7	23.4	5.1	2.5	8.5	21.9	38.6	7.6
	知的障害	8.9	23.4	34.2	10.4	5.6	7.8	9.7	32.3	16.0
	精神障害	11.3	14.2	28.8	12.9	9.6	13.8	9.6	25.4	22.5
(3) 困りごとや悩みを、安心して相談できるところが身近にあること	全体	15.7	21.4	24.4	7.0	7.0	8.6	16.0	37.0	14.0
	身体障害	14.7	19.5	25.2	5.2	5.6	9.3	20.4	34.2	10.8
	知的障害	14.1	29.0	26.0	7.4	5.9	7.8	9.7	43.1	13.4
	精神障害	20.8	19.6	19.6	12.9	13.3	6.7	7.1	40.4	26.3
(4) 身の回りの用事や家事を助けてくれるサービスがいつでも受けられ、もし一人暮らしになっても、不安がないこと	全体	10.8	12.7	27.9	9.2	8.2	13.9	17.2	23.5	17.4
	身体障害	11.4	12.8	27.6	7.8	6.1	13.0	21.2	24.2	13.9
	知的障害	7.1	13.8	30.1	10.4	10.4	18.2	10.0	20.8	20.8
	精神障害	12.9	11.3	26.3	12.9	13.3	12.5	10.8	24.2	26.3
(5) 仕事をしたり、趣味を楽しんだりしながら、同じ障害のある仲間と過ごす場所が身近にあること	全体	9.8	13.8	29.3	8.1	4.9	16.3	17.9	23.6	13.0
	身体障害	7.6	10.7	30.5	6.5	3.2	19.0	22.5	18.3	9.7
	知的障害	14.5	25.7	23.8	9.7	5.9	10.0	10.4	40.1	15.6
	精神障害	12.5	11.7	30.8	12.5	9.6	13.3	9.6	24.2	22.1
(6) 道路や施設が安全で、外に出かけても事故やけがの心配がないこと	全体	10.8	16.9	26.5	12.5	9.9	7.1	16.2	27.7	22.4
	身体障害	9.8	15.7	24.8	12.2	10.6	7.4	19.6	25.5	22.8
	知的障害	7.8	19.3	33.8	13.8	9.3	5.6	10.4	27.1	23.0
	精神障害	17.9	18.8	24.6	12.1	8.3	7.9	10.4	36.7	20.4
(7) 日ごろから災害に備えた情報が行き届き、もし、災害が発生したときでも、安全に避難できること	全体	9.9	12.9	27.4	12.3	9.2	11.8	16.6	22.7	21.5
	身体障害	9.2	12.7	26.0	11.9	9.0	11.1	20.2	21.9	20.9
	知的障害	7.4	12.3	30.9	14.1	10.0	14.9	10.4	19.7	24.2
	精神障害	15.0	14.2	28.3	11.7	9.2	11.3	10.4	29.2	20.8
(8) 人にだまされたり、泥棒にあたりしないこと	全体	13.2	13.4	28.7	7.1	5.8	14.2	17.6	26.6	12.9
	身体障害	13.4	13.5	27.3	6.2	4.1	13.6	21.9	26.8	10.4
	知的障害	9.7	12.6	36.4	7.4	6.3	17.5	10.0	22.3	13.8
	精神障害	16.7	13.8	25.0	10.0	11.3	12.5	10.8	30.4	21.3
(9) 暮らしに困らないだけの収入があること	全体	11.4	16.3	22.5	12.1	16.5	6.5	14.7	27.7	28.5
	身体障害	13.0	17.9	22.8	10.3	13.5	4.4	18.2	30.9	23.7
	知的障害	8.6	14.1	26.4	13.4	14.9	12.3	10.4	22.7	28.3
	精神障害	8.8	13.3	17.1	17.1	29.2	7.5	7.1	22.1	46.3
(10) 安心して暮らし続けられる住まいがあること	全体	25.0	26.1	16.5	6.6	6.5	5.2	14.1	51.1	13.1
	身体障害	26.4	27.6	14.9	5.0	5.0	3.6	17.6	54.0	9.9
	知的障害	23.8	21.9	21.6	6.7	8.2	9.3	8.6	45.7	14.9
	精神障害	21.3	25.4	16.7	12.5	10.4	6.3	7.5	46.7	22.9
(11) 自分の障害にあった学校で学べること	全体	8.6	9.7	19.7	3.6	2.8	25.9	29.7	18.4	6.4
	身体障害	5.5	6.9	19.0	1.6	1.6	28.3	37.0	12.4	3.2
	知的障害	19.0	20.4	19.7	6.7	4.5	13.0	16.7	39.4	11.2
	精神障害	8.3	7.9	22.1	7.5	5.0	31.3	17.9	16.3	12.5
(12) 普通学級の子供たちと一緒に自分にあった教育が受けられること	全体	5.7	7.8	22.6	3.3	2.8	27.9	29.9	13.5	6.1
	身体障害	4.8	5.8	19.9	1.2	1.5	29.7	37.1	10.6	2.6
	知的障害	5.2	14.1	32.0	6.7	5.9	19.0	17.1	19.3	12.6
	精神障害	9.6	7.9	21.7	7.1	4.2	31.3	18.3	17.5	11.3
(13) 高校や大学等で障害に配慮した教育が受けられること	全体	5.0	6.8	21.9	3.0	3.3	30.0	29.9	11.8	6.3
	身体障害	4.8	6.2	19.4	1.4	1.6	29.6	37.0	11.1	3.0
	知的障害	4.1	7.8	30.9	4.5	7.4	28.6	16.7	11.9	11.9
	精神障害	6.7	7.9	21.3	7.1	5.0	32.9	19.2	14.6	12.1
(14) 障害のある人に適した様々な職場があり、自分にあった職場を選ぶこと	全体	7.0	9.8	21.4	6.8	7.6	22.4	25.0	16.8	14.4
	身体障害	6.2	8.5	20.0	4.0	4.7	24.0	32.5	14.7	8.8
	知的障害	8.6	16.0	23.0	11.5	8.9	19.7	12.3	24.5	20.4
	精神障害	7.9	7.5	24.6	11.7	16.3	20.0	12.1	15.4	27.9
(15) 同じ仕事の質であれば、障害のある人も、ない人も同じように評価されること	全体	7.0	9.8	22.1	6.2	6.8	23.2	24.9	16.8	13.0
	身体障害	7.5	9.6	19.2	4.0	4.5	22.8	32.4	17.1	8.5
	知的障害	3.7	13.0	31.2	7.8	6.7	25.3	12.3	16.7	14.5
	精神障害	8.8	7.1	22.1	12.5	15.0	22.5	12.1	15.8	27.5
(16) 仕事に必要な技術や知識を学ぶ場があること	全体	6.5	9.8	23.2	6.2	6.4	22.9	25.0	16.3	12.6
	身体障害	6.8	8.9	20.4	3.6	5.0	23.2	32.3	15.7	8.5
	知的障害	4.5	12.6	30.9	10.4	5.2	23.8	12.6	17.1	15.6
	精神障害	7.9	10.0	25.0	10.8	12.9	20.8	12.5	17.9	23.8
(17) 費用の心配をせずに、必要な医療を受けられること	全体	20.5	19.7	18.8	10.3	9.9	5.9	15.0	40.2	20.2
	身体障害	20.5	19.1	19.0	8.3	8.8	5.5	18.8	39.6	17.1
	知的障害	18.2	23.8	19.7	11.5	8.6	8.2	10.0	42.0	20.1
	精神障害	22.9	17.1	17.1	16.3	15.4	4.6	6.7	40.0	31.7
(18) 自分にあったリハビリテーションの機会が身近にあること	全体	10.9	14.7	23.6	10.7	8.8	13.7	17.7	25.6	19.5
	身体障害	11.8	15.0	22.6	9.0	9.0	11.2	21.5	26.7	18.0
	知的障害	7.8	14.5	26.8	11.9	6.3	20.8	11.9	22.3	18.2
	精神障害	11.3	13.8	23.8	15.4	10.8	14.6	10.4	25.0	26.3
(19) いろいろな人とコミュニケーションができること	全体	10.5	18.3	28.0	9.0	5.7	11.1	17.4	28.8	14.7
	身体障害	11.1	19.1	27.6	5.5	4.3	10.9	21.4	30.2	9.8
	知的障害	6.7	21.2	28.6	16.0	4.5	12.3	10.8	27.9	20.4
	精神障害	12.9	12.1	28.3	13.8	12.5	10.4	10.0	25.0	26.3
(20) まちや建物の案内板やアナウンス、世間のニュースなど、自分に必要な情報を得やすいこと	全体	8.1	15.5	30.2	9.0	5.6	13.7	17.8	23.7	14.6
	身体障害	8.8	16.0	29.1	7.3	5.1	11.8	22.0	24.8	12.3
	知的障害	4.1	13.0	36.8	10.0	4.5	20.1	11.5	17.1	14.5
	精神障害	10.4	16.7	26.7	14.2	8.8	13.8	9.6	27.1	22.9

問 12. 重要度と問 13. 満足度（平均点）および重要度と満足度の差 ×主たる障害別

		全体	視覚障害	聴覚障害・ 平衡機能 の障害	音声・言 語、そ しやく機 能の障害	肢体 不自由	内部障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機 能障害	難病
(1) 学校や職場で無 視等されない	重要度	0.98	0.79	1.23	0.82	0.74	0.57	1.43	1.37	<b>1.69</b>	0.82	0.64
	満足度	0.65	0.89	0.24	0.85	0.81	1.05	0.66	0.14	0.21	0.63	0.17
	差	0.33	-0.10	0.99	-0.02	-0.07	-0.48	0.76	1.23	1.48	0.19	0.47
(2) 困ったとき周囲の 人が手助けしてくれる	重要度	1.13	1.42	1.02	0.86	1.11	0.97	1.40	1.01	1.33	1.46	1.33
	満足度	0.44	0.72	0.39	0.80	0.60	0.77	0.13	0.08	-0.18	0.00	0.21
	差	0.69	0.69	0.63	0.06	0.51	0.20	1.27	0.93	1.51	1.46	1.12
(3) 相談できるところ が身近にある	重要度	1.25	1.28	1.16	1.35	1.12	0.96	<b>1.55</b>	1.46	<b>1.59</b>	<b>1.64</b>	1.44
	満足度	0.42	0.53	0.22	0.50	0.44	0.58	0.42	0.24	0.47	0.17	0.13
	差	0.83	0.74	0.94	0.85	0.68	0.38	1.12	1.22	1.13	1.48	1.31
(4) サービスが受けら れ一人暮らしでも不 安がない	重要度	1.37	1.47	1.19	1.25	1.36	1.25	<b>1.58</b>	1.26	1.27	<b>1.64</b>	<b>1.76</b>
	満足度	0.13	0.37	0.02	0.07	0.14	0.46	-0.15	-0.03	-0.08	-0.10	-0.07
	差	1.24	1.11	1.17	1.18	1.23	0.79	1.72	1.30	1.34	1.74	1.83
(5) 仕事や趣味、仲間 と過ごす場所がある	重要度	0.60	0.54	0.55	0.94	0.50	0.06	1.28	0.58	1.00	1.15	0.06
	満足度	0.24	0.13	0.19	0.14	0.13	0.37	0.44	0.08	0.03	0.33	0.08
	差	0.37	0.41	0.35	0.80	0.38	-0.32	0.84	0.50	0.97	0.82	-0.02
(6) 外に出かけても事 故やけがの心配がない	重要度	1.24	1.32	1.17	1.37	1.32	1.16	1.28	1.03	1.00	<b>1.57</b>	1.39
	満足度	0.08	-0.31	-0.07	0.33	-0.08	0.28	0.06	0.30	-0.09	<b>-0.75</b>	-0.25
	差	1.16	1.64	1.24	1.04	1.41	0.88	1.22	0.73	1.09	2.32	1.64
(7) 災害の情報収集 や災害発生時に安全 に避難できる	重要度	1.44	<b>1.53</b>	<b>1.53</b>	1.06	1.45	1.37	<b>1.51</b>	1.35	1.42	<b>1.57</b>	1.44
	満足度	0.03	-0.25	-0.12	0.44	-0.04	0.22	-0.12	0.16	-0.06	<b>-0.60</b>	-0.25
	差	1.41	1.78	1.65	0.62	1.49	1.16	1.63	1.19	1.48	2.17	1.69
(8) 人にだまされたり、 泥棒にあったりし ない	重要度	1.37	1.43	<b>1.50</b>	1.33	1.22	1.21	<b>1.60</b>	<b>1.51</b>	<b>1.70</b>	<b>1.57</b>	1.22
	満足度	0.31	0.41	0.09	0.64	0.42	0.55	0.14	0.11	0.15	-0.22	0.07
	差	1.06	1.03	1.41	0.69	0.80	0.66	1.46	1.39	1.55	1.79	1.15
(9) 暮らしに困らない だけの収入がある	重要度	<b>1.60</b>	<b>1.61</b>	<b>1.57</b>	<b>1.53</b>	<b>1.61</b>	1.44	<b>1.64</b>	<b>1.76</b>	<b>1.72</b>	<b>1.67</b>	<b>1.76</b>
	満足度	-0.07	0.17	-0.02	0.39	0.08	0.13	-0.23	<b>-0.56</b>	-0.48	-0.23	-0.12
	差	1.68	1.44	1.58	1.14	1.53	1.31	1.87	2.32	2.20	1.90	1.88
(10) 安心して暮らし 続けられる住まいが ある	重要度	<b>1.65</b>	<b>1.63</b>	<b>1.54</b>	<b>1.68</b>	<b>1.65</b>	<b>1.54</b>	<b>1.79</b>	<b>1.73</b>	<b>1.69</b>	<b>1.67</b>	<b>1.61</b>
	満足度	0.70	0.89	0.63	0.84	0.87	0.85	0.59	0.33	0.26	0.00	0.94
	差	0.95	0.74	0.92	0.84	0.78	0.70	1.20	1.39	1.43	1.67	0.67
(11) 自分の障害に あった学校で学べる	重要度	0.70	0.75	1.00	0.18	0.48	0.31	1.22	0.63	1.09	1.27	1.00
	満足度	0.40	0.47	0.27	0.30	0.39	0.40	0.57	0.21	0.37	0.00	0.71
	差	0.29	0.28	0.73	-0.12	0.08	-0.10	0.65	0.43	0.72	1.27	0.29
(12) 普通学級で自分 にあった教育が受け られる	重要度	0.48	0.75	0.85	0.50	0.33	0.31	0.64	0.35	0.91	0.63	0.60
	満足度	0.24	0.22	0.13	0.75	0.33	0.36	0.09	0.25	0.22	-0.20	0.57
	差	0.23	0.53	0.72	-0.25	0.00	-0.05	0.55	0.10	0.69	0.83	0.03
(13) 高校や大学等で 障害に配慮した教育 が受けられる	重要度	0.64	0.88	1.19	0.64	0.42	0.37	0.78	0.69	1.39	0.80	0.67
	満足度	0.18	0.42	0.07	0.56	0.22	0.44	-0.09	0.18	-0.21	0.00	0.71
	差	0.46	0.45	1.12	0.08	0.21	-0.07	0.87	0.52	1.60	0.80	-0.05
(14) 様々な職場があ り選べる	重要度	1.12	1.31	1.35	1.27	0.88	0.79	1.43	1.27	<b>1.93</b>	1.46	1.27
	満足度	0.03	0.05	-0.15	0.45	0.16	0.28	0.03	-0.31	-0.33	-0.33	0.00
	差	1.09	1.26	1.49	0.81	0.72	0.51	1.39	1.58	2.26	1.79	1.27
(15) 障害のある人も ない人も同じように評 価される	重要度	1.12	1.15	1.39	1.19	1.01	0.88	1.14	1.34	1.43	1.25	1.18
	満足度	0.08	-0.14	-0.07	0.64	0.26	0.39	-0.01	-0.31	-0.46	-0.38	0.00
	差	1.04	1.29	1.45	0.55	0.76	0.49	1.15	1.65	1.89	1.63	1.18
(16) 仕事に必要な技 術や知識を学ぶ場が ある	重要度	1.09	1.37	1.36	0.94	0.95	0.83	1.20	1.24	<b>1.57</b>	1.27	1.17
	満足度	0.08	0.13	0.00	0.64	0.13	0.28	-0.04	-0.12	-0.43	-0.25	0.40
	差	1.01	1.24	1.36	0.30	0.82	0.55	1.24	1.36	2.01	1.52	0.77
(17) 費用の心配をせ ずに、必要な医療を 受けられる	重要度	<b>1.66</b>	<b>1.70</b>	1.41	<b>1.61</b>	<b>1.66</b>	<b>1.63</b>	<b>1.65</b>	<b>1.79</b>	<b>1.86</b>	<b>1.57</b>	<b>1.69</b>
	満足度	0.39	0.84	0.19	0.78	0.30	0.75	0.33	0.12	0.29	-0.08	0.13
	差	1.28	0.86	1.22	0.83	1.36	0.88	1.32	1.67	1.57	1.65	1.56
(18) 自分にあたり ハビリテーションの機 会が身近にある	重要度	1.36	1.05	1.20	1.33	<b>1.52</b>	1.26	1.31	1.33	1.14	<b>1.60</b>	<b>1.69</b>
	満足度	0.12	0.17	0.00	0.73	0.05	0.47	-0.05	0.04	-0.38	0.15	-0.40
	差	1.24	0.89	1.20	0.60	1.48	0.79	1.36	1.29	1.53	1.45	2.09
(19) いろいろな人とコ ミュニケーションがで きる	重要度	1.10	1.05	1.37	1.33	1.10	0.90	1.20	1.13	1.03	<b>1.60</b>	1.00
	満足度	0.26	0.29	0.13	0.46	0.35	0.61	0.07	-0.02	0.00	-0.45	-0.17
	差	0.84	0.76	1.24	0.87	0.75	0.29	1.13	1.15	1.03	2.05	1.17
(20) 必要な情報を得 やすい	重要度	1.03	1.17	1.28	1.12	1.00	0.85	0.97	1.15	1.22	1.40	1.13
	満足度	0.17	-0.07	-0.19	0.93	0.23	0.43	0.05	0.07	-0.18	-0.36	-0.29
	差	0.86	1.24	1.47	0.19	0.77	0.42	0.92	1.08	1.40	1.76	1.42

※重要度の 1.5 以上と満足度の -0.5 以下は太字、差の 1.5 以上は網掛け

問 12. 重要度と問 13. 満足度（平均点）および重要度と満足度の差 ×地域別

		北部	西部	東部	南部
(1) 学校や職場で無視等されない	重要度	0.93	0.88	1.05	1.07
	満足度	0.69	0.63	0.59	0.64
	差	0.24	0.24	0.45	0.43
(2) 困ったとき周囲の人が手助けしてくれる	重要度	1.14	0.97	1.21	1.23
	満足度	0.51	0.46	0.37	0.42
	差	0.63	0.51	0.84	0.81
(3) 相談できるところが身近にある	重要度	1.26	1.19	1.20	1.35
	満足度	0.44	0.44	0.38	0.40
	差	0.82	0.74	0.81	0.95
(4) サービスが受けられ一人暮らしでも不安がない	重要度	1.34	1.28	1.41	1.45
	満足度	0.10	0.20	0.06	0.12
	差	1.24	1.08	1.35	1.33
(5) 仕事や趣味、仲間と過ごす場所がある	重要度	0.57	0.56	0.59	0.68
	満足度	0.14	0.28	0.15	0.38
	差	0.43	0.28	0.44	0.30
(6) 外に出かけても事故やけがの心配がない	重要度	1.28	1.15	1.39	1.15
	満足度	0.01	0.21	-0.11	0.20
	差	1.27	0.95	1.50	0.95
(7) 災害の情報収集や災害発生時に安全に避難できる	重要度	1.46	1.38	1.49	1.42
	満足度	0.05	0.06	-0.18	0.16
	差	1.41	1.32	1.67	1.26
(8) 人にだまされたり、泥棒にあたりしない	重要度	1.36	1.36	1.37	1.38
	満足度	0.33	0.31	0.19	0.42
	差	1.03	1.05	1.18	0.96
(9) 暮らしに困らないだけの収入がある	重要度	<b>1.59</b>	<b>1.60</b>	<b>1.57</b>	<b>1.64</b>
	満足度	-0.17	-0.01	-0.04	-0.08
	差	1.76	1.61	1.61	1.72
(10) 安心して暮らし続けられる住まいがある	重要度	<b>1.62</b>	<b>1.63</b>	<b>1.66</b>	<b>1.69</b>
	満足度	0.74	0.65	0.71	0.68
	差	0.89	0.98	0.95	1.02
(11) 自分の障害にあった学校で学べる	重要度	0.71	0.63	0.72	0.72
	満足度	0.39	0.37	0.41	0.44
	差	0.33	0.26	0.31	0.28
(12) 普通学級で自分にあった教育が受けられる	重要度	0.53	0.36	0.51	0.51
	満足度	0.32	0.16	0.25	0.26
	差	0.21	0.20	0.26	0.24
(13) 高校や大学等で障害に配慮した教育が受けられる	重要度	0.68	0.55	0.66	0.67
	満足度	0.19	0.15	0.14	0.25
	差	0.49	0.40	0.51	0.42
(14) 様々な職場があり選べる	重要度	1.09	1.04	1.22	1.14
	満足度	0.02	0.04	0.01	0.07
	差	1.07	1.00	1.21	1.07
(15) 障害のある人もない人も同じように評価される	重要度	1.10	1.07	1.13	1.15
	満足度	0.06	0.04	0.08	0.14
	差	1.05	1.03	1.05	1.01
(16) 仕事に必要な技術や知識を学ぶ場がある	重要度	1.03	1.02	1.18	1.12
	満足度	0.01	0.10	0.02	0.17
	差	1.02	0.91	1.16	0.95
(17) 費用の心配をせずに、必要な医療を受けられる	重要度	<b>1.69</b>	<b>1.63</b>	<b>1.69</b>	<b>1.64</b>
	満足度	0.46	0.35	0.33	0.43
	差	1.23	1.28	1.36	1.21
(18) 自分にあったリハビリテーションの機会が身近にある	重要度	1.36	1.32	1.43	1.32
	満足度	0.15	0.13	0.04	0.14
	差	1.21	1.18	1.39	1.18
(19) いろいろな人とコミュニケーションができる	重要度	1.09	1.14	1.10	1.06
	満足度	0.30	0.29	0.21	0.24
	差	0.78	0.85	0.89	0.82
(20) 必要な情報を得やすい	重要度	0.93	1.02	1.07	1.07
	満足度	0.21	0.18	0.08	0.22
	差	0.72	0.84	0.98	0.85

※重要度の 1.5 以上と満足度の -0.5 以下は太字、差の 1.5 以上は網掛け

問 12. 重要度と問 13. 満足度（平均点）および重要度と満足度の差 ×年齢別

		0～5	6～11	12～14	15～17	18～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～74	75以上
(1) 学校や職場で無視等されない	重要度	<b>1.80</b>	1.46	<b>1.85</b>	<b>1.57</b>	<b>1.67</b>	1.40	1.45	1.37	1.03	0.81	0.60	0.60
	満足度	1.27	0.86	0.63	0.97	1.40	0.33	0.22	0.31	0.63	0.76	0.82	0.83
	差	0.53	0.61	1.22	0.61	0.27	1.07	1.23	1.06	0.41	0.05	-0.22	-0.23
(2) 困ったとき周囲の人が手助けしてくれる	重要度	1.40	<b>1.50</b>	0.85	1.38	<b>1.57</b>	1.26	1.12	1.28	1.11	1.01	0.97	1.15
	満足度	0.31	0.23	-0.07	0.10	0.50	0.10	0.03	0.12	0.40	0.48	0.70	0.80
	差	1.09	1.27	0.91	1.28	1.07	1.16	1.09	1.16	0.71	0.53	0.27	0.35
(3) 相談できるところが身近にある	重要度	<b>1.50</b>	<b>1.53</b>	1.42	<b>1.69</b>	<b>1.57</b>	1.44	1.41	1.39	1.37	1.22	0.99	1.15
	満足度	0.75	0.40	0.25	0.28	0.44	0.40	0.22	0.12	0.36	0.42	0.47	0.66
	差	0.75	1.13	1.17	1.41	1.13	1.05	1.19	1.27	1.00	0.80	0.51	0.49
(4) サービスが受けられ一人暮らしでも不安がない	重要度	<b>1.71</b>	<b>1.57</b>	1.23	<b>1.52</b>	<b>1.57</b>	1.28	1.32	1.29	1.41	1.34	1.36	1.38
	満足度	-0.08	-0.26	-0.38	<b>-0.50</b>	-0.25	-0.21	0.07	-0.09	0.00	0.18	0.34	0.40
	差	1.80	1.83	1.62	2.02	1.82	1.49	1.25	1.39	1.41	1.17	1.03	0.98
(5) 仕事や趣味、仲間と過ごす場所がある	重要度	1.25	1.13	1.00	1.33	<b>1.71</b>	1.06	0.66	0.72	0.60	0.33	0.33	0.52
	満足度	0.69	0.15	0.27	0.21	0.78	0.31	0.30	0.08	0.16	0.20	0.19	0.34
	差	0.56	0.98	0.73	1.12	0.94	0.76	0.36	0.64	0.44	0.13	0.15	0.19
(6) 外に出かけても事故やけがの心配がない	重要度	<b>1.63</b>	<b>1.57</b>	1.23	<b>1.59</b>	0.86	1.02	1.04	1.08	1.38	1.20	1.24	1.29
	満足度	-0.44	<b>-0.70</b>	-0.07	-0.21	0.00	0.25	0.18	0.18	-0.05	0.16	0.12	0.14
	差	2.06	2.27	1.30	1.79	0.86	0.76	0.86	0.91	1.43	1.04	1.11	1.15
(7) 災害の情報収集や災害発生時に安全に避難できる	重要度	1.44	1.40	<i>1.37</i>	<b>1.66</b>	1.43	1.40	1.42	1.50	1.44	1.25	1.46	1.44
	満足度	<b>-0.58</b>	-0.46	-0.38	-0.41	-0.25	-0.09	0.14	0.03	-0.04	0.09	0.12	0.14
	差	2.02	1.86	1.69	2.06	1.68	1.49	1.28	1.47	1.49	1.17	1.35	1.30
(8) 人にだまされたり、泥棒にあたりしない	重要度	<b>1.69</b>	<b>1.63</b>	1.29	1.41	<b>1.71</b>	1.45	<b>1.61</b>	1.44	1.46	1.07	1.29	1.29
	満足度	0.45	-0.23	-0.07	-0.04	0.67	-0.10	0.11	0.24	0.23	0.47	0.52	0.47
	差	1.23	1.86	1.36	1.46	1.05	1.54	1.50	1.20	1.23	0.60	0.77	0.82
(9) 暮らしに困らないだけの収入がある	重要度	<b>1.75</b>	1.44	<b>1.64</b>	<b>1.63</b>	<b>1.88</b>	<b>1.72</b>	<b>1.76</b>	<b>1.73</b>	<b>1.71</b>	<b>1.68</b>	1.48	1.49
	満足度	0.36	-0.05	-0.42	-0.14	<b>-0.89</b>	<b>-0.51</b>	-0.34	-0.35	-0.30	0.13	0.01	0.29
	差	1.39	1.48	2.06	1.77	2.76	2.24	2.09	2.08	2.01	1.55	1.47	1.20
(10) 安心して暮らし続けられる住まいがある	重要度	<b>1.88</b>	<b>1.71</b>	<b>1.85</b>	<b>1.84</b>	<b>2.00</b>	<b>1.79</b>	<b>1.86</b>	<b>1.73</b>	<b>1.76</b>	<b>1.65</b>	<b>1.54</b>	<b>1.51</b>
	満足度	0.77	0.36	0.64	0.32	0.22	0.28	0.46	0.45	0.60	0.89	0.86	0.94
	差	1.11	1.35	1.20	1.52	1.78	1.51	1.40	1.28	1.16	0.76	0.68	0.58
(11) 自分の障害にあった学校で学べる	重要度	<b>1.77</b>	1.45	<b>1.80</b>	<b>1.59</b>	1.40	1.06	1.01	0.70	0.45	0.34	0.47	0.47
	満足度	0.82	0.78	0.63	1.10	1.00	0.41	0.12	0.11	0.18	0.36	0.50	0.41
	差	0.95	0.67	1.18	0.49	0.40	0.65	0.89	0.60	0.27	-0.02	-0.03	0.06
(12) 普通学級で自分にあった教育が受けられる	重要度	0.73	1.05	0.83	0.15	0.25	<b>0.80</b>	0.61	0.46	0.43	0.44	0.32	0.43
	満足度	0.00	0.58	-0.31	0.36	0.25	0.14	0.13	0.03	0.21	0.33	0.47	0.33
	差	0.73	0.46	1.15	-0.21	0.00	0.66	0.49	0.44	0.22	0.11	-0.15	0.10
(13) 高校や大学等で障害に配慮した教育が受けられる	重要度	1.18	1.22	1.17	1.00	<b>2.00</b>	0.81	0.90	0.61	0.47	0.62	0.49	0.48
	満足度	0.00	-0.43	-0.31	0.04	1.00	0.02	0.03	-0.05	0.17	0.44	0.43	0.39
	差	1.18	1.65	1.47	0.96	1.00	0.79	0.87	0.67	0.30	0.18	0.06	0.09
(14) 様々な職場があり選べる	重要度	1.33	<b>1.67</b>	<b>1.82</b>	<b>1.63</b>	<b>2.00</b>	1.32	<b>1.50</b>	1.44	1.22	1.09	0.83	0.72
	満足度	0.00	-0.39	<b>-0.64</b>	-0.42	0.56	-0.09	-0.10	-0.18	0.00	0.31	0.27	0.25
	差	1.33	2.06	2.45	2.05	1.44	1.40	1.60	1.62	1.22	0.78	0.56	0.47
(15) 障害のある人もない人も同じように評価される	重要度	0.85	1.39	<b>1.60</b>	1.07	1.20	1.22	<b>1.54</b>	1.38	1.36	1.20	0.88	0.77
	満足度	0.00	0.06	-0.40	-0.25	-0.13	-0.24	-0.10	-0.09	0.03	0.38	0.38	0.21
	差	0.85	1.33	2.00	1.32	1.33	1.46	1.64	1.47	1.33	0.82	0.50	0.56
(16) 仕事に必要な技術や知識を学ぶ場がある	重要度	0.92	<b>1.54</b>	1.45	1.08	<b>1.60</b>	1.28	1.41	1.38	1.18	1.13	0.86	0.78
	満足度	0.00	-0.12	-0.20	-0.36	0.40	-0.24	-0.01	-0.08	0.04	0.34	0.33	0.21
	差	0.92	1.65	1.65	1.44	1.20	1.52	1.42	1.46	1.14	0.78	0.54	0.57
(17) 費用の心配をせずに、必要な医療を受けられる	重要度	<b>1.53</b>	<b>1.74</b>	<b>1.69</b>	<b>1.52</b>	<b>1.80</b>	<b>1.60</b>	<b>1.75</b>	<b>1.73</b>	<b>1.70</b>	<b>1.68</b>	<b>1.66</b>	<b>1.60</b>
	満足度	0.64	0.58	-0.36	-0.25	0.00	0.07	0.30	0.24	0.37	0.49	0.44	0.61
	差	0.89	1.16	2.04	1.77	1.80	1.53	1.46	1.48	1.33	1.19	1.22	0.99
(18) 自分にあたりハビリテーションの機会が身近にある	重要度	1.41	1.37	1.44	1.41	1.33	1.25	1.41	1.29	1.35	1.37	1.39	1.35
	満足度	0.17	0.11	<b>-0.71</b>	-0.39	-0.43	-0.14	0.11	-0.04	-0.02	0.12	0.16	0.43
	差	1.25	1.26	2.15	1.80	1.76	1.39	1.29	1.33	1.37	1.25	1.23	0.92
(19) いろいろな人とコミュニケーションができる	重要度	<b>1.65</b>	1.26	1.25	1.23	1.22	1.09	1.19	1.13	1.14	0.93	0.92	1.15
	満足度	0.31	0.24	-0.13	0.00	0.33	-0.06	0.04	0.09	0.14	0.40	0.40	0.52
	差	1.34	1.02	1.38	1.23	0.89	1.15	1.15	1.04	1.00	0.54	0.52	0.63
(20) 必要な情報を得やすい	重要度	1.06	0.74	1.13	1.10	1.00	0.97	1.10	1.08	1.02	1.03	0.91	1.10
	満足度	-0.27	-0.29	-0.40	-0.20	0.63	0.06	0.23	-0.07	0.03	0.35	0.35	0.33
	差	1.33	1.03	1.53	1.30	0.38	0.91	0.87	1.15	0.98	0.69	0.56	0.78

※重要度の 1.5 以上と満足度の -0.5 以下は太字、差の 1.5 以上は網掛け

## 4 暮らしの場や家計について

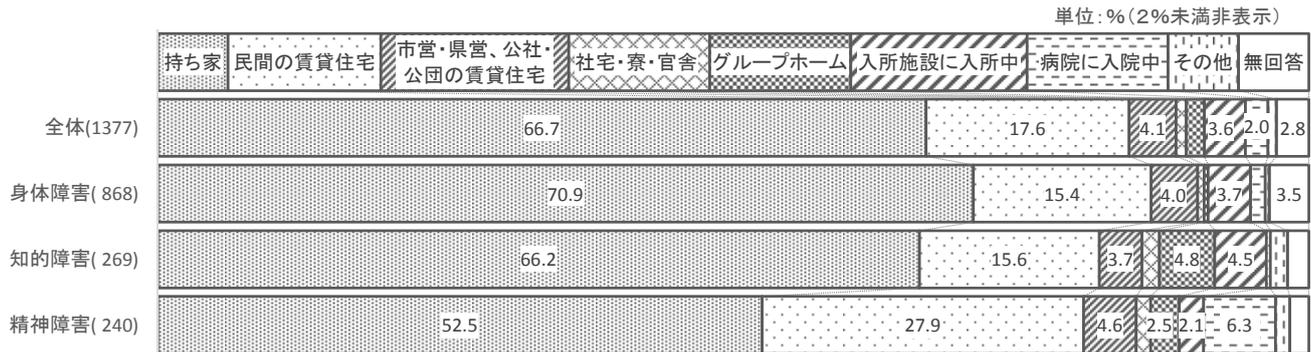
### (1) 暮らしている場所

#### ① 暮らしている場所

○全体では「持ち家」が約 67%で最も多く、「民間の賃貸住宅」が約 18%で続いている。

○「持ち家」は、身体障害・知的障害で 70%前後と多く、精神障害で約 53%と少ない。一方、精神障害は、「民間の賃貸住宅」(約 28%)、「病院に入院中」(約 6%)が、知的障害では「グループホーム」(約 5%)が、全体より多い。

問 14. 暮らしている場所 × 障害種類別

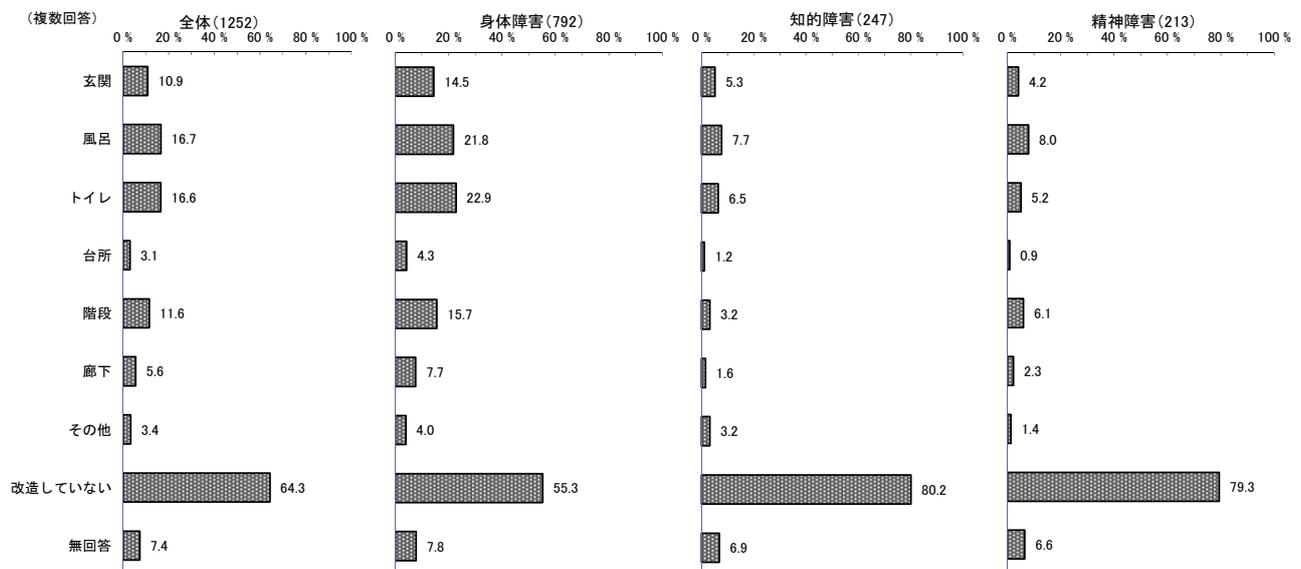


※2%未満数値：全体 (0.9、1.6、0.7) 身体障害 (0.6、0.3、1.3、0.3) 知的障害 (1.5、0.4、1.5、1.9) 精神障害 (1.3、1.3、1.7)

#### ② 住まいの改造をしたところ

○施設や病院に入所・入院している人以外で、住まいの改造をしたところについては、全体の 3 割弱が何らかの改造を行っており(「改造していない」「無回答」以外の人)、「トイレ」「風呂」「階段」などの改造が比較的多い。

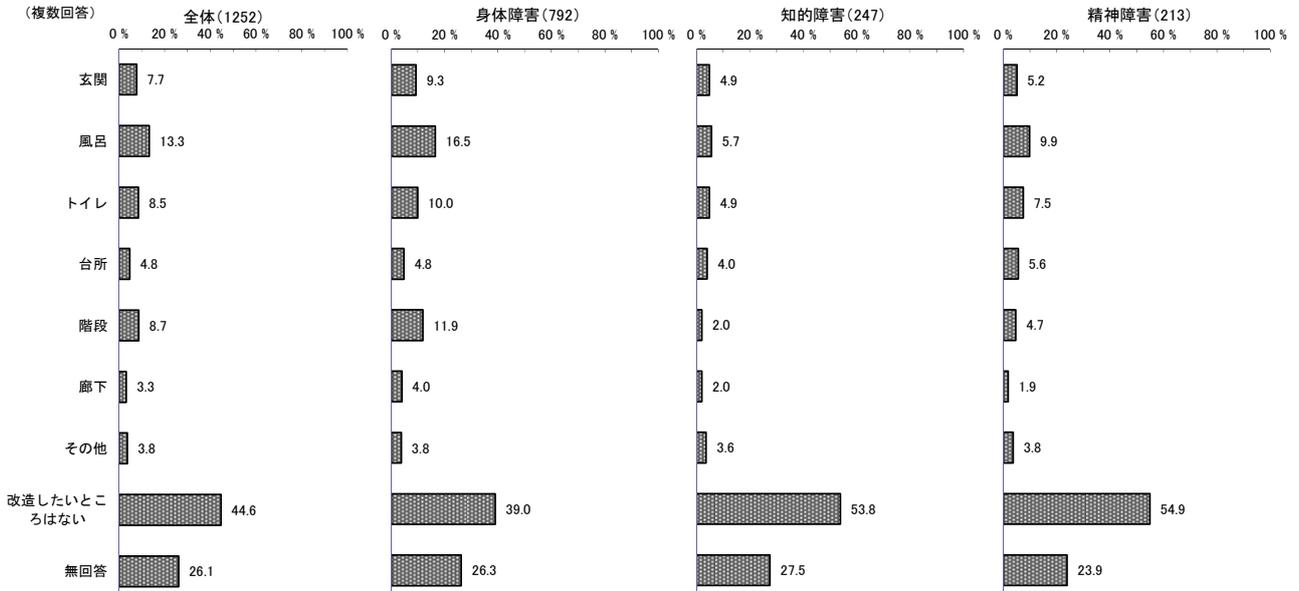
付問 14-1. 住まいの改造をしたところ × 障害種類別



③ これから住まいの改造をしたいところ

○前設問と同様、施設や病院に入所・入院している人以外で、今後、住まいの改造をしたいところを聞いたところ、全体の3割程度の人何らかの改造意向をもっている（「改造したいところはない」「無回答」以外の人）。前設問では「風呂」と「トイレ」は同程度の割合だが、改造意向は「風呂」が強いことから、改造需要が「トイレ」から「風呂」に移行していることがうかがえる。

付問 14-2. これから住まいの改造をしたいところ × 障害種類別

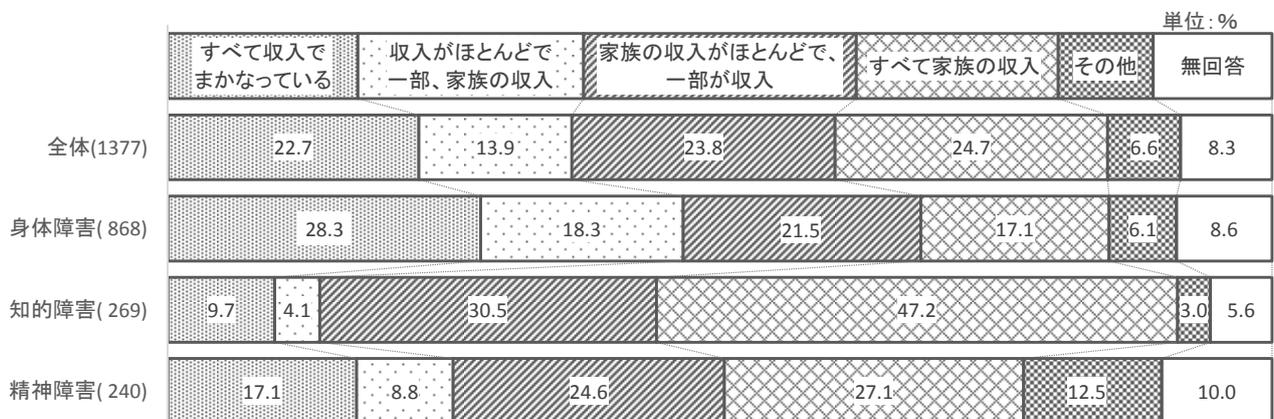


(2) 生活費

○生活費については、「すべて家族の収入」「家族の収入がほとんどで、一部が（本人の）収入」「すべて（本人の）収入でまかなっている」が同程度の割合で比較的多い。

○障害別では、身体障害について本人の収入が主である割合が半数程度と3障害の中で最も多く、反対に知的障害については、家族の収入が主である割合が8割近くを占める。精神障害についても、家族の収入が主である割合が比較的大きい。

問 15. 生活費 × 障害種類別

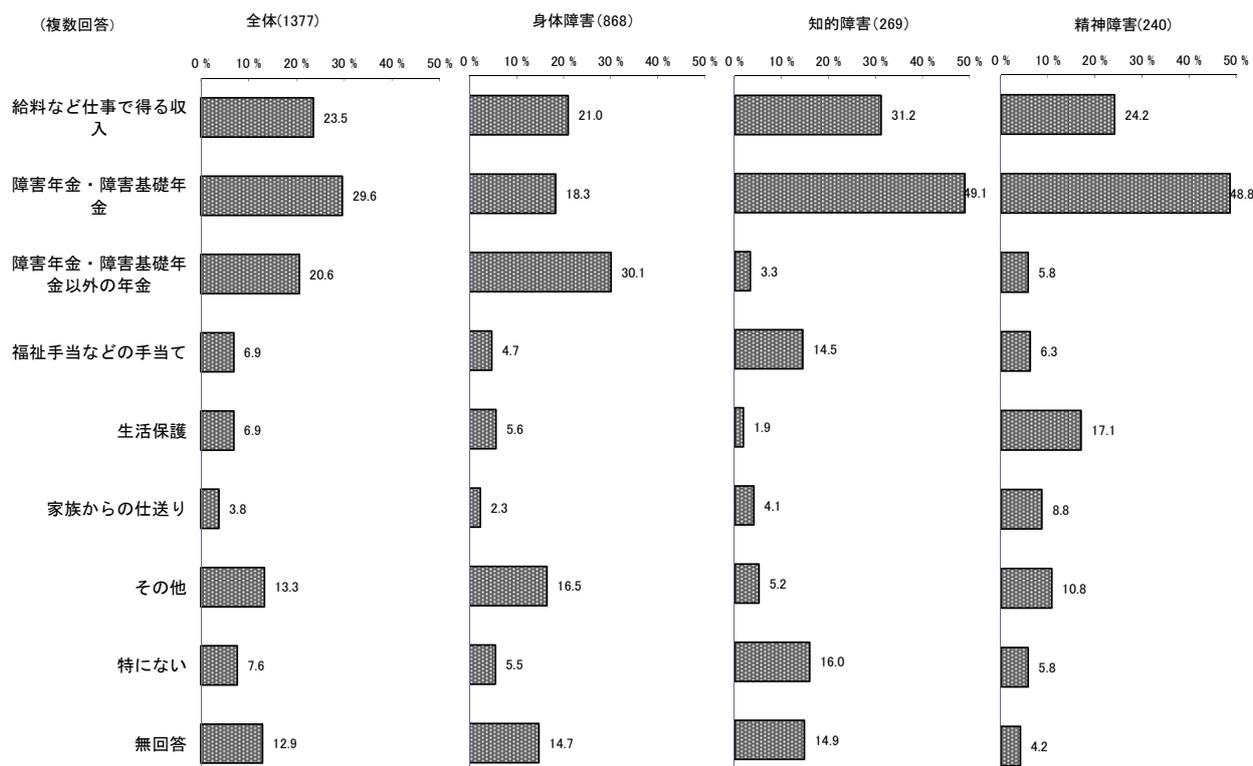


### (3) 収入源

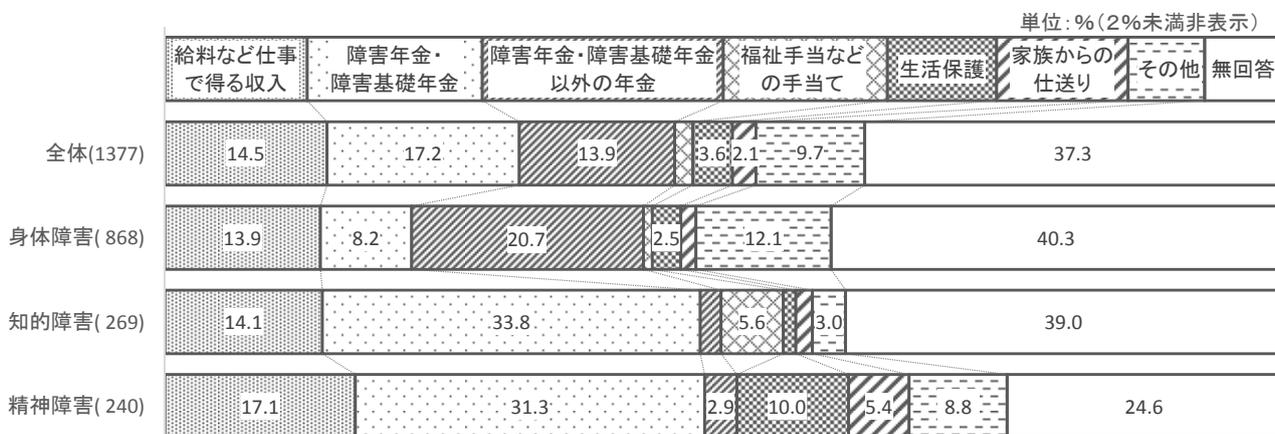
○障害者本人の収入源については、全体では「障害年金・障害基礎年金」「給料など仕事で得る収入」「障害年金・障害基礎年金以外の年金」が多くなっており、最も金額が大きいものについても同様の傾向が見られる。

○障害別では、身体障害については、高齢者が多いため「障害年金・障害基礎年金以外の年金」が他の障害より 25 ポイント程度高く、知的障害と精神障害は、「障害年金・障害基礎年金」が半数を占めている。また、精神障害は「生活保護」を受けている世帯も約 17%あり、経済的に厳しい状況にあることがうかがえる。

問 16. ①収入源 × 障害種類別



問 16. ②収入源（最も金額が大きいもの） × 障害種類別



※2%未満数値：全体（1.6）身体障害（0.8、1.4）知的障害（1.9、1.1、1.5）精神障害（-）

## 5 介助について

### (1) 日常生活の状況（自立度）

○食事、トイレ、入浴、着替え、家の中の移動など、自身の生活行動をはじめ、炊事・洗濯・掃除などの家事、日用品の買い物、お金の管理、コミュニケーションといった日常生活行動の自立状況については、身体障害では、家事・買い物については、4割台と低くなっているが、他項目に関しては、6割以上と高い割合で自立している。

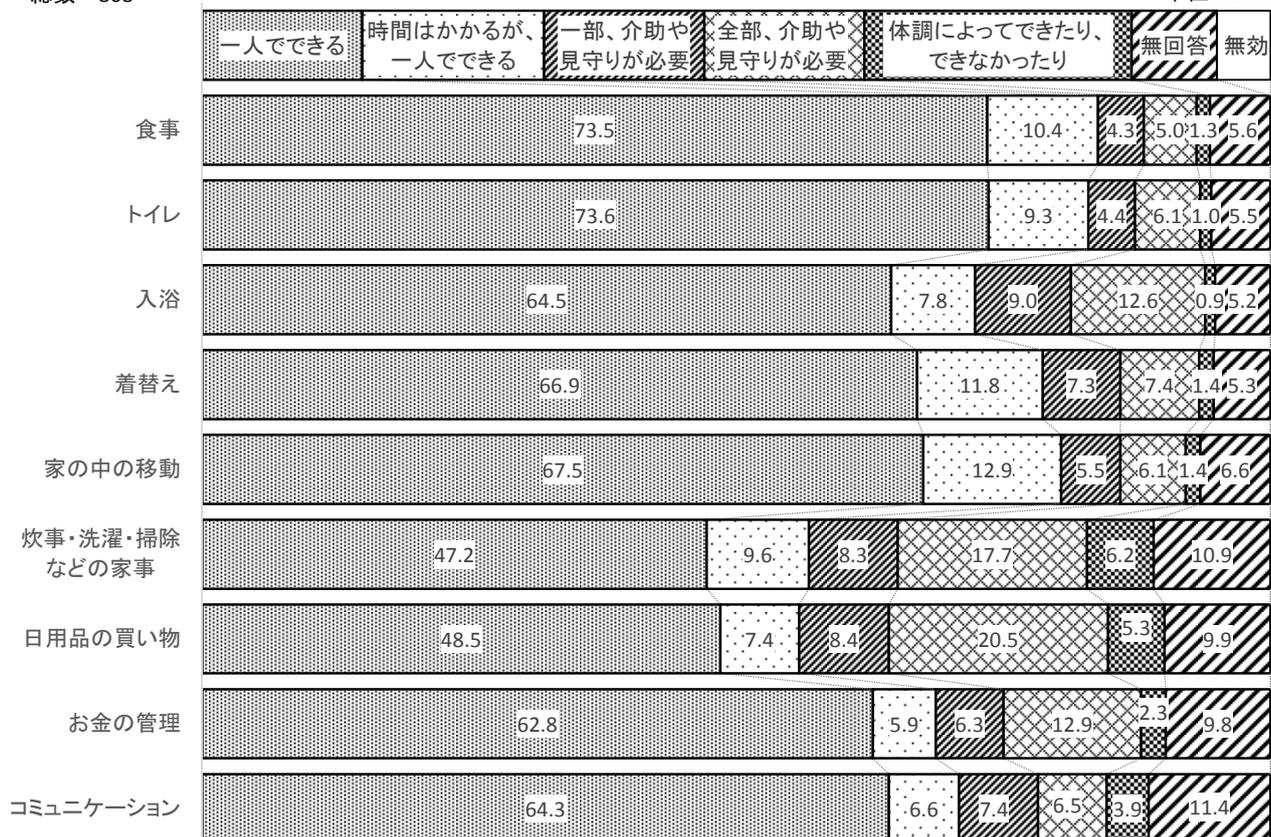
○知的障害では、家の中の移動で8割近い高い自立状況を示すものの、そのほかの自身の生活行動は5割前後でとどまっている。また、家事や買い物等、社会的な関係をもって行動する事項については低い自立状況となっており、「全部、介助や見守りが必要」など介助の度合いの高い人が多い。

○精神障害については、自身の生活のための行動は7割以上と高い割合で自立しているが、他の家事及び社会的行動は3~4割台にとどまっている。また、「体調によってできたり、できなかったり」する割合が他の障害より高い。

#### 問 17. 日常生活の状況（身体障害）

総数=868

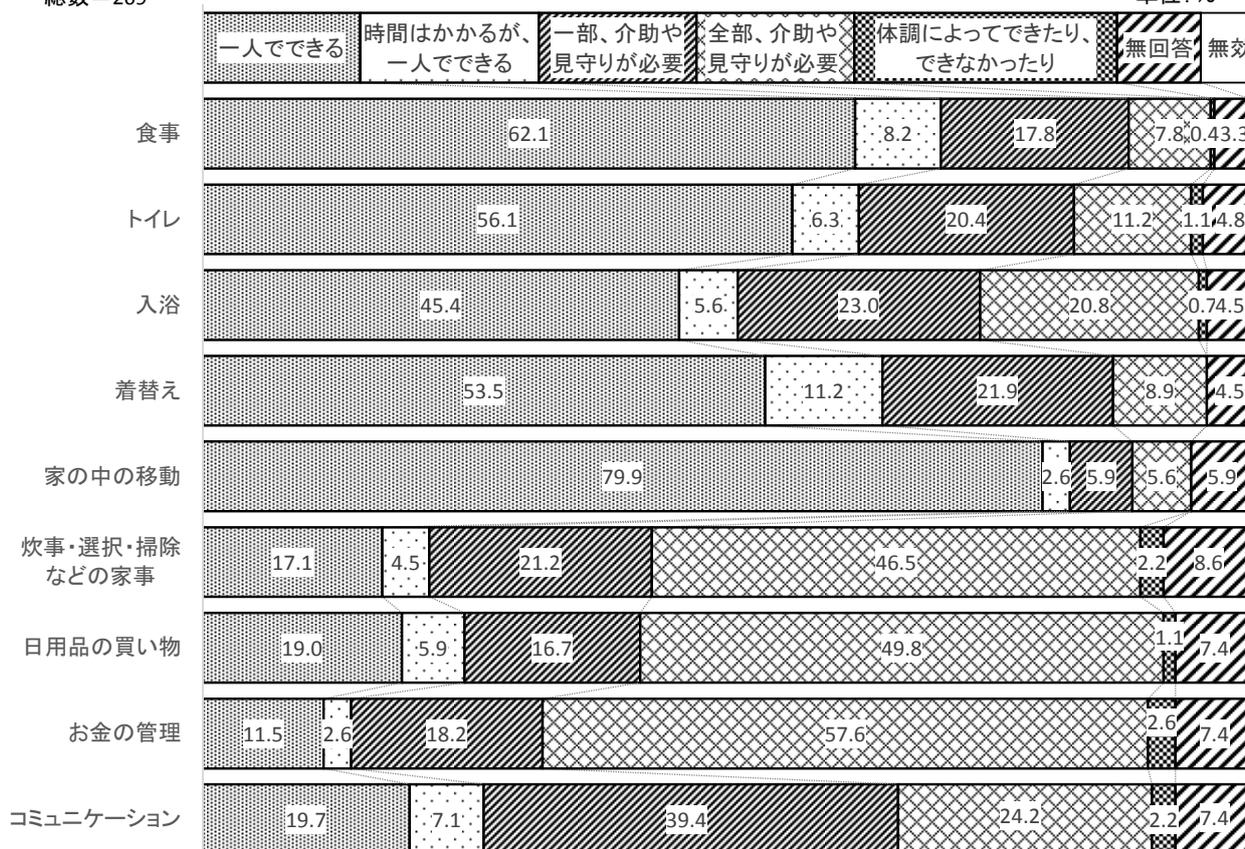
単位：%



問 17. 日常生活の状況（知的障害）

総数=269

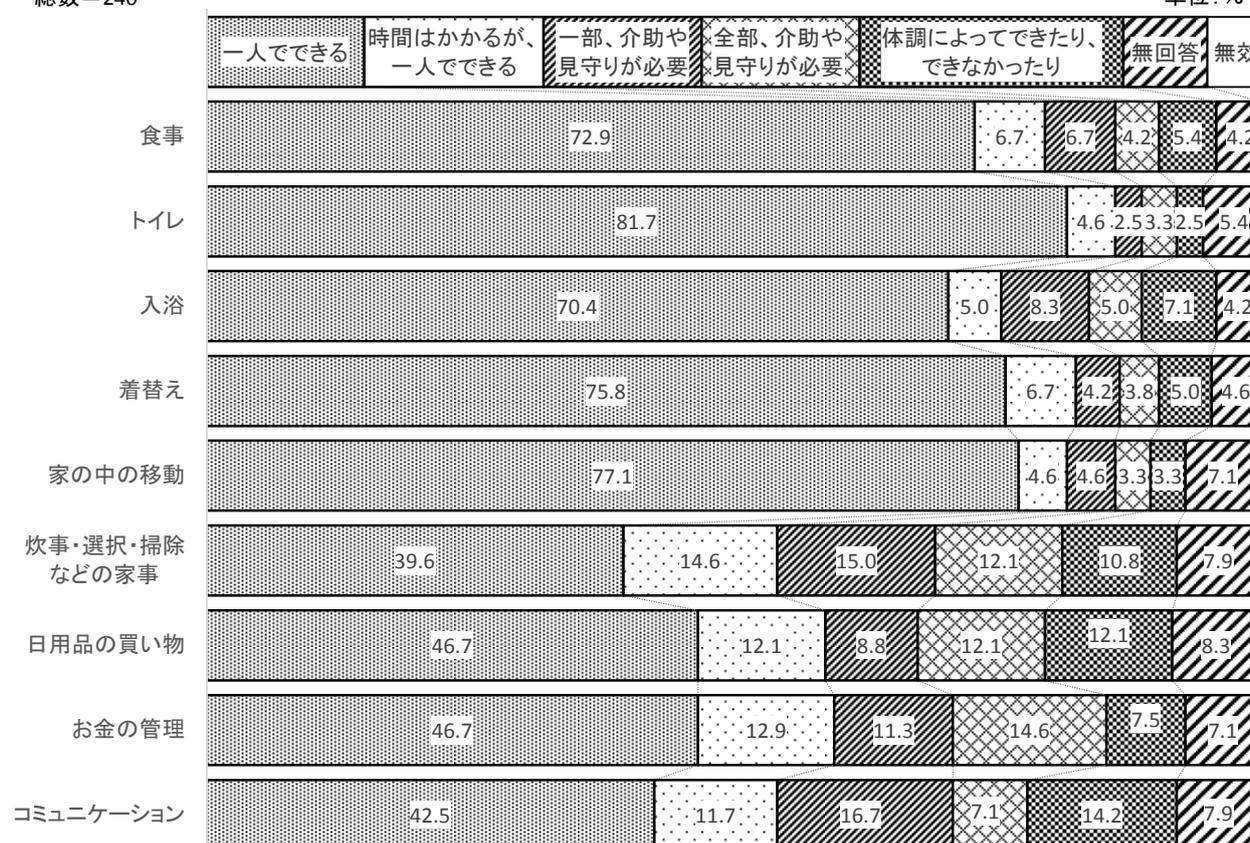
単位:%



問 17. 日常生活の状況（精神障害）

総数=240

単位:%

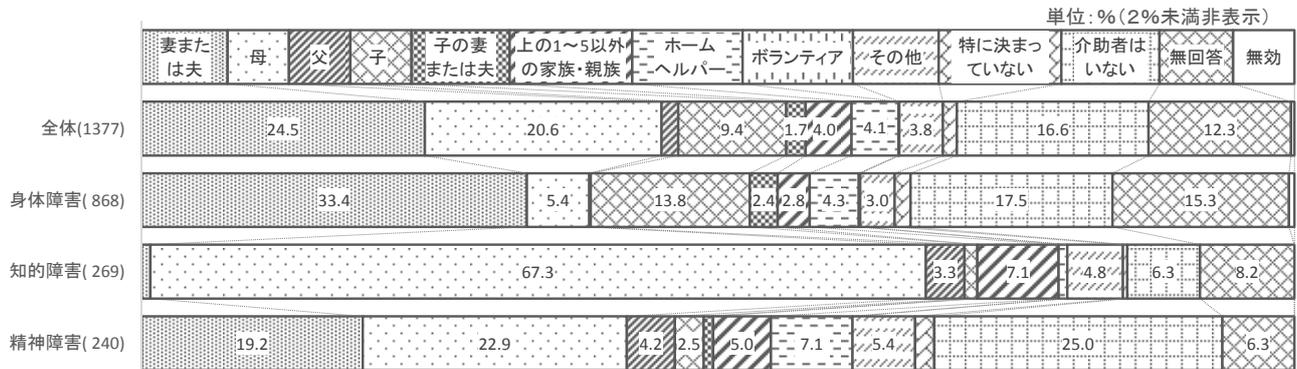


## (2) 主な介助者について

### ① 主な介助者

○主な介助者については、身体障害では配偶者が約33%と最も高く、知的障害では「母」が7割弱と大半を占めている。また、精神障害においては配偶者及び両親を抜いて「介助者はいない」が25%と最も高く、知的障害は約6%と低い。

問 18. 主な介助者 × 障害種類別



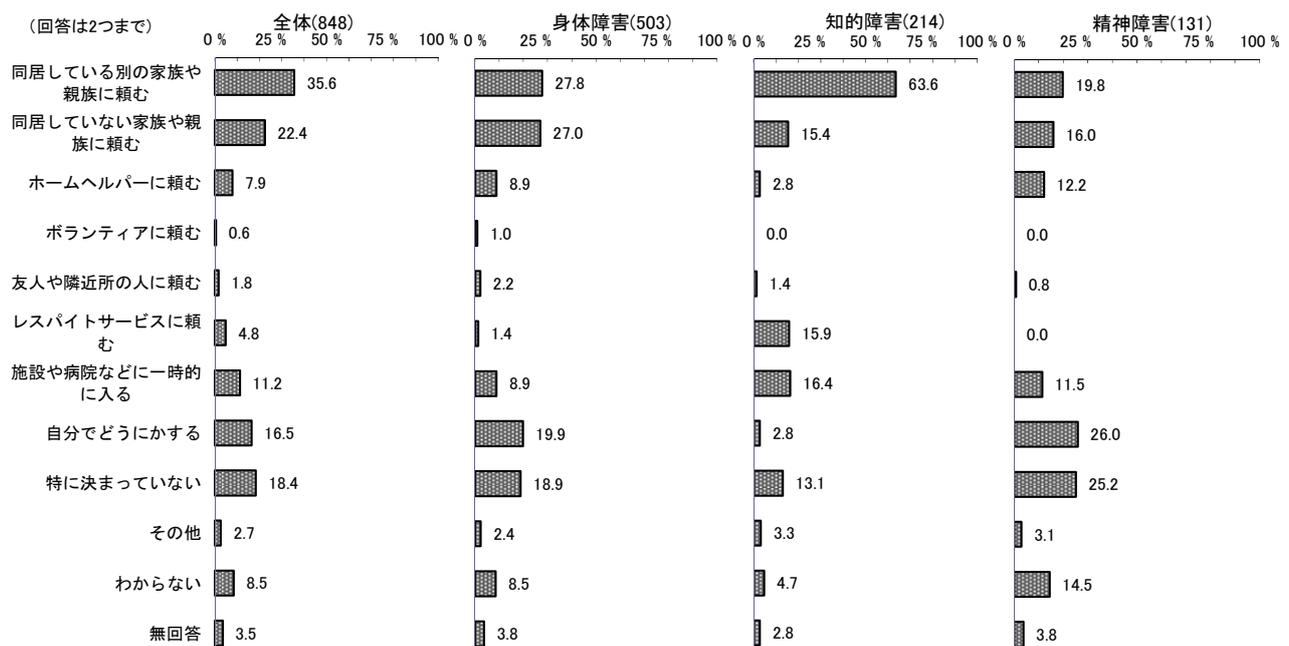
※2%未満数値: 全体 (1.5, 1.7, 0.1, 1.2, 0.3) 身体障害 (0.1, 0.1, 1.4, 0.5) 知的障害 (0.7, 1.1, -, 0.7, -, 0.4, -) 精神障害 (0.8, -, 1.7, -)

### ② 主な介助者が一時的に介助できない場合

○主な介助者が病気や用事等で一時的に介助できない場合は、「同居している別の家族や親族に頼む」割合が高いが、「同居していない家族や親族に頼む」割合も比較的高い。

○障害別では、身体障害と精神障害では「自分でどうにかする」が2割程度だが、知的障害はわずかであり、施設等の短期入所やレスパイトサービスを利用する割合が高い。

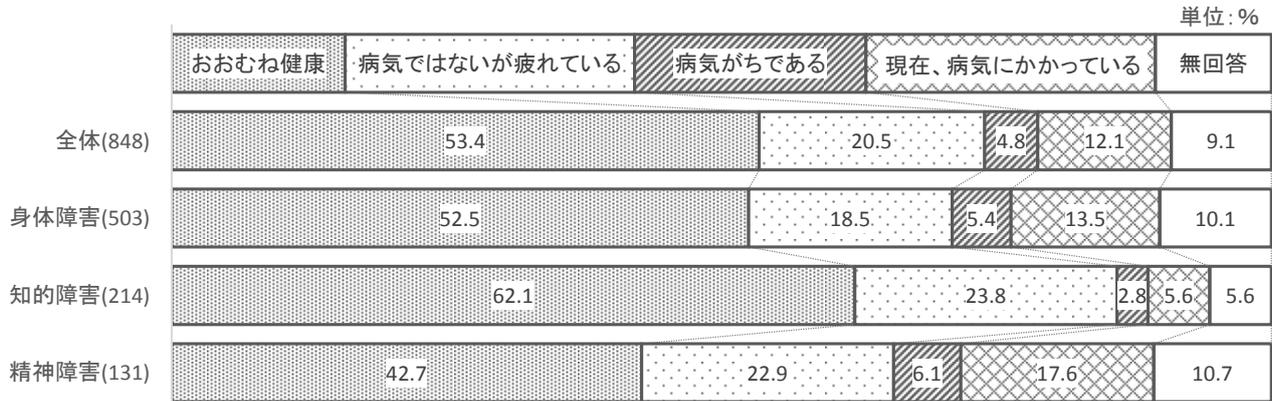
問 18-1. 主な介助者が一時的に介助できない場合 × 障害種類別



### ③ 主な介助者の健康状態

- 介助者自身の健康状態については、「おおむね健康」は半数程度であり、「病気ではないが疲れている」人が2割程度、「病気にかかっている」の人が1割を超えている。
- 障害別では、精神障害の介助者について、健康な人は5割を切っており、疲れている人と病気の人がそれぞれ2割以上と比較的厳しい状況である。

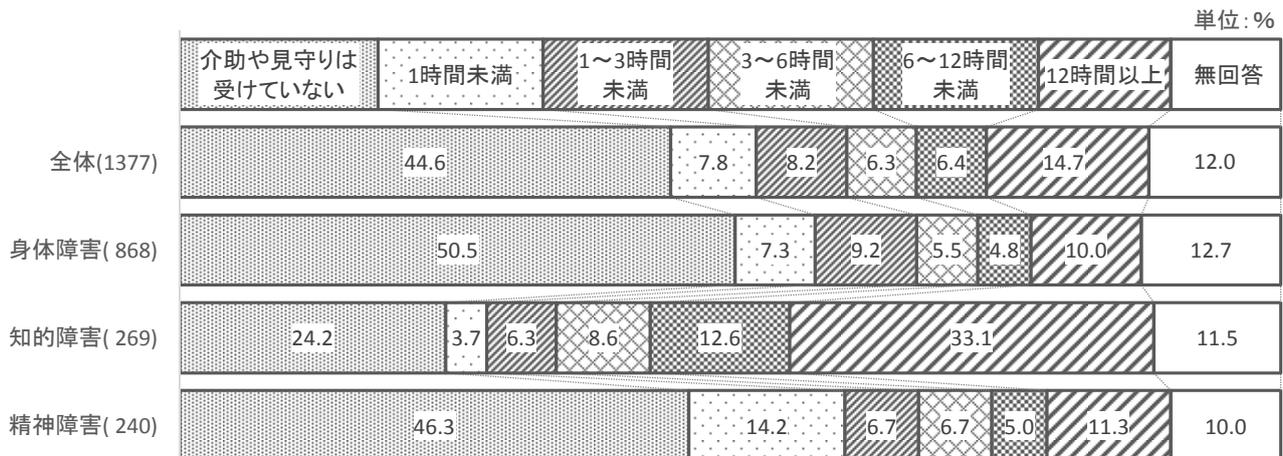
問 18-2. 主な介助者の健康状態 × 障害種類別



### ④ 介助や見守りを受けている時間

- 介助や見守りを受けている一日あたりの時間は、全体では「介助や見守りは受けていない」が約45%と最も多く、ついで「12時間以上」が約15%と多い。
- 障害別では、身体障害と精神障害は「介助や見守りは受けていない」と「1時間未満」を合わせると、6割程度と比較的高い。一方、知的障害が「介助や見守りを受けていない」人が約24%にとどまり、逆に「12時間以上」が約33%と高く、6時間以上の割合が約45%と高くなっている。

問 19. 介助や見守りを受けている時間 × 障害種類別



## 6 外出について

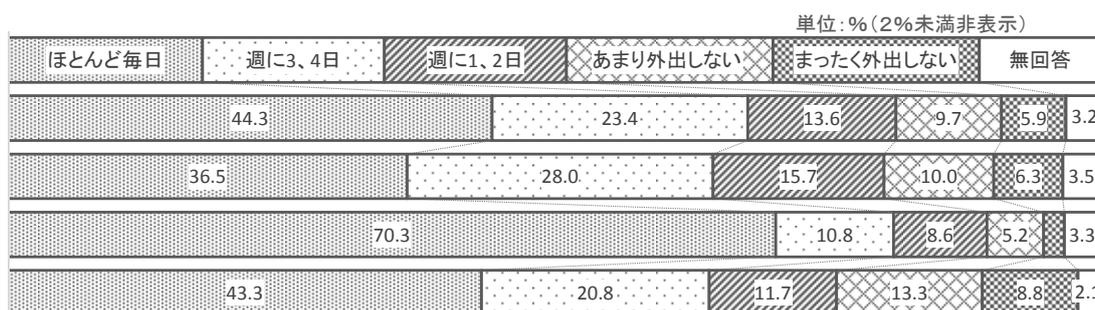
### (1) 1週間での外出日数

#### ① 外出の頻度

○1週間のうち外出する日数は、全体では4割以上が「ほとんど毎日」外出しており、「週に3、4日」外出する人も2割以上いる。「まったく外出しない」人は6%弱と少ない。

○障害別では、知的障害で外出頻度が特に高く「ほとんど毎日」が7割を超えている。また、精神障害で「あまり外出しない」「まったく外出しない」を合わせると20%を超えており、比較的高くなっている。

問 20. 外出の頻度（1週間での外出日数） × 障害種類別



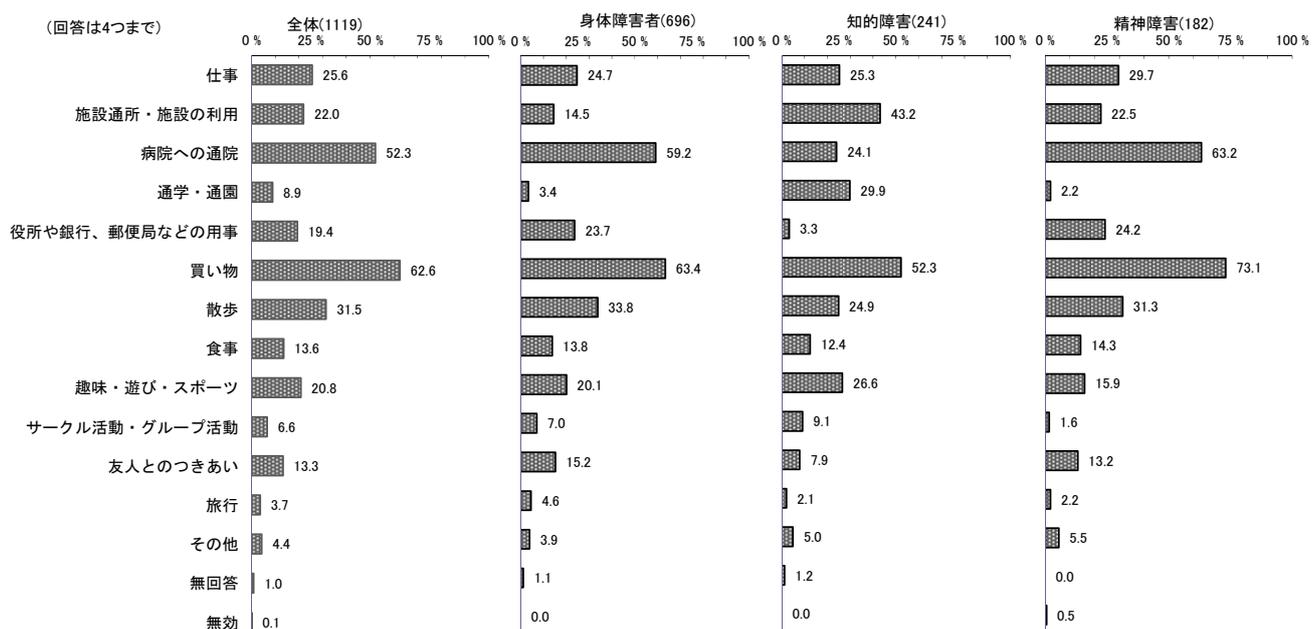
※2%未満数値：知的障害（1.9）

#### ② 外出の目的

○週に1日以上外出する人は、全体的に「買い物」「病院への通院」「散歩」を目的とする人が多い。

○障害別では、外出頻度が高い知的障害者について、若い人や18歳以下の子どもが多いことから、毎日施設や学校へ通っている様子が見える。

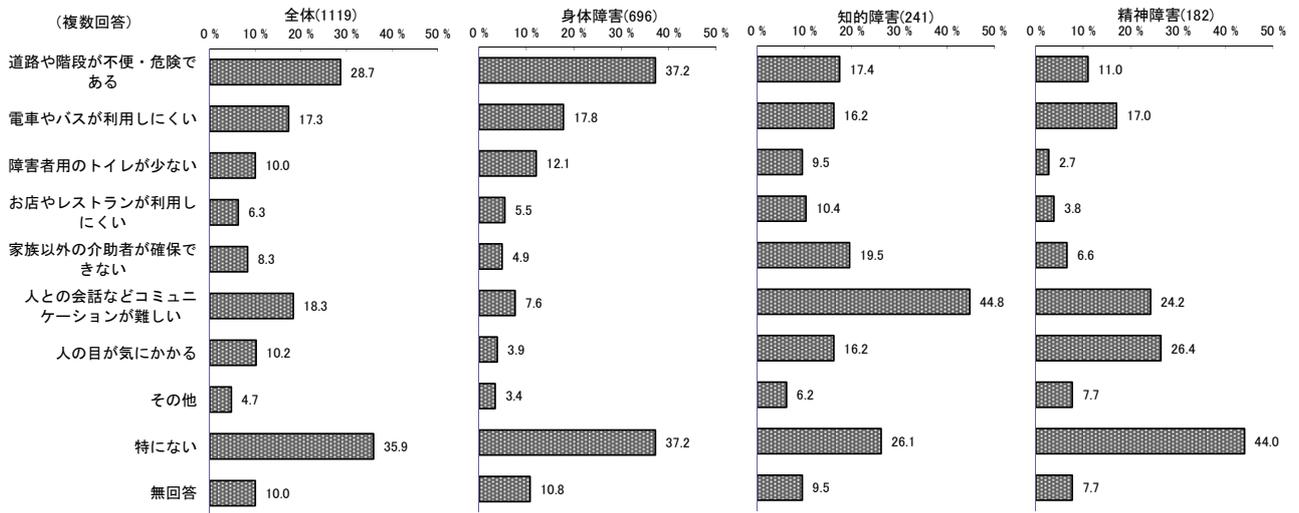
問 20-1. 外出の目的 × 障害種類別



### ③ 外出したときに困ること

○外出したときに困ることとして、障害別では、身体障害が「道路や階段が不便・危険である」を挙げる人が最も多く、知的障害では「人との会話などコミュニケーションが難しい」が4割を超え多くなっている。精神障害は、「人の目が気にかかる」を挙げる人が多いが、一方で、4割以上が「特にない」としている。

問 20-2. 外出したときに困ること × 障害種類別

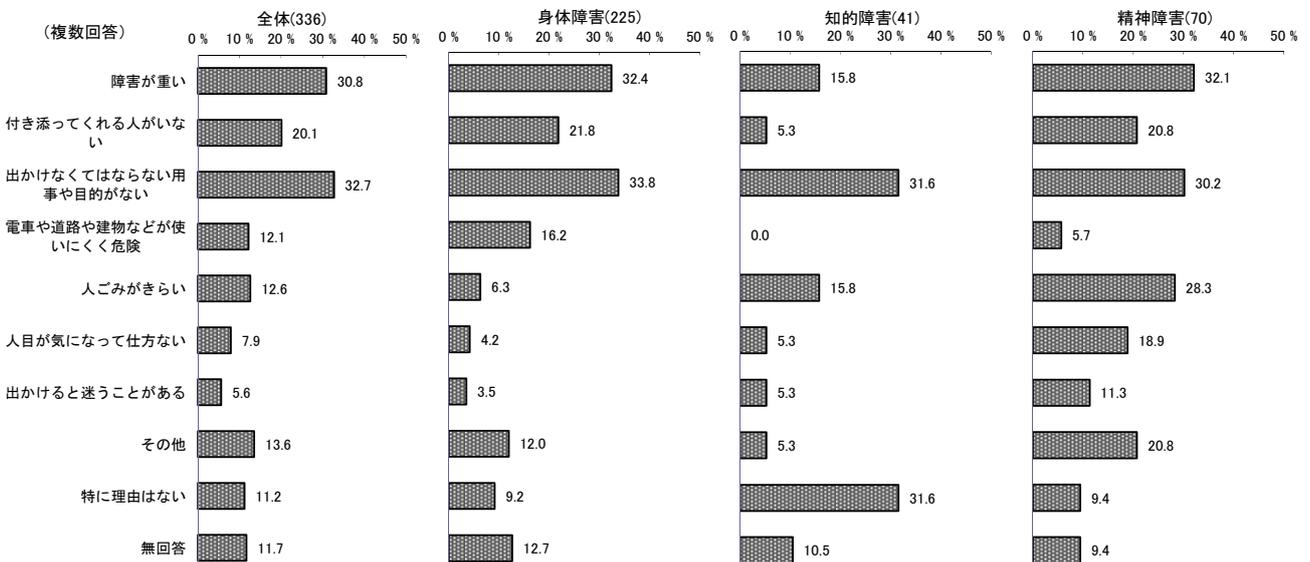


### ④ 外出しない理由

○ふだん「あまり外出しない」「まったく外出しない」人において、外出しない理由を聞いたところ、全体では「用事や目的がない」「障害が重い」を挙げる割合が高い。

○障害別では、身体障害では「電車や道路や建物などが使いにくく危険」「付き添ってくれる人がいない」、精神障害では、「人ごみがきらい」「人目が気になって仕方ない」などを挙げる割合が比較的高い。

問 20-3. 外出しない理由 × 障害種類別



## 7 サービスの利用の状況と今後の展望について

### (1) サービスの利用状況と満足度・今後の利用意向

#### ① 身体障害

○身体障害では、「(23)補装具の交付・修理」「(8)自立訓練（機能訓練）」「(2)居宅介護（家事援助）」  
「(1)居宅介護（身体介護）」「(22)日常生活用具の給付や貸し出し」の利用が多く、利用の評価では、  
「満足」から「普通」の評価が多くなっている。

○今後、利用したいサービスとして全体的に低くなっているが、「(17)入所施設」「(20)相談窓口・ケ  
ースワーカー」「(23)補装具の交付・修理」「(8)自立訓練（機能訓練）」など現在利用している割合  
が高いサービスが比較的高くなっている。

問 21. 身体障害 サービスの利用状況と満足度・今後の利用意向（総数＝868）

現在の利用状況	利用している割合	満足度					今後の利用意向	
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満		
訪問	(1)居宅介護(身体介護)	6.5	2.6	1.7	1.7	0.3	-	2.2
	(2)居宅介護(家事援助)	6.6	3.0	1.5	1.7	0.1	0.2	3.3
	(3)居宅介護(移動介護)	3.8	1.3	0.9	1.6	-	-	1.3
	(4)重度訪問介護	1.8	0.7	0.2	0.8	-	0.1	0.2
	(5)同行援護	3.0	1.4	0.5	1.2	-	-	1.5
	(6)行動援護	2.2	0.5	0.5	0.9	0.2	0.1	0.7
日中活動	(7)生活介護	5.3	1.0	2.0	1.7	0.2	0.3	1.3
	(8)自立訓練(機能訓練)	7.1	2.8	2.0	1.7	0.5	0.2	3.2
	(9)自立訓練(生活訓練)	3.6	1.4	0.7	1.0	0.2	0.2	1.0
	(10)就労移行支援	1.5	0.3	0.5	0.6	0.1	-	0.2
	(11)就労継続支援A型	1.6	0.3	0.6	0.5	0.1	0.1	0.3
	(12)就労継続支援B型	1.7	0.6	0.5	0.5	0.2	-	0.2
	(13)療養介護	1.6	0.3	0.5	0.6	0.1	0.1	1.3
	(14)短期入所(ショートステイ)	3.9	1.0	1.3	1.5	-	0.1	2.4
	(15)地域活動支援センター	3.8	1.8	0.7	1.3	-	-	1.4
居住	(16)共同生活援助(グループホーム等)	2.3	0.6	1.2	0.6	-	-	1.0
	(17)入所施設	5.2	1.7	2.1	1.0	0.2	0.1	4.1
支相談	(18)計画相談支援・障害児相談支援	3.7	1.0	0.5	1.7	0.1	0.3	2.1
	(19)地域移行支援	2.9	0.7	0.3	1.3	0.2	0.3	1.6
生活支援	(20)相談窓口・ケースワーカー	6.0	2.3	1.2	1.8	0.2	0.5	3.5
	(21)手話通訳者や要約筆記者の派遣サービス	2.4	0.9	0.7	0.8	-	-	0.6
	(22)日常生活用具の給付や貸し出し	6.5	2.6	2.2	1.2	0.1	0.3	2.4
	(23)補装具の交付・修理	10.0	3.0	2.9	2.8	0.9	0.5	3.3
	(24)自動車免許の取得等にかかる費用の助成	2.0	0.3	0.5	0.7	0.1	0.3	0.9
	(25)リフト付きワゴン車の貸し出し	0.8	0.1	0.2	0.5	-	-	1.2
	(26)緊急通報システム	2.4	0.7	0.8	0.6	0.3	-	2.9
	(27)レスパイトサービス	1.4	0.3	0.7	0.3	-	-	0.7
	(28)移動支援	3.7	1.4	1.2	0.9	0.1	0.1	2.4
	(29)日中一時支援	2.5	0.7	0.8	0.9	-	0.1	1.5
障害児	(30)児童発達支援	1.6	0.3	0.8	0.3	-	0.1	0.5
	(31)放課後等デイサービス	1.4	0.2	0.7	0.5	-	-	0.5
	(32)保育所等訪問支援	0.7	0.1	0.2	0.3	-	-	0.1

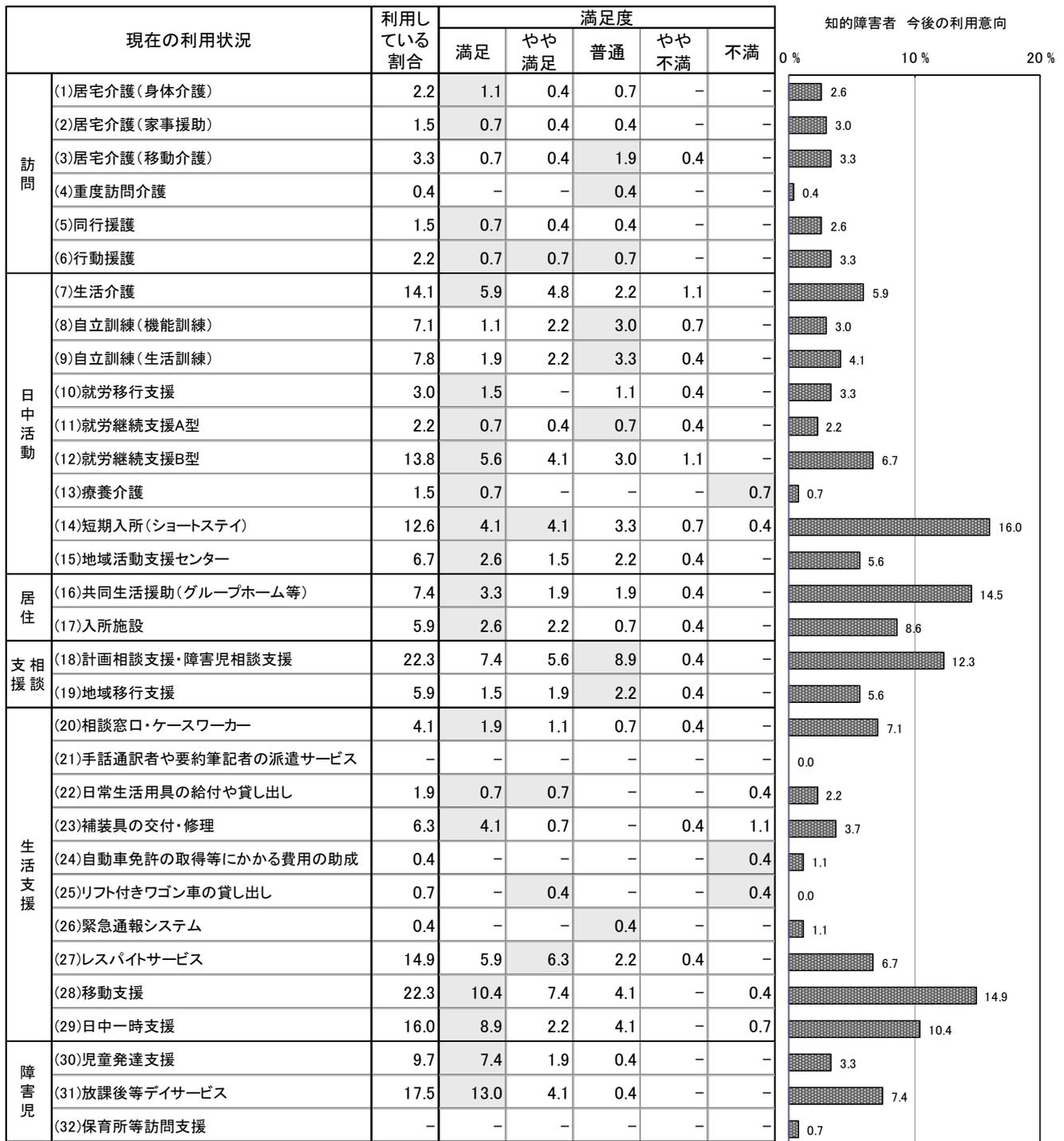
※表中の網掛けは、評価の中で最も高い割合。

② 知的障害

○知的障害では、「(18)計画相談支援・障害児相談支援」「(28)移動支援」が双方2割以上の利用率である。その他では、「(31)放課後等デイサービス」「(29)日中一時支援」「(27)レスパイトサービス」の利用が比較的多く、日中活動では、「(7)生活介護」「(12)就労継続支援B型」「(14)短期入所(ショートステイ)」の利用が多い。利用の評価では、利用割合が低い生活支援で一部不満があるが、全体的に「満足」が多くなっている。

○今後、利用したいサービスとしては、「(14)短期入所」「(28)移動支援」「(16)共同生活援助(グループホーム等)」など、現在も利用率が高いものが多くなっている。

問 21. 知的障害 サービスの利用状況と満足度・今後の利用意向 (総数=269)



### ③ 精神障害

○精神障害では、「(20)相談窓口・ケースワーカー」「(15)地域活動支援センター」「(18)計画相談支援・障害児相談支援」の利用が比較的高い。利用の評価では、「満足」から「普通」の評価が多くなっている。

○今後、利用したいサービスとしては、「(15)地域活動支援センター」「(20)相談窓口・ケースワーカー」が高く、また「(10)就労移行支援」「(11)就労継続支援 A 型」「(12)就労継続支援 B 型」も比較的高くなっている。

問 21. 精神障害 サービスの利用状況と満足度・今後の利用意向（総数＝240）

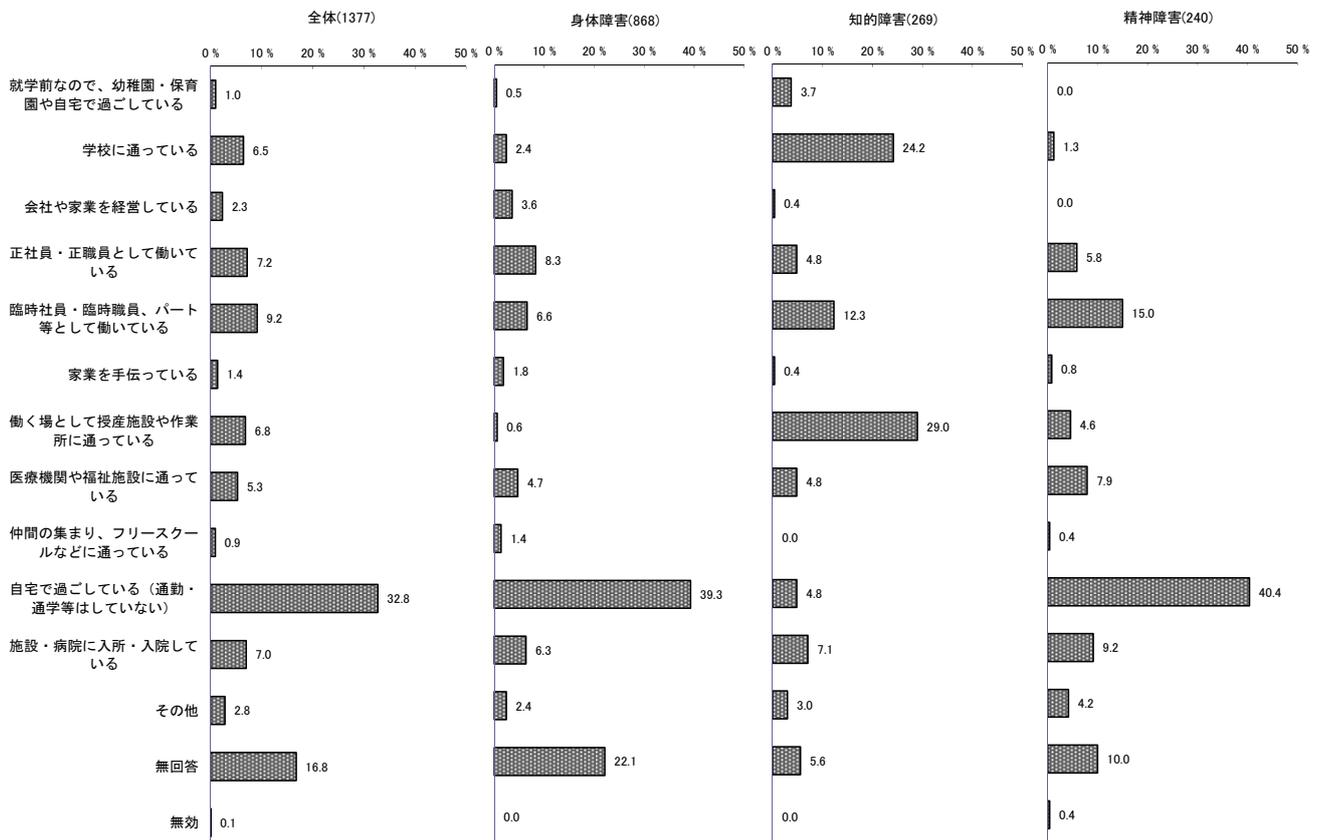
現在の利用状況	利用している割合	満足度					精神障害者 今後の利用意向	
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満		
訪問	(1)居宅介護(身体介護)	5.8	1.7	1.3	2.5	-	0.4	1.3
	(2)居宅介護(家事援助)	8.8	6.3	0.8	0.8	0.4	0.4	4.6
	(3)居宅介護(移動介護)	2.9	0.8	0.8	0.8	-	0.4	1.3
	(4)重度訪問介護	1.7	0.4	0.4	0.4	-	0.4	0.4
	(5)同行援護	3.3	1.3	0.4	0.8	0.4	0.4	1.3
	(6)行動援護	2.5	1.3	0.4	0.4	-	0.4	2.1
日中活動	(7)生活介護	5.8	1.3	2.5	0.8	0.8	0.4	1.3
	(8)自立訓練(機能訓練)	5.8	1.7	1.3	2.1	0.4	0.4	0.8
	(9)自立訓練(生活訓練)	7.5	3.3	1.7	1.7	0.4	0.4	2.9
	(10)就労移行支援	7.9	2.1	1.7	2.9	0.8	0.4	5.4
	(11)就労継続支援A型	4.6	1.3	0.4	1.3	0.8	0.8	5.0
	(12)就労継続支援B型	7.9	2.5	1.3	1.7	2.1	0.4	3.3
	(13)療養介護	1.7	-	-	0.8	0.4	0.4	0.8
	(14)短期入所(ショートステイ)	3.3	-	1.3	1.3	0.4	0.4	2.1
(15)地域活動支援センター	11.3	3.3	0.8	4.2	1.7	1.3	7.1	
居住	(16)共同生活援助(グループホーム等)	3.8	0.8	0.4	1.3	0.4	0.8	3.3
	(17)入所施設	3.3	0.4	0.8	1.3	0.4	0.4	2.9
支相談	(18)計画相談支援・障害児相談支援	10.8	4.2	2.5	2.1	0.8	1.3	4.2
	(19)地域移行支援	4.2	0.8	0.8	1.3	-	1.3	1.7
生活支援	(20)相談窓口・ケースワーカー	16.3	6.3	5.0	3.3	-	1.7	7.1
	(21)手話通訳者や要約筆記者の派遣サービス	1.3	-	0.8	-	-	0.4	0.4
	(22)日常生活用具の給付や貸し出し	2.5	0.4	0.8	0.8	-	0.4	1.3
	(23)補装具の交付・修理	1.3	-	0.4	0.4	-	0.4	0.8
	(24)自動車免許の取得等にかかる費用の助成	1.7	-	0.8	-	-	0.8	1.7
	(25)リフト付きワゴン車の貸し出し	0.8	-	0.4	-	-	0.4	0.8
	(26)緊急通報システム	2.1	0.4	1.3	-	-	0.4	2.5
	(27)レスパイトサービス	2.5	0.4	0.8	0.4	0.4	0.4	0.8
	(28)移動支援	3.8	1.3	0.8	-	0.4	1.3	2.9
	(29)日中一時支援	2.1	-	1.3	0.4	-	0.4	2.1
障害児	(30)児童発達支援	0.8	-	0.4	-	-	0.4	0.0
	(31)放課後等デイサービス	1.7	-	0.4	0.4	-	0.8	0.0
	(32)保育所等訪問支援	0.8	-	0.4	-	-	0.4	0.0

## 8 日中活動について

### (1) 日中の過ごし方

- 身体障害では、「自宅で過ごしている」が約4割と最も多い。働いている人は全体の約2割で、内訳は「正社員・正職員」(約8%)、「臨時職員等」(約7%)、「会社・家業の経営」(約4%)、「家業の手伝い」(約2%)、「働く場として授産施設や作業所に通っている」(約1%)となっている。なお、身体障害では65歳以上が7割以上を占めていることに留意する必要がある。
- 知的障害では、若い年代層が多いため、4人に1人程度が学校に通っている。働いている人は全体の5割弱と多く、詳細としては「働く場として授産施設や作業所に通っている」が約29%と最も多く、「臨時職員等」が約12%と続いている。一方、「自宅で過ごしている」は約5%と、他の障害と比較すると30ポイント以上低くなっている。
- 精神障害では、「自宅で過ごしている」が4割以上を占め最も多い。ついで多いのが、「臨時職員等」約15%となり、働いている人の割合は合わせて約26%となっている。施設や病院に入所・入院または通所・通院している割合は、約17%と比較的高めになっている。

問 22. 日中の過ごし方 × 障害種類別



- 年齢別で見ると、身体障害においては、未成年では「学校に通っている」が大半を占め、20～40歳代では、働いている人（会社、家業の経営、正社員、臨時職員、家業の手伝い、授産施設等の計）が半数以上を占めている。50歳以上になると、働く人が徐々に減る反面「自宅で過ごしている」割合が増え、65歳以上になると「施設・病院に入所・入院、通院」も増える傾向にある。
- 知的障害においては、17歳以下では通学している人がほとんどであり、20～50歳代で働いている人の割合が高くなっている。
- 精神障害においては、20・30歳代においては「自宅で過ごしている」より働いている割合が多いが、40歳代を境に「自宅で過ごしている」割合が多くなっている。「自宅で過ごしている」割合は50歳代で最も多く6割弱となり、60歳代以上になると、「施設・病院に入所・入院」が2割以上を占めている。

問 22. 身体障害 日中の過ごし方 ×年齢別

	全体	就学前なので、幼稚園や自宅で過ごしている	学校に通っている	会社や家業を営んでいる	正社員・正職員として働いている	臨時社員・臨時職員、パート等として働いている	家業を手伝っている	働く場として授産施設や作業所に通っている	医療機関や福祉施設に通っている	仲間の集まり、フリースクールなどに通っている	自宅で過ごしている（通勤・通学等はない）	施設・病院に入所・入院している	その他	無回答	無効	
全体	868 100.0	4 0.5	21 2.4	31 3.6	72 8.3	57 6.6	16 1.8	5 0.6	41 4.7	12 1.4	341 39.3	55 6.3	21 2.4	192 22.1	-	
年齢	0～5歳	3 100.0	3 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	6～11歳	5 100.0	-	4 80.0	-	-	-	-	-	-	1 20.0	-	-	-	-	
	12～14歳	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	15～17歳	10 100.0	-	10 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	18～19歳	2 100.0	-	1 50.0	-	-	-	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-	
	20～29歳	11 100.0	-	2 18.2	-	4 36.4	1 9.1	-	1 9.1	-	2 18.2	1 9.1	-	-	-	
	30～39歳	19 100.0	-	1 5.3	1 5.3	9 47.4	2 10.5	-	1 5.3	-	2 10.5	1 5.3	-	2 10.5	-	
	40～49歳	46 100.0	-	1 2.2	1 2.2	17 37.0	4 8.7	2 4.3	1 2.2	2 4.3	13 28.3	3 6.5	-	2 4.3	-	
	50～59歳	73 100.0	1 1.4	-	4 5.5	18 24.7	12 16.4	-	1 1.4	3 4.1	25 34.2	3 4.1	1 1.4	5 6.8	-	
	60～64歳	77 100.0	-	1 1.3	6 7.8	14 18.2	12 15.6	1 1.3	1 1.3	2 2.6	28 36.4	2 2.6	4 5.2	6 7.8	-	
	65～74歳	257 100.0	-	-	8 3.1	7 2.7	21 8.2	6 2.3	1 0.4	12 4.7	8 3.1	118 45.9	11 4.3	8 3.1	57 22.2	-
	75歳以上	351 100.0	-	-	11 3.1	1 0.3	5 1.4	6 1.7	-	20 5.7	4 1.1	148 42.2	32 9.1	8 2.3	116 33.0	-
	無回答	13 100.0	-	-	-	2 15.4	-	1 7.7	-	-	-	4 30.8	2 15.4	-	4 30.8	-

問 22. 知的障害 日中の過ごし方 ×年齢別

		全体	就学前なので、幼稚園や自宅で過ごしている	学校に通っている	会社や家業を営んでいる	正社員・正職員として働いている	臨時社員・臨時職員、パート等として働いている	家業を手伝っている	働く場として授産施設や作業所に通っている	医療機関や福祉施設に通っている	仲間の集まり、フリースクールなどに通っている	自宅で過ごしている（通勤・通学等ではない）	施設・病院に入院している	その他	無回答	無効	
		269 100.0	10 3.7	65 24.2	1 0.4	13 4.8	33 12.3	1 0.4	78 29.0	13 4.8	-	13 4.8	19 7.1	8 3.0	15 5.6	-	
年齢	0~5歳	14 100.0	10 71.4	-	-	-	-	-	-	-	-	1 7.1	-	2 14.3	1 7.1	-	
	6~11歳	29 100.0	-	27 93.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2 6.9	-	
	12~14歳	14 100.0	-	14 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	15~17歳	22 100.0	-	20 90.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2 9.1	-	-	
	18~19歳	8 100.0	-	1 12.5	-	-	1 12.5	-	4 50.0	2 25.0	-	-	-	-	-	-	-
	20~29歳	55 100.0	-	1 1.8	-	5 9.1	13 23.6	-	28 50.9	2 3.6	-	1 1.8	4 7.3	-	1 1.8	-	-
	30~39歳	47 100.0	-	-	1 2.1	3 6.4	9 19.1	-	18 38.3	3 6.4	-	5 10.6	3 6.4	2 4.3	3 6.4	-	-
	40~49歳	32 100.0	-	-	-	3 9.4	6 18.8	1 3.1	13 40.6	2 6.3	-	-	4 12.5	2 6.3	1 3.1	-	-
	50~59歳	24 100.0	-	-	-	1 4.2	2 8.3	-	10 41.7	1 4.2	-	2 8.3	4 16.7	-	4 16.7	-	-
	60~64歳	6 100.0	-	-	-	1 16.7	1 16.7	-	2 33.3	-	-	-	2 33.3	-	-	-	-
	65~74歳	10 100.0	-	-	-	-	-	-	1 10.0	3 30.0	-	3 30.0	2 20.0	-	1 10.0	-	-
	75歳以上	4 100.0	-	-	-	-	-	-	1 25.0	-	-	1 25.0	-	-	2 50.0	-	-
	無回答	4 100.0	-	2 50.0	-	-	1 25.0	-	1 25.0	-	-	-	-	-	-	-	-

問 22. 精神障害 日中の過ごし方 ×年齢別

		全体	就学前なので、幼稚園や自宅で過ごしている	学校に通っている	会社や家業を営んでいる	正社員・正職員として働いている	臨時社員・臨時職員、パート等として働いている	家業を手伝っている	働く場として授産施設や作業所に通っている	医療機関や福祉施設に通っている	仲間の集まり、フリースクールなどに通っている	自宅で過ごしている（通勤・通学等ではない）	施設・病院に入院している	その他	無回答	無効	
		240 100.0	-	3 1.3	-	14 5.8	36 15.0	2 0.8	11 4.6	19 7.9	1 0.4	97 40.4	22 9.2	10 4.2	24 10.0	1 0.4	
年齢	0~5歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	6~11歳	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	12~14歳	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	15~17歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	18~19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	20~29歳	15 100.0	-	1 6.7	-	1 6.7	6 40.0	-	2 13.3	-	-	5 33.3	-	-	-	-	-
	30~39歳	46 100.0	-	-	-	5 10.9	12 26.1	-	5 10.9	4 8.7	-	17 37.0	1 2.2	2 4.3	-	-	
	40~49歳	65 100.0	-	-	-	5 7.7	11 16.9	-	1 1.5	8 12.3	1 1.5	24 36.9	2 3.1	4 6.2	9 13.8	-	
	50~59歳	52 100.0	-	-	-	3 5.8	4 7.7	-	1 1.9	3 5.8	-	30 57.7	4 7.7	2 3.8	4 7.7	1 1.9	
	60~64歳	22 100.0	-	-	-	-	2 9.1	2 9.1	1 4.5	-	-	8 36.4	5 22.7	-	4 18.2	-	-
	65~74歳	21 100.0	-	-	-	-	-	-	-	3 14.3	-	10 47.6	6 28.6	1 4.8	1 4.8	-	-
	75歳以上	11 100.0	-	-	-	-	-	-	-	1 9.1	-	-	4 36.4	1 9.1	5 45.5	-	-
	無回答	6 100.0	-	-	-	-	1 16.7	-	1 16.7	-	-	3 50.0	-	-	1 16.7	-	-

## (2) 通園・通学先

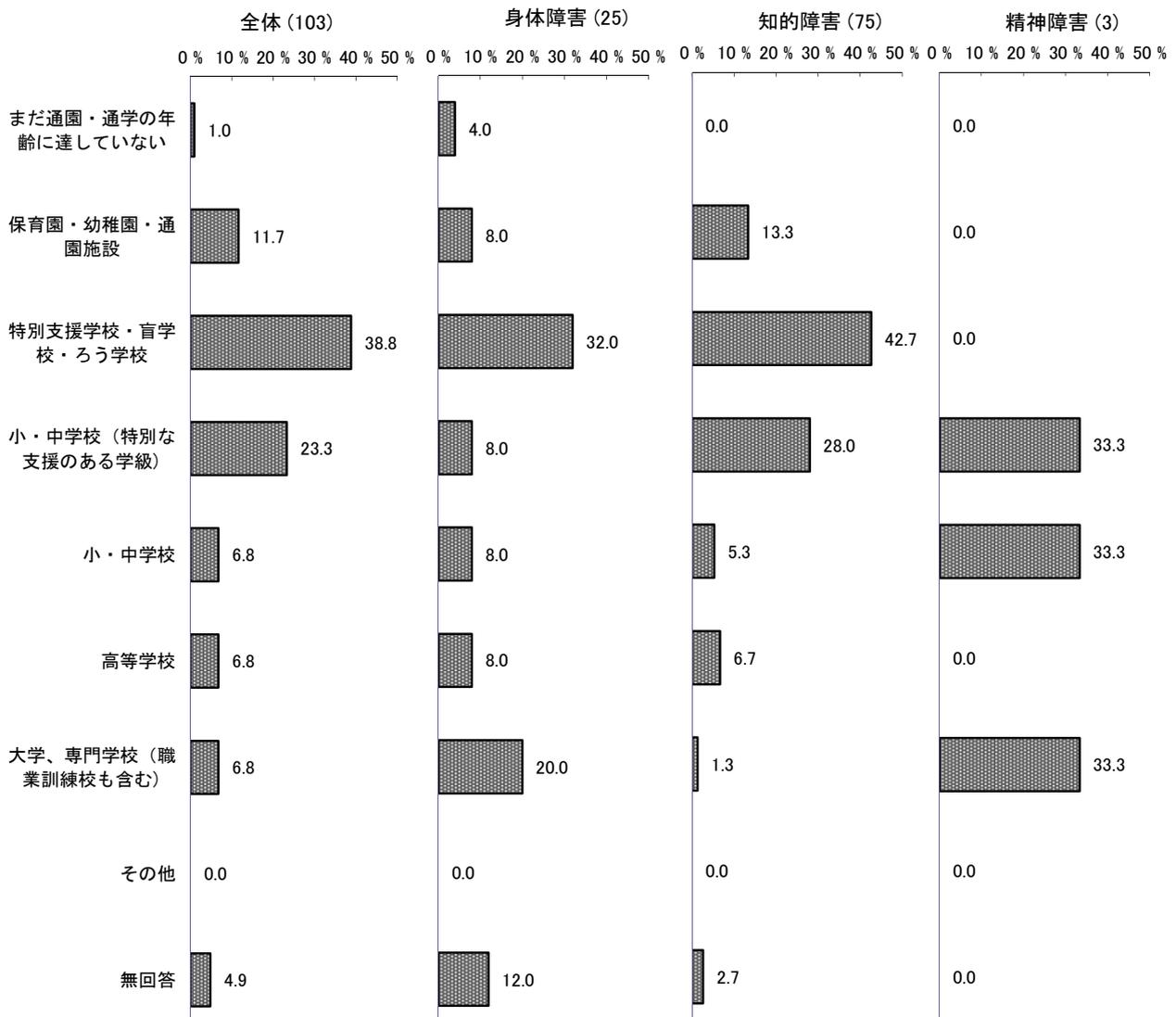
### ① 通園・通学先

○前設問で、「小学校就学前なので、幼稚園・保育所や自宅で過ごしている」「学校に通っている」と回答した人の通園・通学先について、全体では、「特別支援学校・盲学校・ろう学校」が約39%と最も多く、ついで「小・中学校（特別な支援のある学級）」が約23%と多くなっている。なお、対象者の数は、知的障害が最も多く精神障害は少ない。

○身体障害では、「特別支援学校・盲学校・ろう学校」が最も多く、「大学・専門学校」も比較的多くなっている。

○知的障害は、「特別支援学校・盲学校・ろう学校」が最も多く、「小・中学校（特別な支援のある学級）」に通う子どもも比較的多い。

問 23. 通園・通学先 × 障害種別

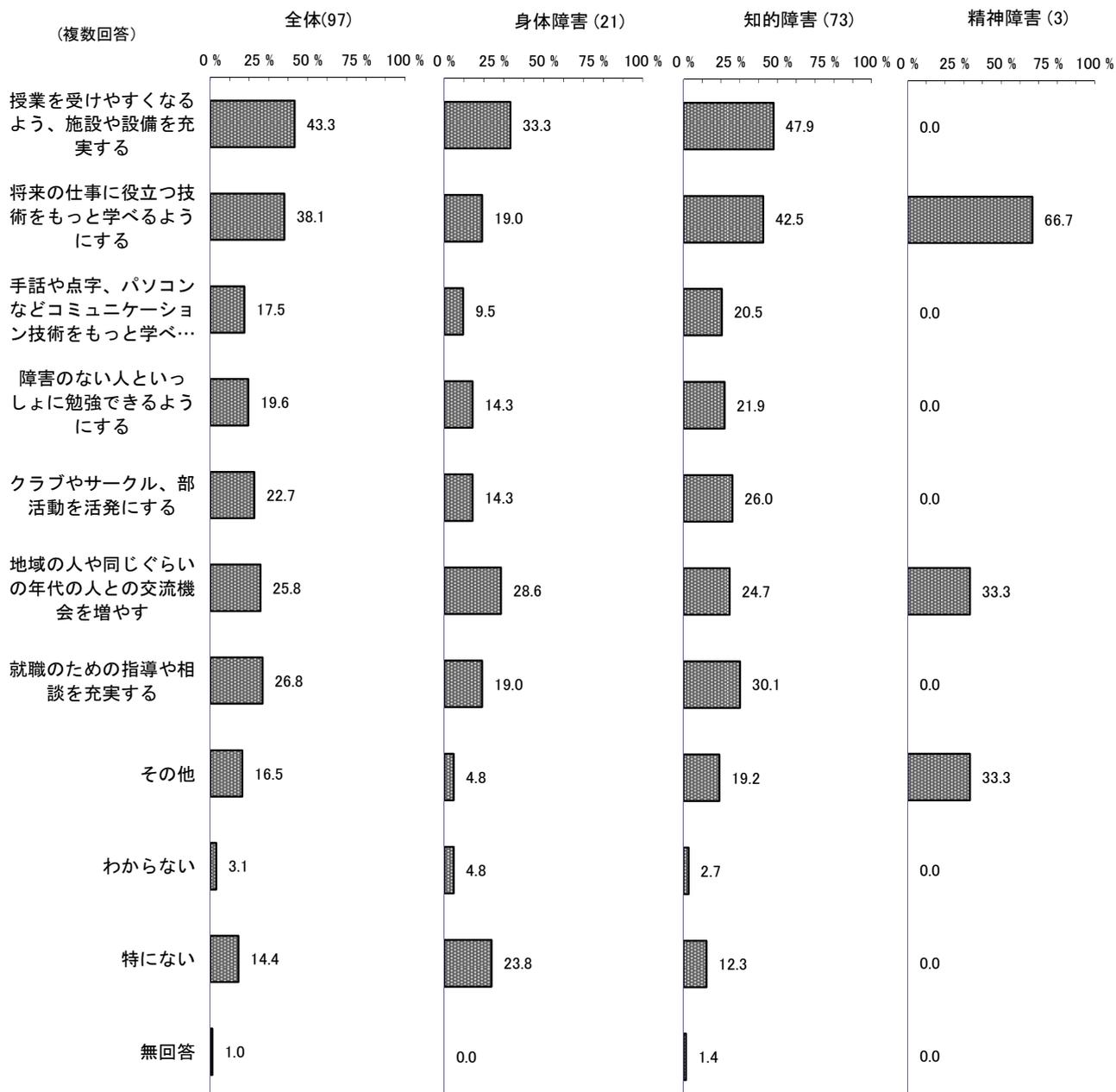


## ② 通っている学校をもっとよくする方法

○現在通っている学校などを、もっとよくするために必要なこととして、身体障害では「授業を受けやすくなるよう、施設や設備を充実する」が最も多く、「地域の人や同じくらいの年代の人との交流機会を増やす」がついで多くなっている。

○知的障害では、「授業を受けやすくなるよう、施設や設備を充実する」が最も多く半数程度の人が挙げている。「将来の仕事に役立つ技術をもっと学べるようにする」「就職のための指導や相談を充実する」などが比較的多く、将来に対する不安もうかがえる。

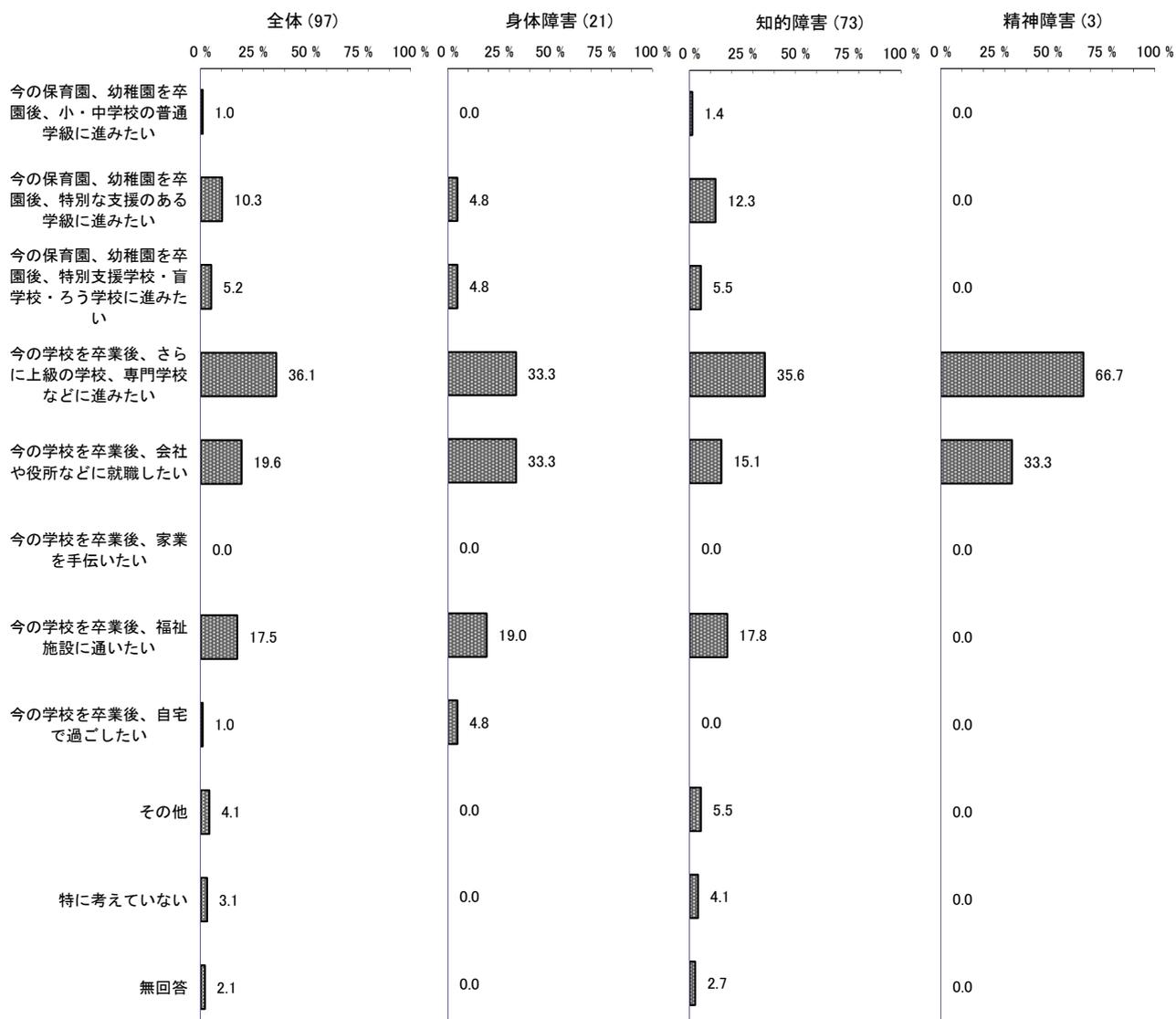
付問 23-1. 通っている学校をもっとよくする方法 × 障害種類別



### ③ 5年後の進路希望

○通園・通学している人の5年後の進路の希望は、全体では、「さらに上級の学校、専門学校など」が最も多く、「就職したい」という希望も比較的多く見られる。障害別で大きな差は見られないが、知的障害は若い年齢層も多く「特に考えていない」等の意見も見られる。

付問 23-2. 5年後の進路希望 × 障害種類別

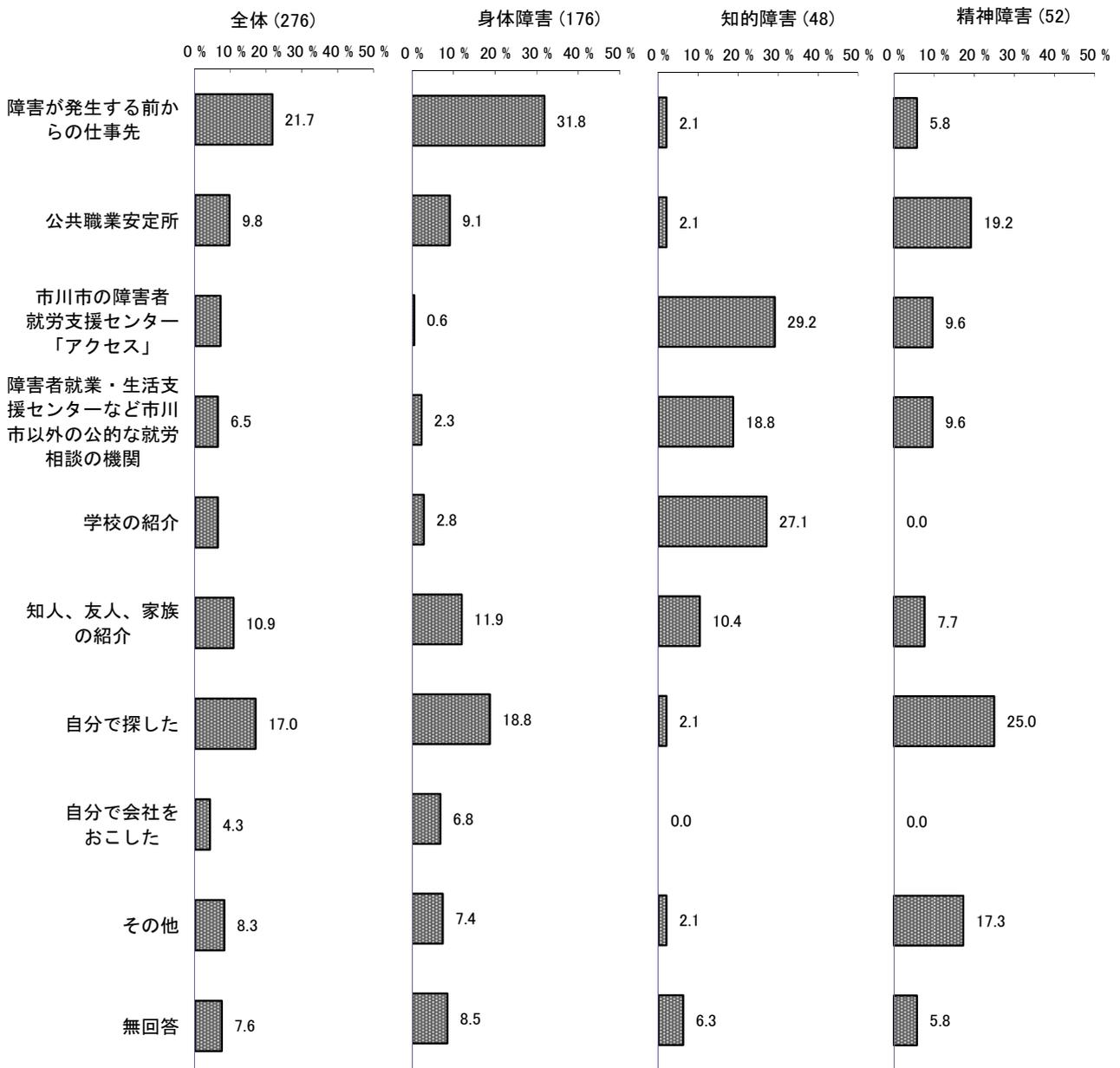


### (3) 一般就労状況

#### ① 現在の仕事を発見した方法

- 現在、仕事に就いている人が仕事を発見した方法については、身体障害では、「障害が発生する前からの仕事先」である場合が最も多く、自分で探した人、知人等からの紹介の人も比較的多い。
- 知的障害では、「障害者就労支援センター「アクセス」と「市川市以外の公的な就労相談の機関を通じて見つけた」人が多く、また「学校の紹介」の人も比較的多い。
- 精神障害では、「自分で探した」が最も多く、その他では公的な機関（公共職業安定所、障害者就労支援センター「アクセス」、市以外の公的な就労相談の機関）で見つけた人が多い。

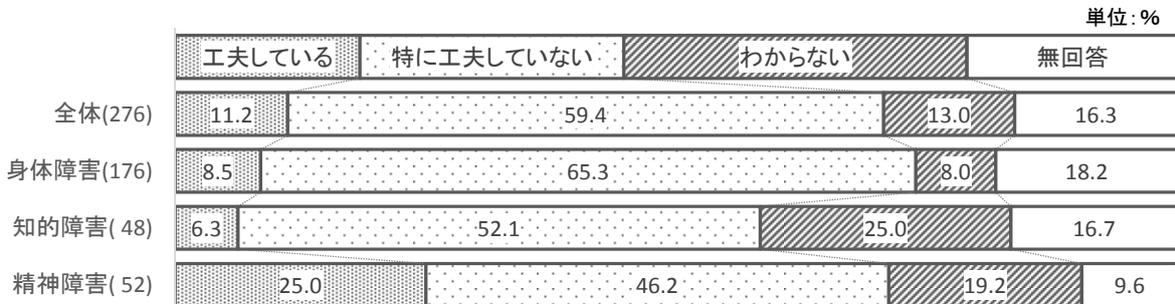
問 24. ①現在の仕事を発見した方法 ×障害種類別



② 現在の仕事は働きやすいように工夫していますか

○現在の仕事は働きやすいように工夫しているかどうかについては、「工夫している」と回答した割合は、精神障害で 25%と高く、知的障害で約 6%と低い。工夫した内容としては、労働時間の配慮（残業の調整や時短勤務等）に関するものが多い。

問 24. ②現在の仕事は働きやすいように工夫していますか ×障害種類別

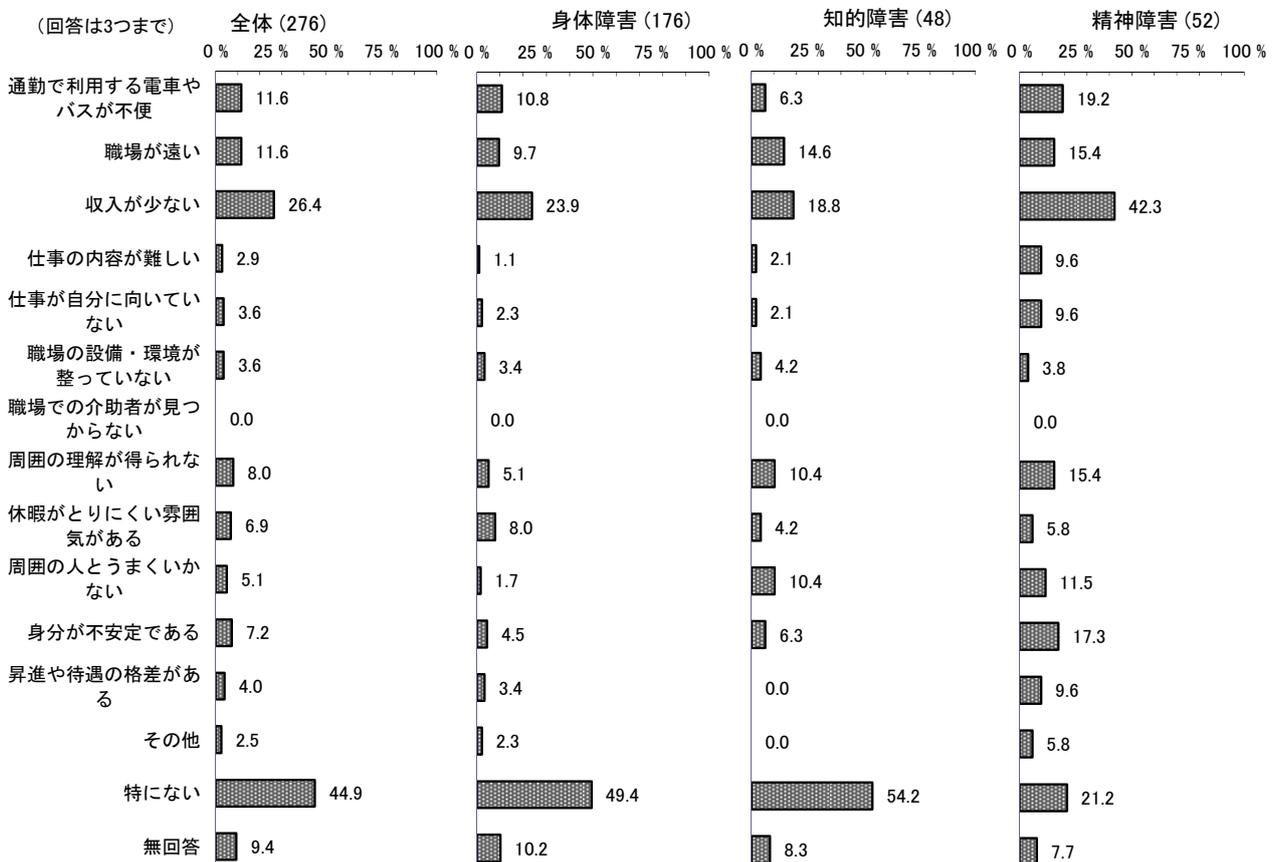


③ 仕事や職場について困っていること、不満なこと

○仕事や職場で困っていることや不安なことについては、障害に関わらず、「収入が少ないこと」が高くなっている。一方「特にない」も、半数程度の人が高めている。

○知的障害・精神障害においては、「周囲の理解が得られない」「周囲の人とうまくいかない」などの人間関係に不満または困っている割合が比較的高くなっている。

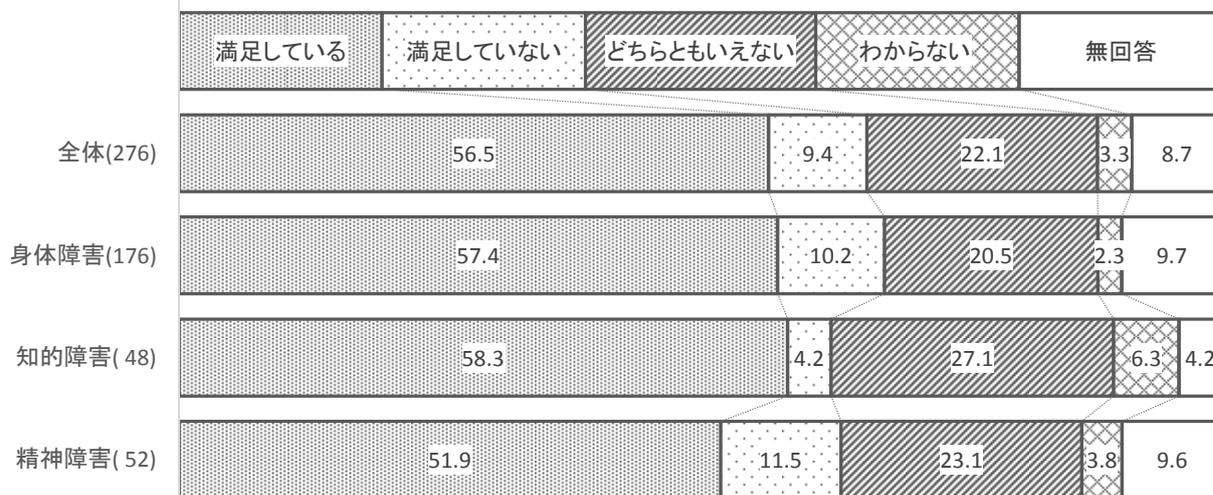
問 24. ③仕事や職場について困っていること、不満なこと ×障害種類別



#### ④ 現在の仕事先の満足度

○現在の仕事先・職場の満足度については、障害別ではあまり大差ないが、精神障害で、比較的「満足している」が低く、「満足していない」が高くなっている。

問 24. ④現在の仕事先の満足度 × 障害種類別

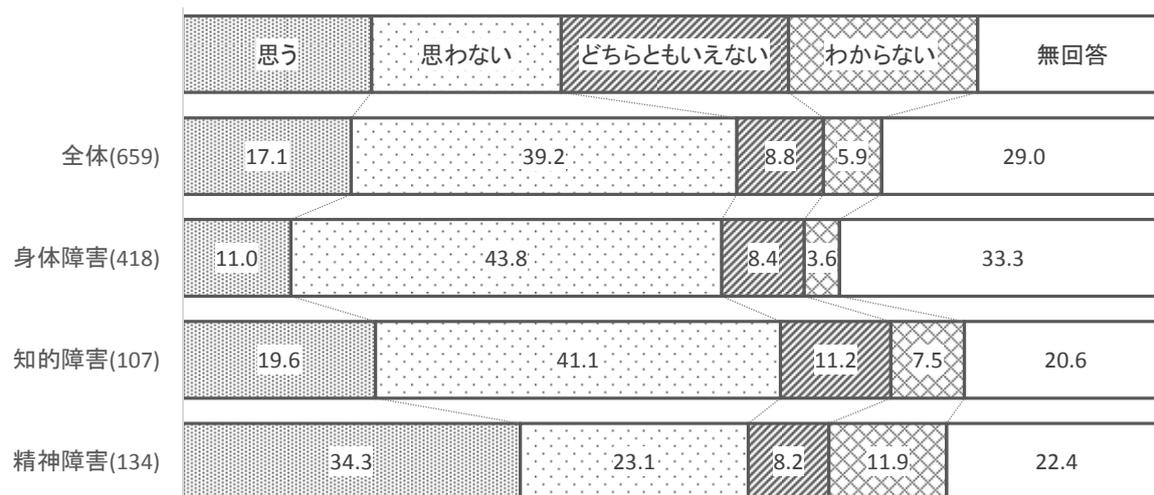


#### (4) 今後の就職の意向

##### ① 今後の就職、転職の意向

○機会があれば働きたい、転職したいと思う割合を障害別に比較すると、高齢者が多い身体障害で約 11%と最も低く、青壮年層が多い精神障害で約 34%と最も高い。

問 25. 今後の就職、転職の意向 × 障害種類別



## ② 働き方の希望

- 就職・転職したい人の働き方の希望は、身体障害で「臨時職員やパート、アルバイト」が最も多く約44%、ついで「正社員」が約22%である。
- 知的障害は対象者が少ないが、「正社員」「臨時職員やパート、アルバイト」「福祉施設で働きたい」にほぼ3分割されている。
- 精神障害は、「正社員」が約35%と最も多く、ついで「臨時職員やパート、アルバイト」「福祉施設で働きたい」と続いている。

付問 25-1. 働き方の希望 × 障害種類別

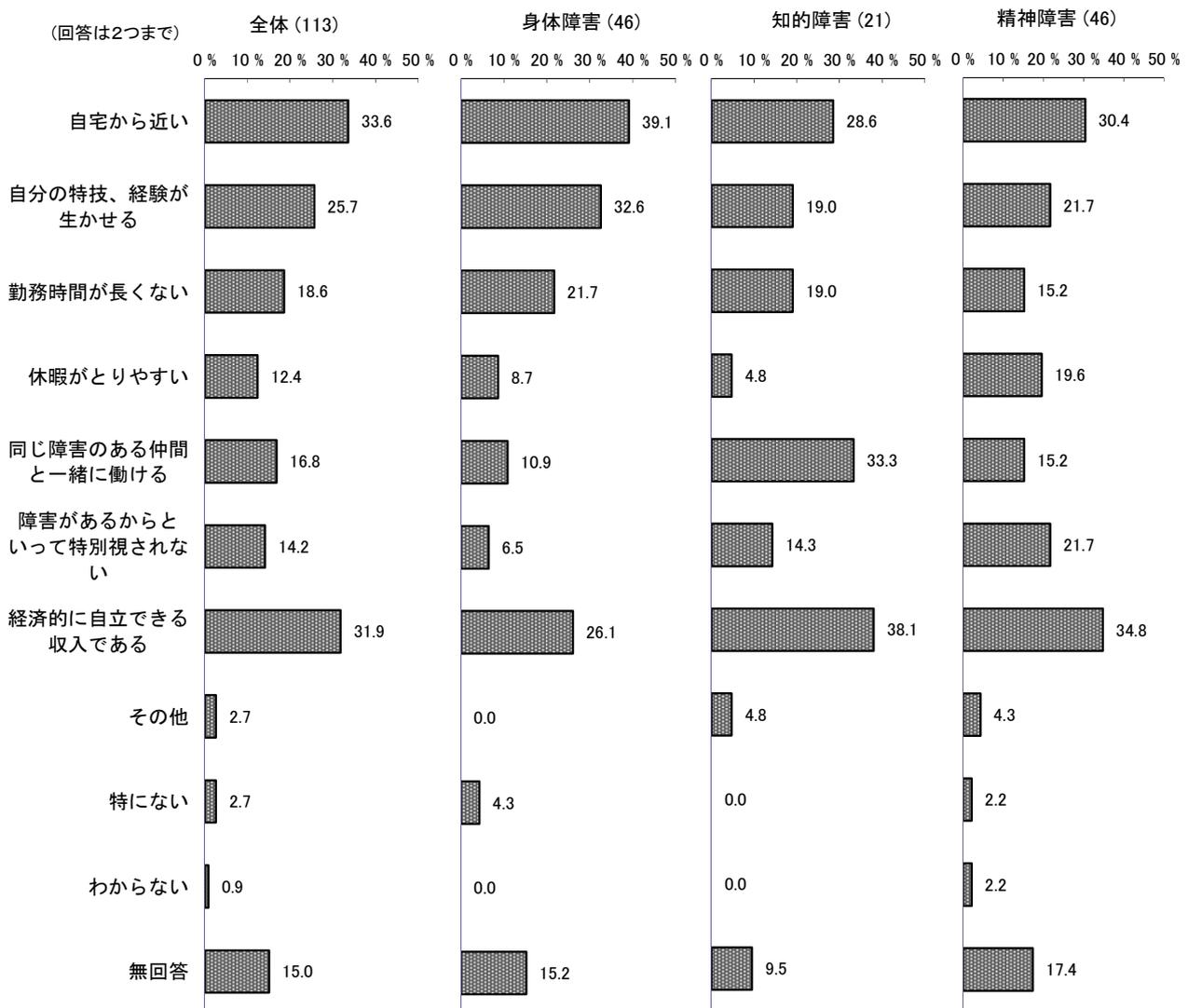
	正社員・ 正職員	臨時職員やパート アルバイト	家業に たずさわる	自分で会社を おこして働きたい	福祉施設で 働きたい	その他	わからない	無回答
全体(113)	29.2	34.5	2.7	3.5	15.9	3.5	8.0	2.7
身体障害(46)	21.7	43.5	6.5	6.5	8.7	2.2	6.5	4.3
知的障害(21)	33.3	28.6			33.3			4.8
精神障害(46)	34.8	28.3	2.2	15.2	6.5	10.9	2.2	

※2%未満数値：知的障害（-、-、-、-）精神障害（-）

### ③ 働く時に重視する条件

- 働きたい、転職したいと思う人が、働く時に重視する条件は、全体では、「自宅から近い」が約 34% と最も多く、ついで「経済的に自立できる収入である」「自分の特技、経験が生かせる」と続いている。
- 「自宅から近い」「勤務時間が長くない」は身体障害で高い割合となり、一方「休暇が取りやすい」は精神障害で高くなっている。「同じ障害のある仲間と一緒に働ける」「経済的に自立できる収入である」は知的障害において高い割合となっている。
- 「障害があるからといって特別視されない」の割合は、3 障害のなかで精神障害が約 22% と最も高く、身体障害で約 7% と低くなっている。

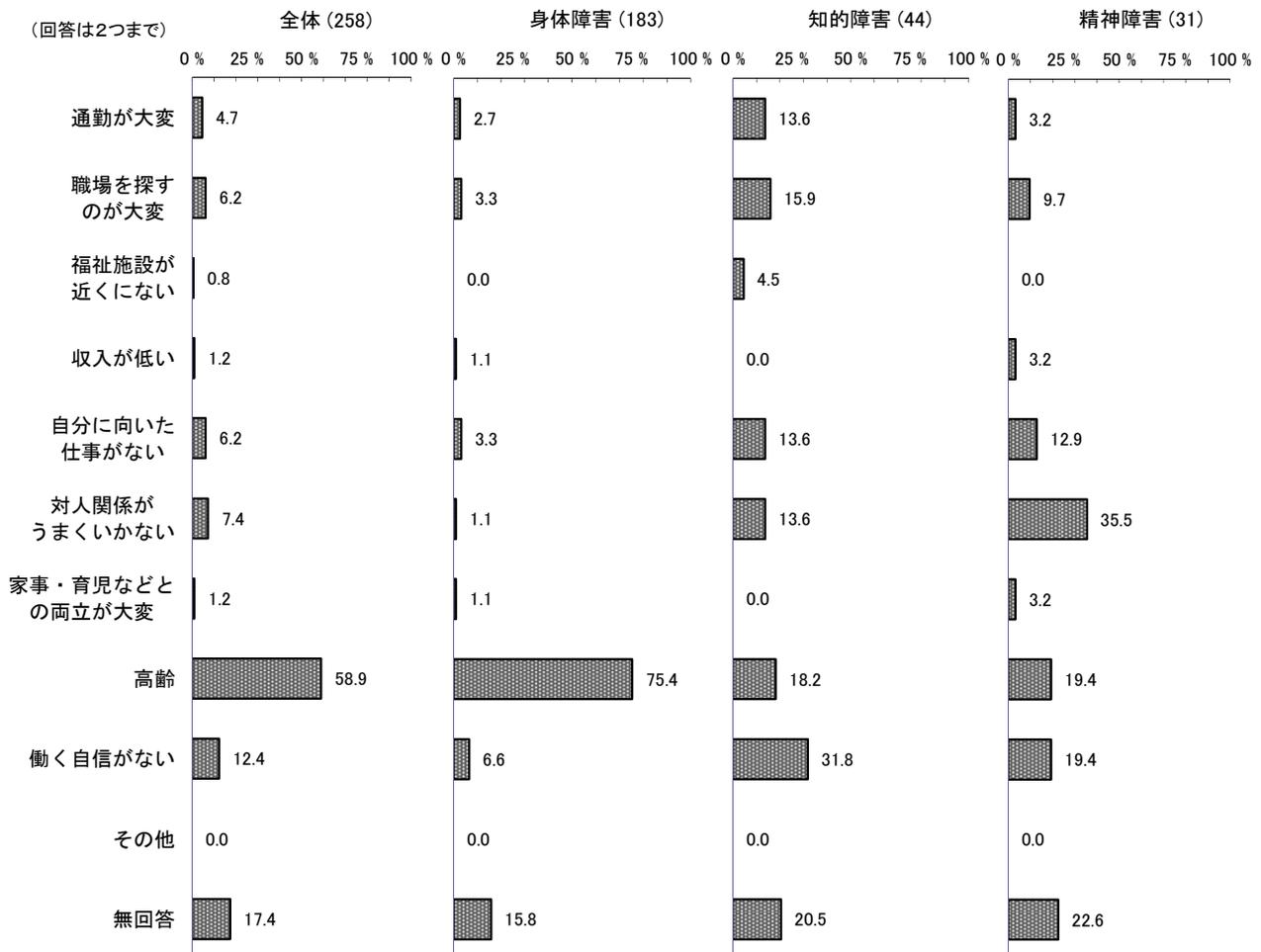
付問 25-2. (働きたい場合) 働く時に重視する条件 × 障害種類別



#### ④ 働きたいと思わない理由

○就職したいと思わない理由については、身体障害で「高齢」、知的障害で「働く自信がない」、精神障害で「対人関係がうまくいかない」などが特徴的である。

付問 25-3. 働きたいと思わない理由 × 障害種類別

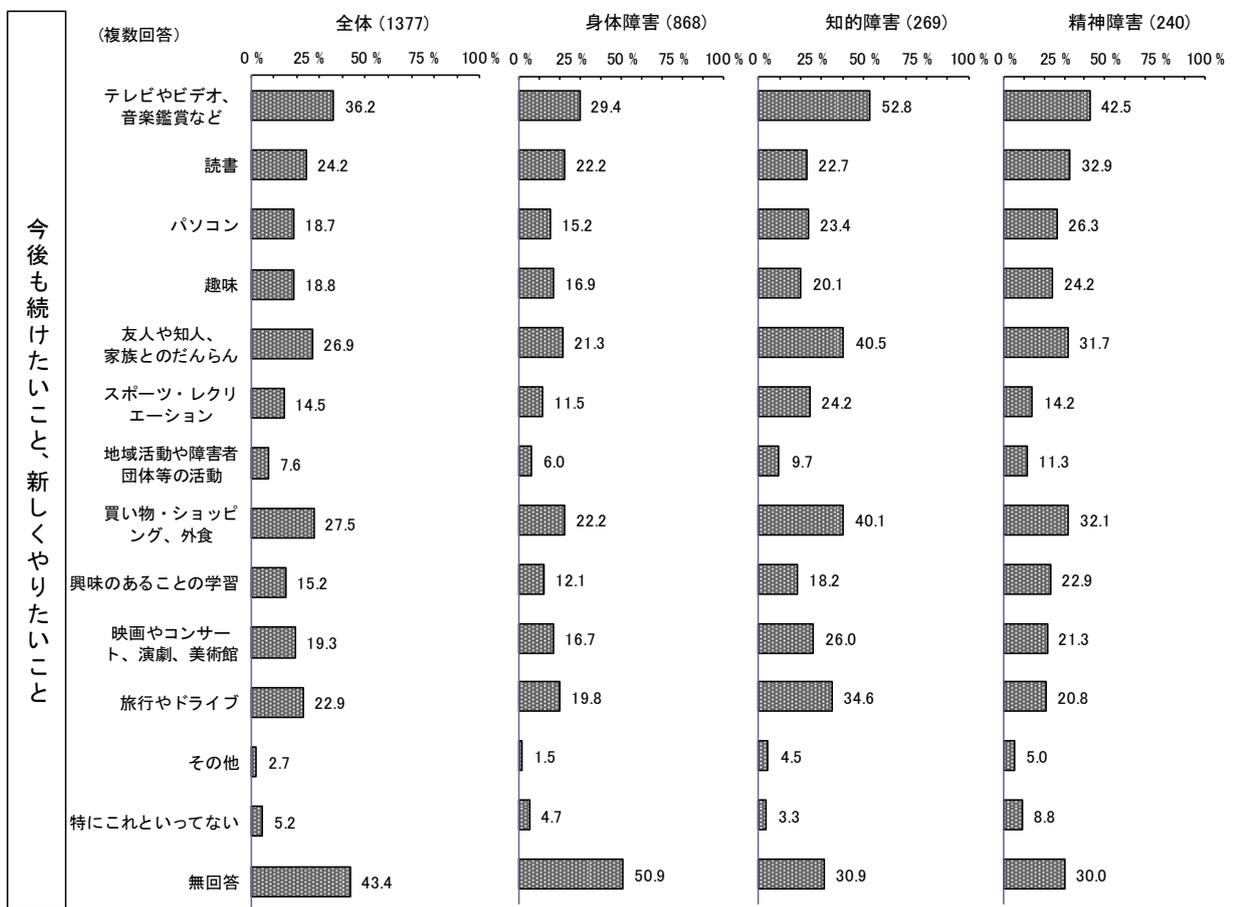
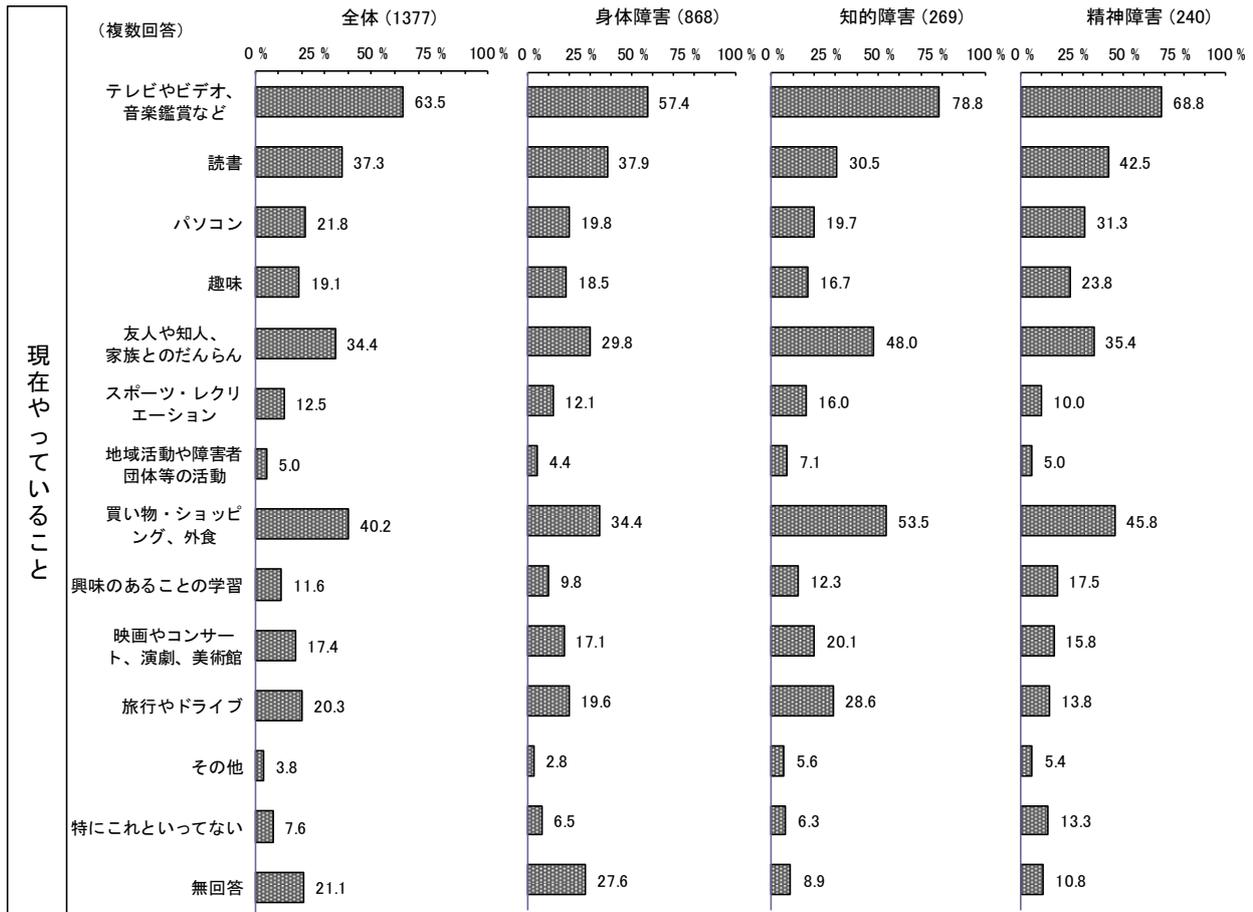


## 9 余暇活動、地域活動について

### (1) 自由時間の過ごし方

- 自由時間の現在の主な過ごし方は、総じて「テレビやビデオ、音楽鑑賞など」「買い物・ショッピング、外食」「読書」「友人や知人、家族とのだんらん」などが多くなっている。
- 障害別には、知的障害で「テレビやビデオ、音楽鑑賞など」「買い物・ショッピング、外食」「友人や知人、家族とのだんらん」が全体より10ポイント以上高くなっている。
- 今後の希望についても、障害種類に関わらず「テレビやビデオ、音楽鑑賞など」「買い物・ショッピング、外食」「友人や知人、家族とのだんらん」「読書」など、現在の活動内容が上位を占めている。割合がそれほど高くないものでも、「スポーツ・レクリエーション」「興味のあることの学習」「旅行やドライブ」など現在の活動率を上回る希望率となっている。

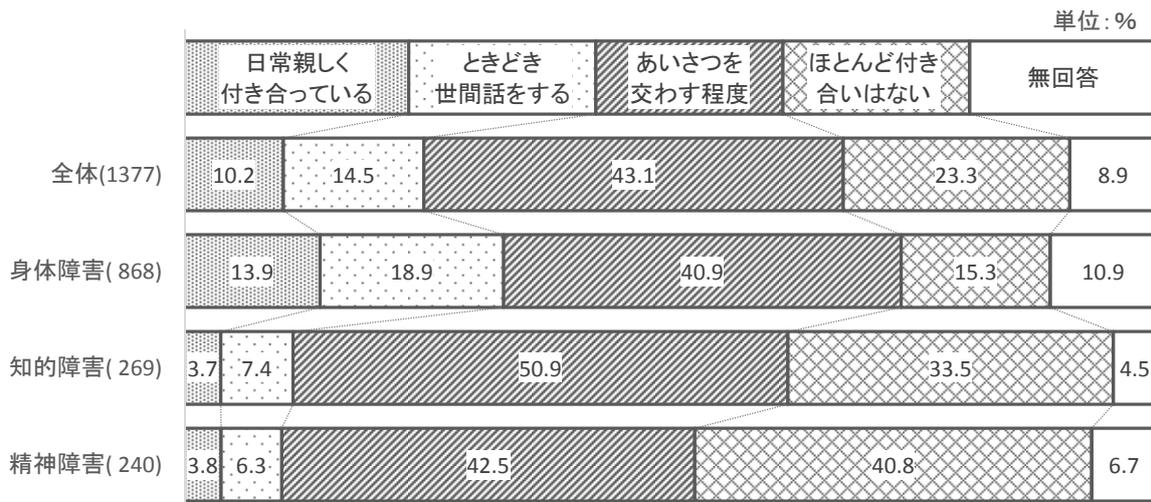
問 26. 自由時間の過ごし方 × 障害種類別



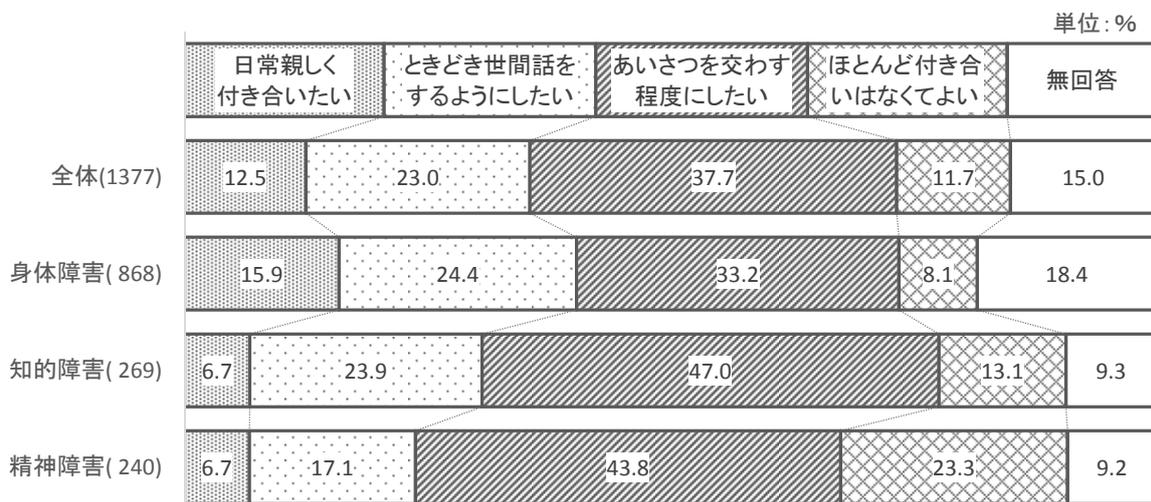
## (2) 近所づきあい

- 近所づきあいの状況については、総じて「日常親しく付き合っている」という人は多くなく、「あいさつを交わす程度」が4割を超えて最も多くなっている。
- 障害別に見ると、「日常親しく付き合っている」が身体障害で約14%となっているが、知的障害・精神障害では4%を切りごくわずかである。逆に、「ほとんど付き合いはない」は身体障害で約15%と低く、知的障害・精神障害で3~4割と高い割合を占めている。
- 今後についても、現状ほど障害別での差はないものの、精神障害で「ほとんど付き合わなくてよい」が2割以上を占め、近所付き合いに消極的な意向がうかがわれる。

問 27. ①現在の近所づきあい ×障害種類別



問 27. ②今後の近所づきあい ×障害種類別



## 10 これからの障害福祉について

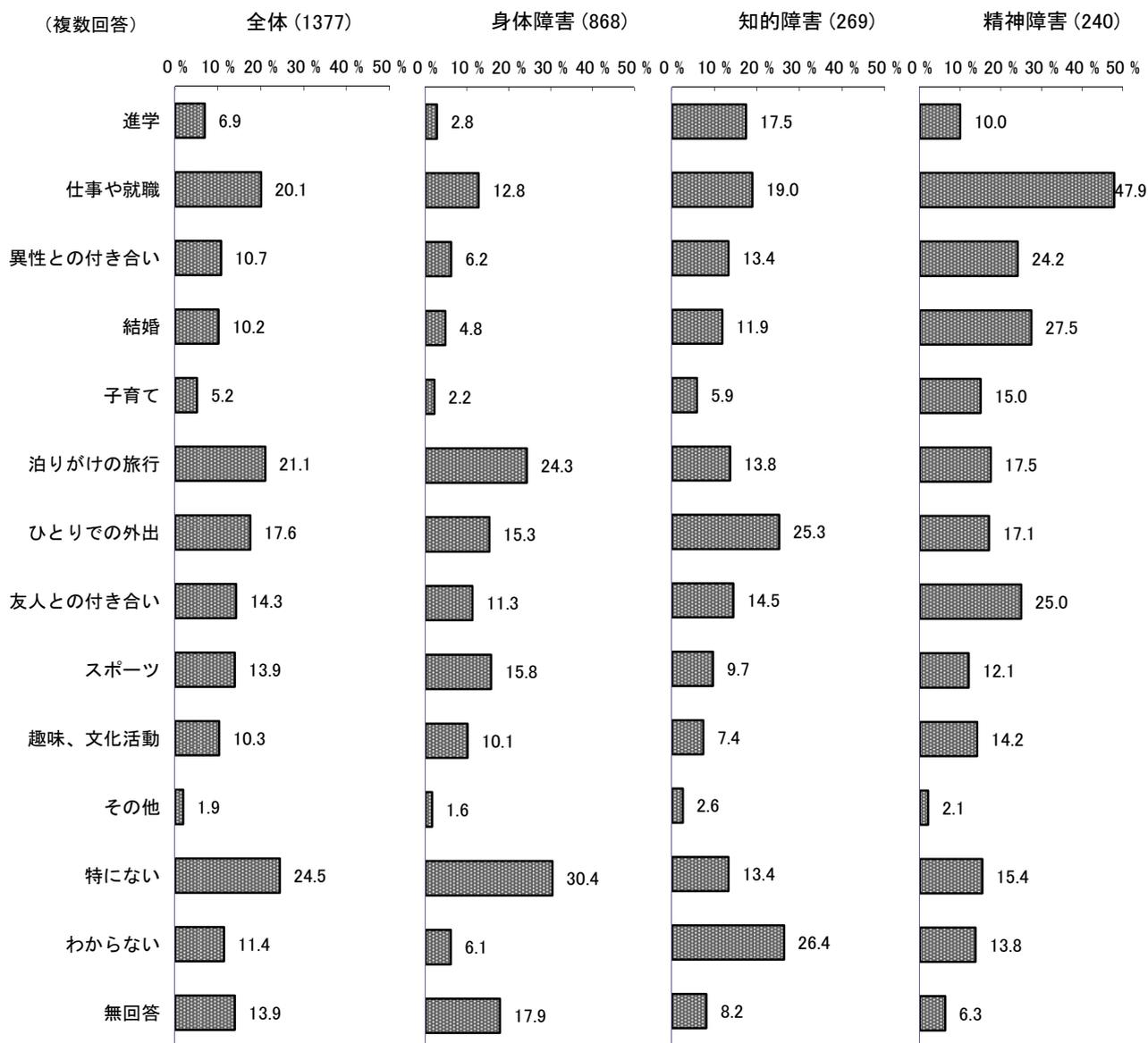
### (1) 障害のため、あきらめたりがまんしたりしたこと

○障害のためにあきらめたり、がまんしたことについては、障害別の相違がみられ、身体障害では、「泊りがけの旅行」「スポーツ」「ひとりでの外出」が多いが、「特にない」と感じる人も約3割と比較的多くなっている。

○知的障害では、「ひとりでの外出」が最も多く、「仕事や就職」「進学」などに制約を受けることが多い。

○精神障害では、「仕事や就職」が約48%と最も多く、ついで「結婚」「友人との付き合い」「異性との付き合い」が2割以上となり、人との付き合いの面での制約を受けることが比較的多くなっている。

問 28. 障害のため、あきらめたりがまんしたりしたこと × 障害種類別

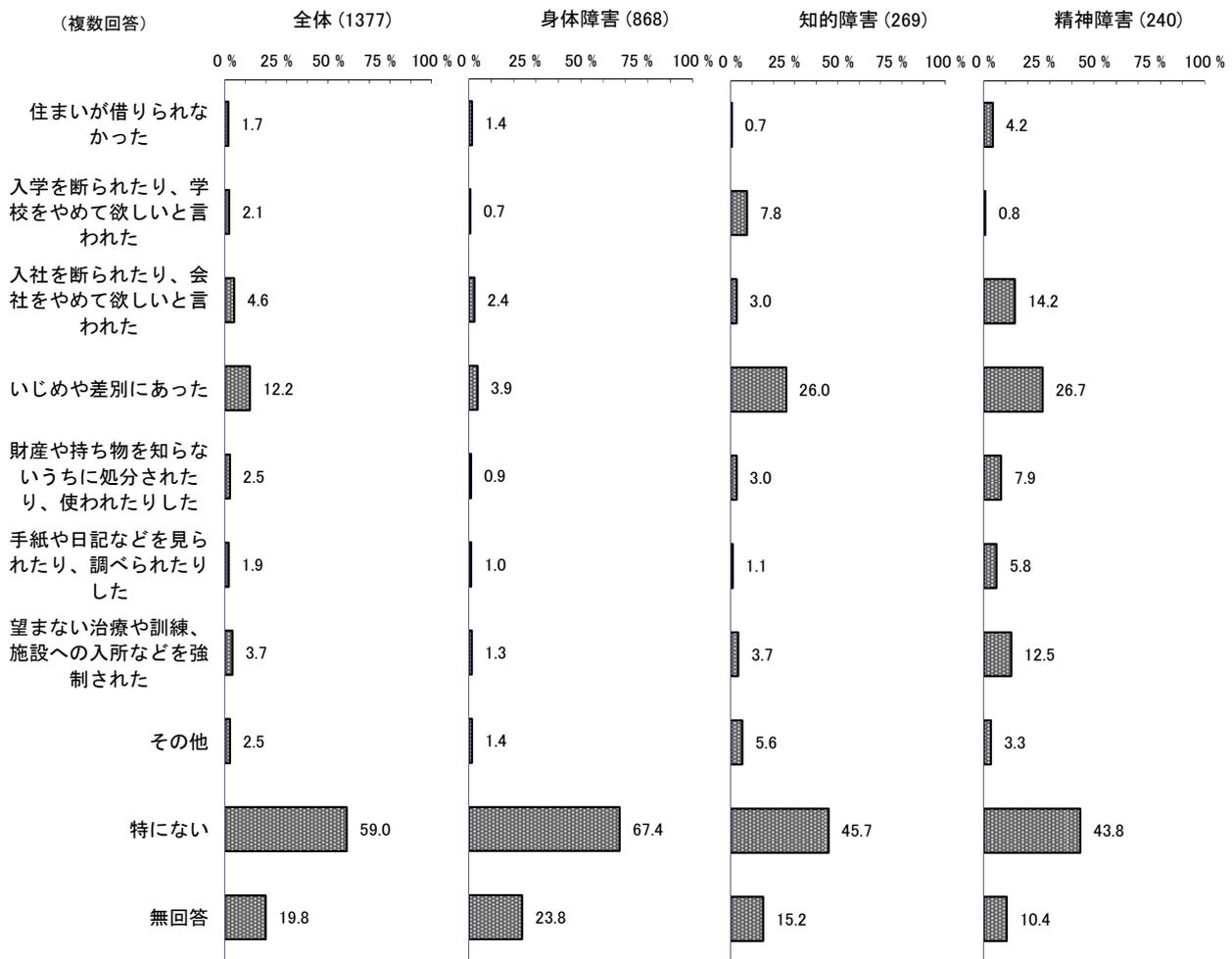


## (2) 権利がうばわれたり、そこなわれたりした経験

○障害のために権利が奪われたり、そこなわれたりした経験については、全体的に「特にない」と無回答を合わせて8割弱を占めている。

○障害別に見ると、知的障害・精神障害で4人に1人と高い割合で「いじめや差別にあった」を挙げている。精神障害においては、「障害を理由に入学を断られたり、学校をやめてほしいと言われた」(約14%)、「望まない治療や訓練、施設への入所などを強制された」(約13%)と他の障害より高くなっている。

問 29. 権利がうばわれたり、そこなわれたりした経験 × 障害種類別



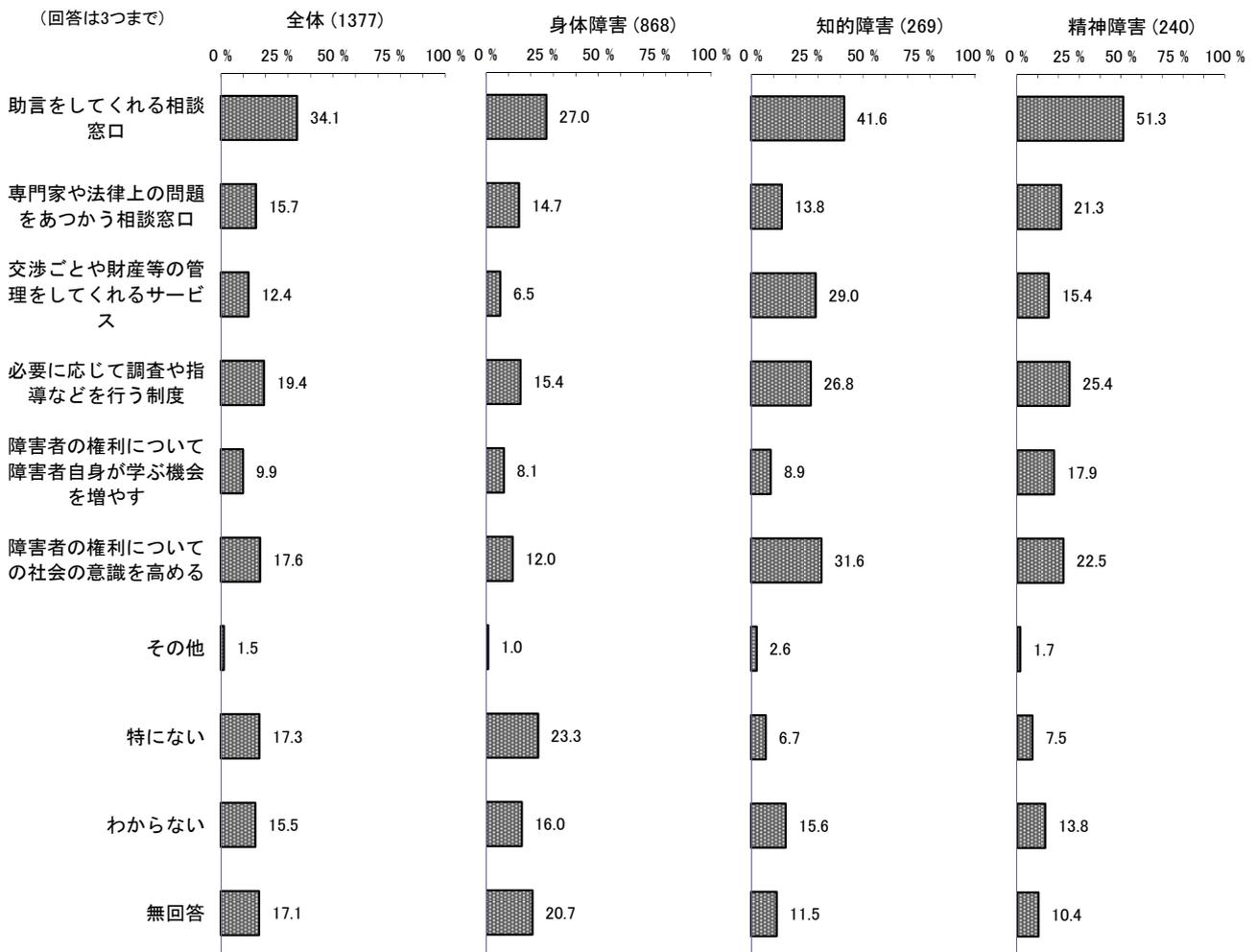
### (3) 権利がうばわれたり、そこなわれたりしないために必要な手助けや取り組み

○人権擁護のための手助けや取り組みについては、全体では、「助言してくれる相談窓口」が最も多く、「必要に応じて調査や指導などを行う制度」「障害者の権利についての社会の意識を高める」と高くなっている。身体障害においても、全体とほぼ同様な傾向であった。

○知的障害では、「障害者の権利についての社会の意識を高める」「交渉ごとや財産等の管理をしてくれるサービス」が全体より10ポイント以上高くなっている。

○精神障害では、「助言してくれる相談窓口」を挙げる割合が半数を超え、「障害者の権利について障害者自身が学ぶ機会を増やす」を挙げる割合も他の障害より高くなっている。

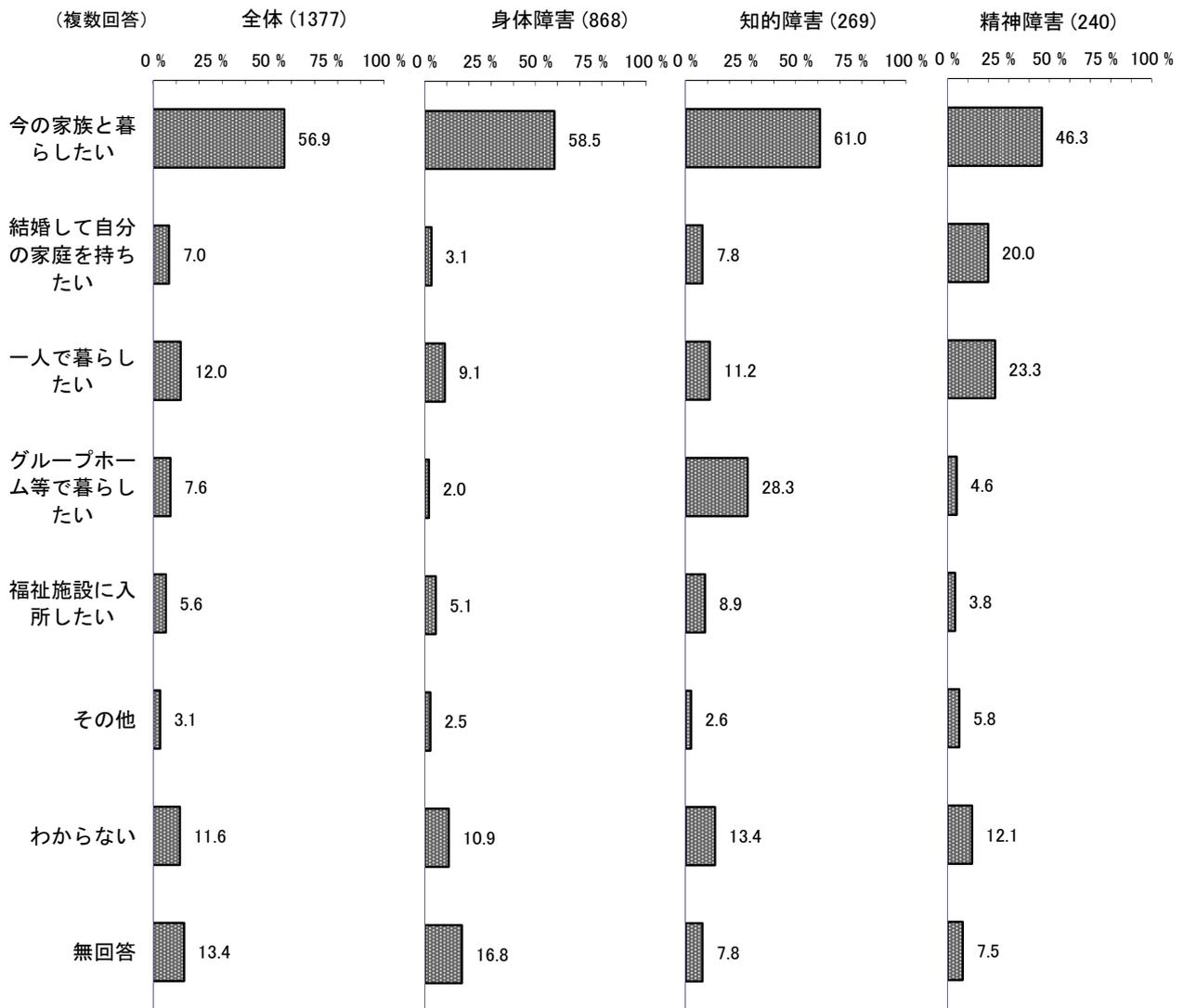
問 30. 権利がうばわれたり、そこなわれたりしないために必要な手助けや取り組み×障害種類別



#### (4) 今後の暮らし方

- 身体障害では、「今の家族と暮らしたい」が6割程度を占め、他は少数である。
- 知的障害では、身体障害と同様、「今の家族とくらしたい」が高い割合を占めているが、「グループホーム等で暮らしたい」が約28%と他の障害より20ポイント以上高くなっている。
- 精神障害でも「今の家族と暮らしたい」が最も多いものの、5割を切っており、全体と比較しても10ポイント程度低くなっている。一方、「結婚して自分の家庭を持ちたい」「一人で暮らしたい」など、独立した生活を希望する割合が他の障害よりも高くなっている。

問 31. 今後の暮らし方 × 障害種類別



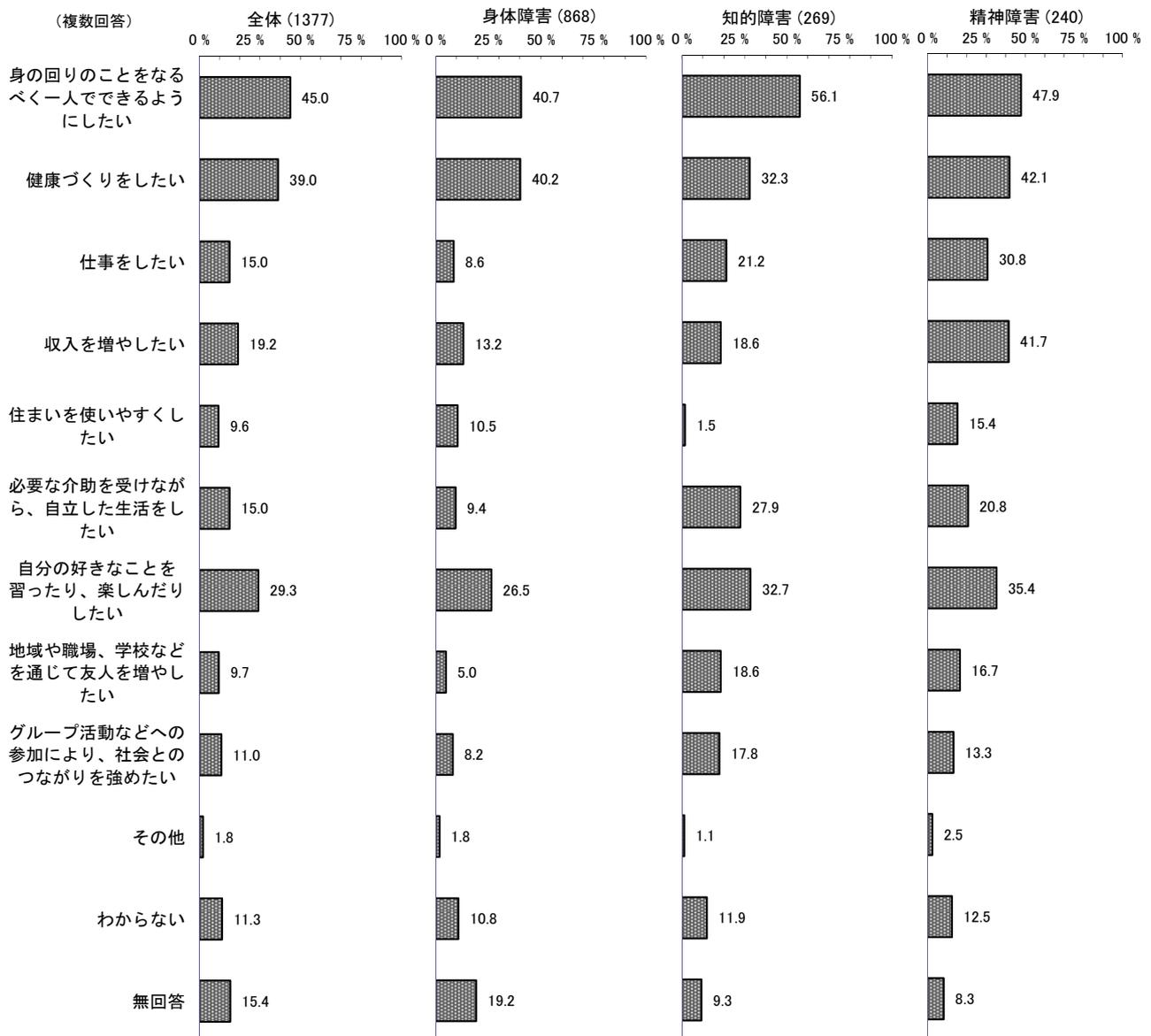
### (5) 今後、取り組みたい活動

○全体的に「身の回りのことを一人でできるようにしたい」「健康づくりをしたい」「自分の好きなことを習ったり、楽しんだりしたい」の3項目が上位を占めている。生活面で自立し、健康で生きがいのある生活を送りたいという意向がうかがわれる。

○知的障害では、これらの他に「仕事をしたい」「必要な介助を受けながら、自立した生活をしたい」など自立に関する項目や、「友人を増やしたい」「社会とのつながりを強めたい」など人との交流や社会参加に関する項目の割合が比較的高くなっている。

○精神障害では、「仕事したい」「収入を増やしたい」の割合が他の障害より高く、経済的な自立度を高めたいという意向が強いことがうかがわれる。

問 32. 今後、取り組みたい活動 × 障害種類別



## (6) ノーマライゼーションの実現のために必要なこと

- ノーマライゼーションの実現のために必要なこととして示した次頁 15 項目（その他、わからないを除く）のうち、全体で最も割合の高いのは「障害者の働く場を増やす」である。最も割合の低い「障害者の学校教育をよくする」でも約 16%を占めており、すべての項目の必要性が高くなっている。
- 全体での上位には、「障害者の働く場を増やす」の他、「安心して相談できるところを増やす」「障害者を手助けする人を育てる」「障害者に対する市民の理解を深める」などが挙げられる。
- 身体障害では、「施設等や交通のバリアフリー化を進める」「健康づくりやリハビリテーションの機会を増やす」が比較的高くなっている。
- 知的障害・精神障害では、「障害者の働く場を増やす」「安心して相談できるところを増やす」「障害者に対する市民の理解を深める」を挙げる割合が 40～50%と高くなっている。

問 33. ノーマライゼーションの実現のために必要なこと × 障害種別

